

令和8年5月15日
於：延岡市

新しい地域医療構想の考え方

～延岡西臼杵医療圏の場合～

福岡国際医療福祉大学
学長/ヘルスサービスリサーチセンター所長
松田晋哉

利益相反（COI）

発表者名 松田晋哉

講演発表に関連し、

開示すべきCOI関係にある企業・団体などはありません。

新しい地域医療構想の議論のポイント

各地域でAの機能を果たす病院とBの機能を果たす病院を決めること

- Aの機能をもつ病院に求められること
 - 広域で急性期機能（がん診療、手術、救急、周産期、医師派遣など）を持つこと
 - その機能を24時間365日体制で担える人的資源、物的資源があること
- Bの機能をもつ病院に求められること
 - 介護施設や在宅医療を担う診療所を支える機能
 - 高齢者救急への対応（一次対応、調整、下り搬送の受け皿）
 - 肺炎、心不全、尿路感染症、脱水、・・・
 - 地域における医療介護連携の中核としての調整機能を持つこと
 - **高齢社会においてはB病院の役割が重要になることに関する共通認識**

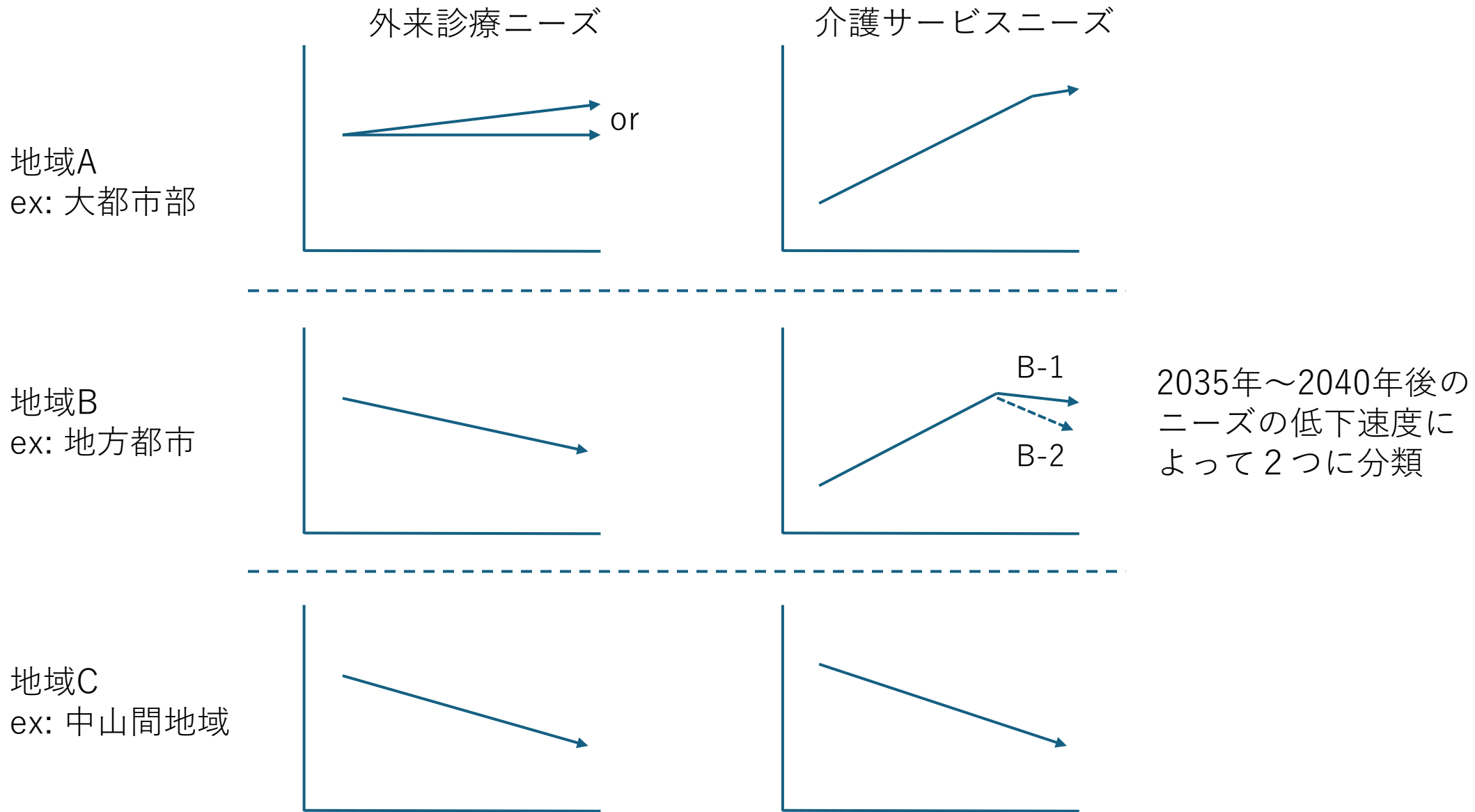
医療機関の役割のイメージ（案）

| | 急性期拠点機能 | 高齢者救急・地域急性期機能 | 在宅医療等連携機能 | 専門等機能 |
|----------|--|---|--|--|
| 大都市型 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に複数医療機関を確保 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者救急の対応の他、骨折の手術など、頻度の多い一部の手術についても対応 | <ul style="list-style-type: none"> 診療所による在宅医療の実施が多い場合、そうした診療所や訪問ステーション等の支援 高齢者施設等からの患者受入等の連携 | <ul style="list-style-type: none"> 特定の診療科に特化した手術等を提供 有床診療所の担う地域に根ざした診療機能 集中的な回復期リハビリテーション 高齢者等の中長期にわたる入院医療 等 |
| 地方都市型 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に1～複数医療機関を確保 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者救急の対応。 手術等が必要な症例については地域の医療資源に応じて、急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅医療の提供状況に応じて、在宅医療・訪問看護の提供や後方支援を実施 高齢者施設等からの患者受入等の連携 | |
| 人口の少ない地域 | <ul style="list-style-type: none"> 手術等の医療資源を多く投入する医療行為について集約化し区域に1医療機関を確保する 地域の医療資源に応じて、高齢者救急・地域急性期機能や在宅医療等連携機能をあわせて選択することも考えられる | <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療資源の範囲内で高齢者救急の対応 手術等が必要な症例については急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送 | <ul style="list-style-type: none"> 診療所による在宅医療の実施が少ない場合、自ら在宅医療や訪問看護を提供 高齢者施設等からの患者受入等の連携 | |

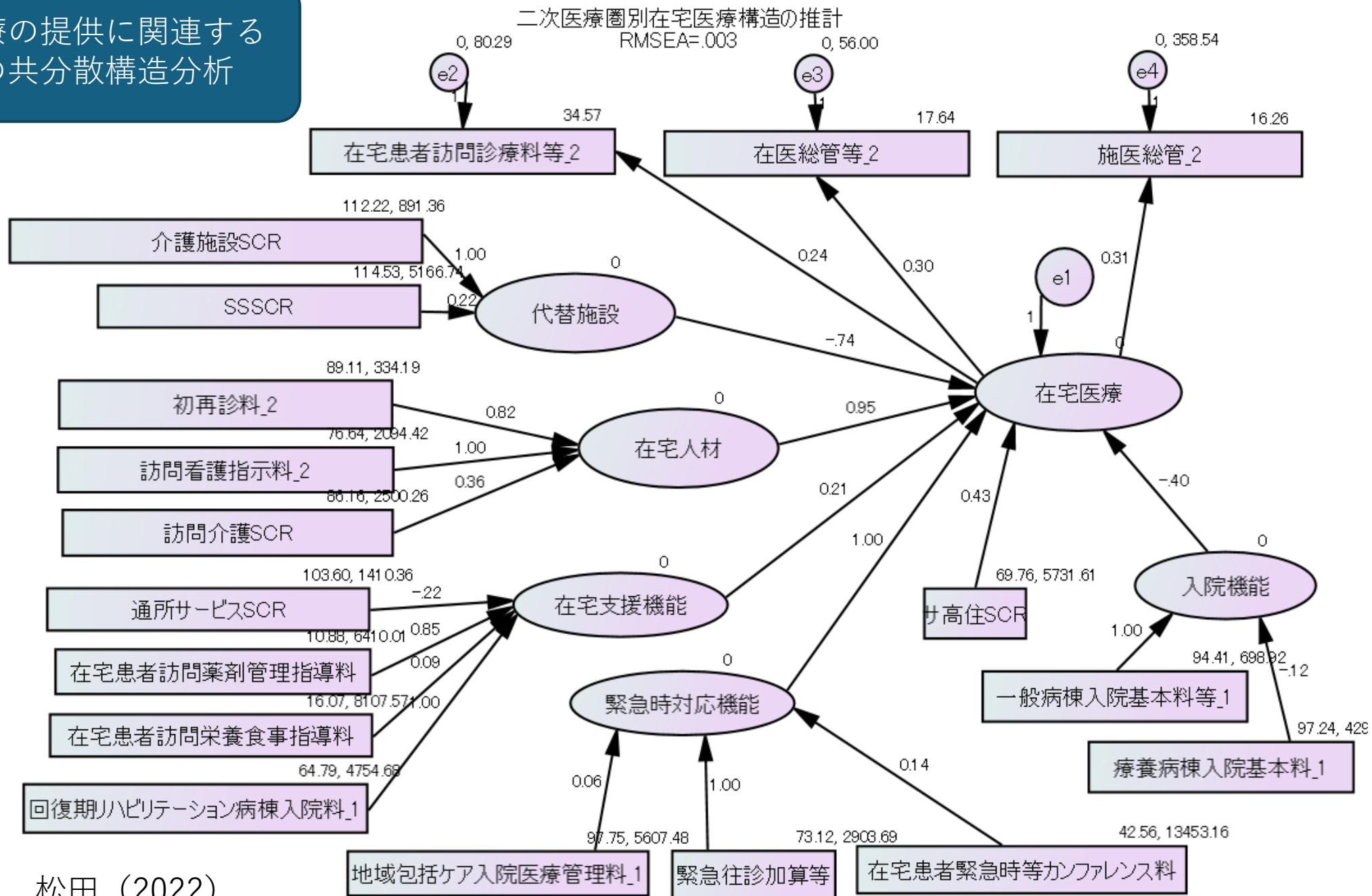
どのように考えるべきか？

- 医療介護サービスの主たる利用者は団塊の世代（75歳以上）に移っていく。
- 彼らが必要とするサービスの主体は慢性期。
- 慢性期の状態を起点として急性期イベントが発生する。
- 慢性期 = 入院 + 介護施設入所 + 在宅
 - 各地域で利用可能な医療資源、介護資源を現実的に考え、上記3サービスの配分を考える。
 - その上で、各サービスを担う組織の役割を考える。
- 自助、互助、共助、公助それぞれの役割を住民とともに考える。

外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン

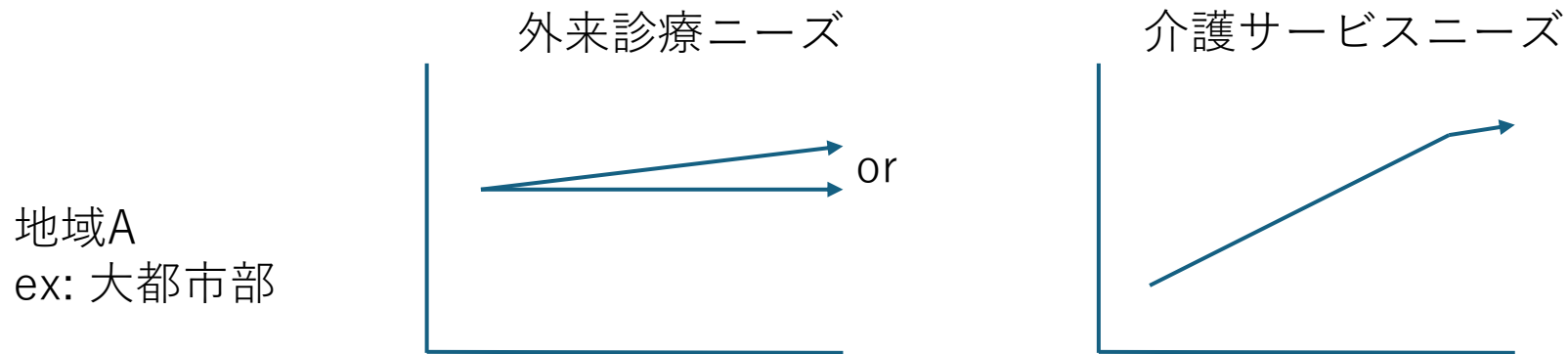


在宅医療の提供に関連する
要因の共分散構造分析



資料： 松田（2022）

外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン



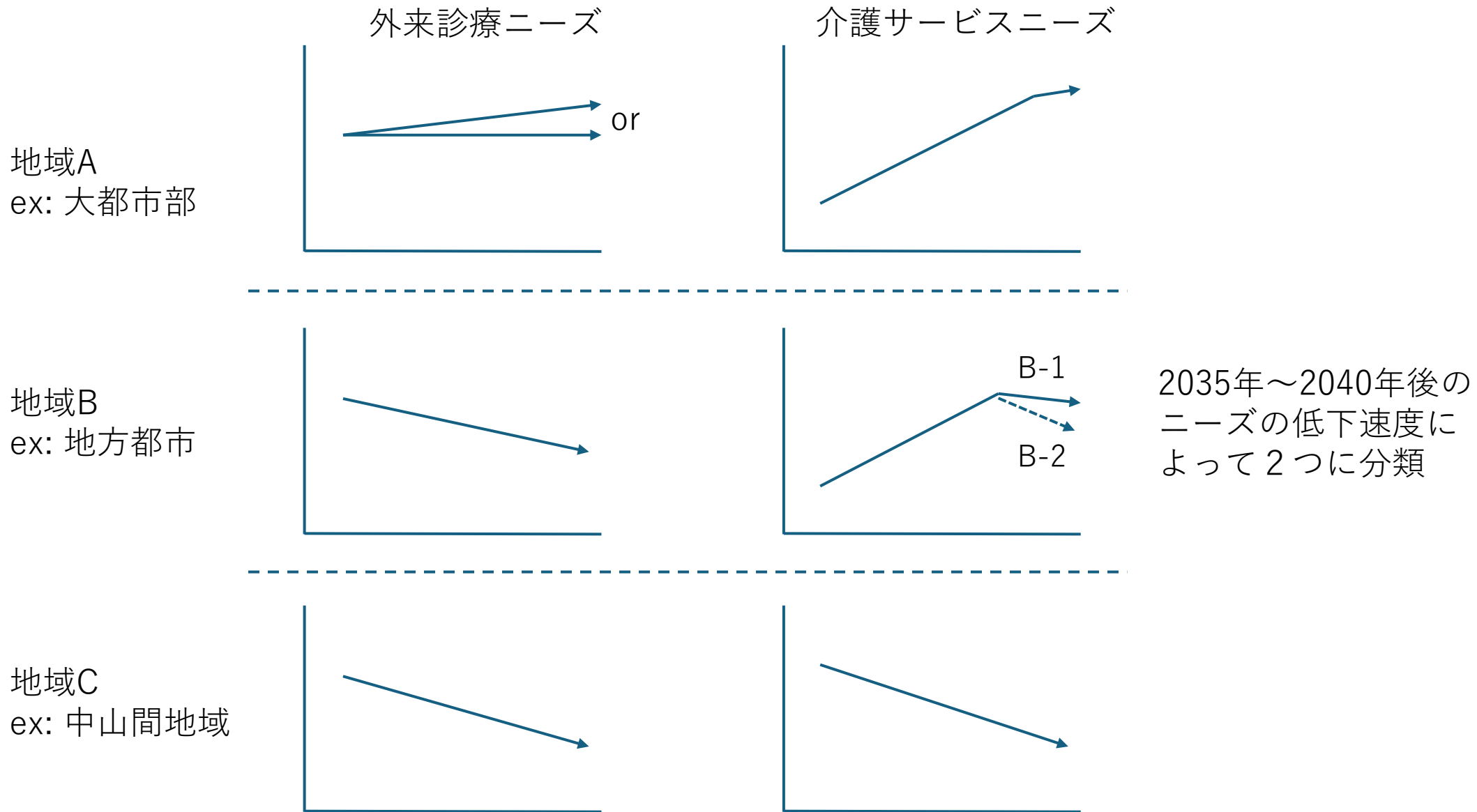
**慢性期から考えることで、
実効性のある地域区分が可能になる。**

地域C
ex: 中山間地域

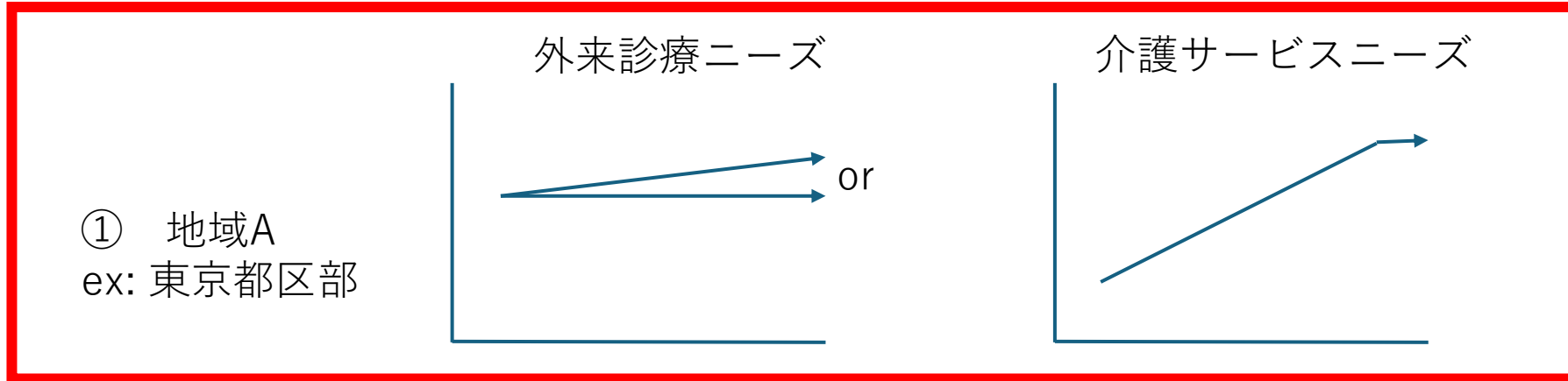


年後の
速度に
分類

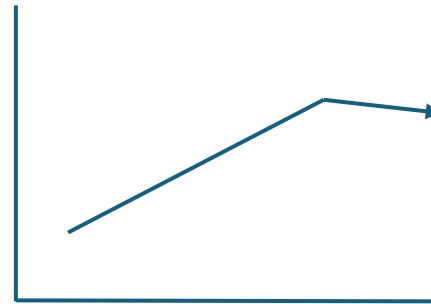
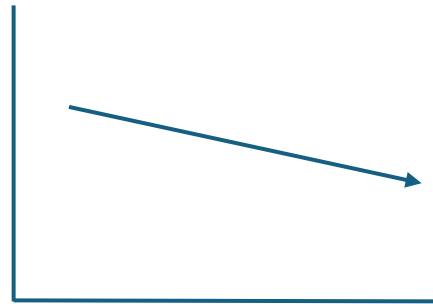
外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン



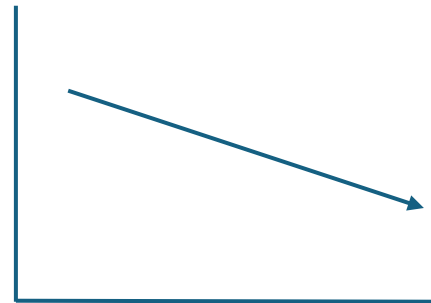
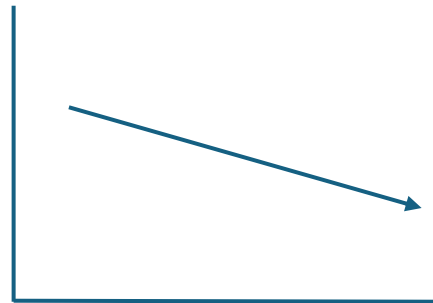
外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン



② 地域B
ex: 地方都市



③ 地域C
ex: 中山間地域



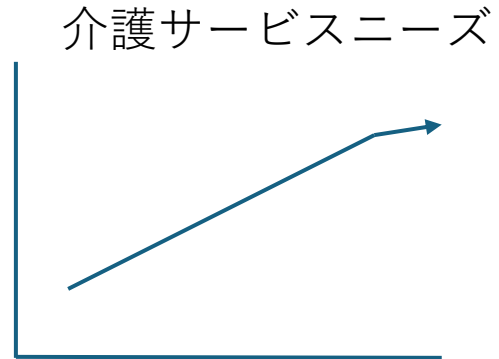
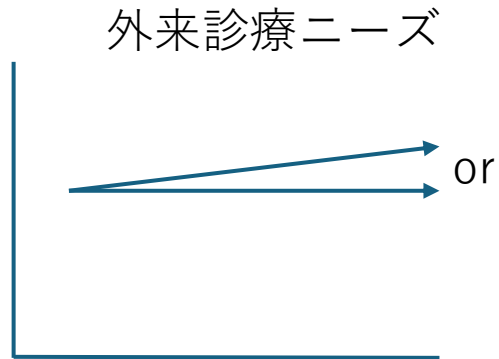
慢性期への対応

$$\text{慢性期} = \overset{\textcircled{1}}{\text{入院}} + \overset{\textcircled{2}}{\text{施設介護}} + \text{在宅}$$

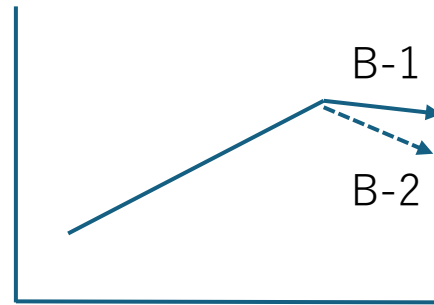
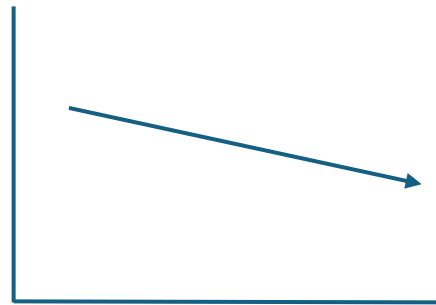
①の地域は2040年以降も外来需要及び介護需要が増加する。急性期から慢性期、介護のニーズ増に応えるための構想が必要。現在であれば施設介護を必要とする状態像の要介護高齢者の在宅ケアが増加するため、**訪問診療を行う医療施設（主に診療所）の確保とそれを支える病院（Type B）病院のネットワーク化が課題**となる。また、**増大する高齢者救急に対応するための地域版RSSが必要**となる。急性期病院においては、**高齢患者への総合的対応を行うための、病院総合医、特定看護師、ソーシャルワーカーの役割が重要**となる。加えて、ベッドサイドでのリハサービス量を増やすためのセラピストの配置が重要となる。

外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン

地域A
ex: 大都市部

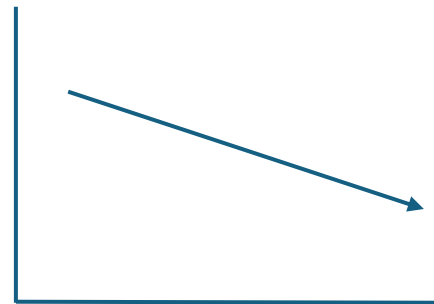
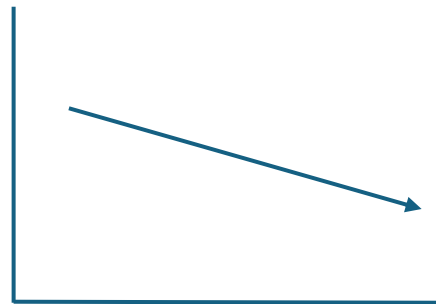


地域B
ex: 地方都市



2035年～2040年後の
ニーズの低下速度に
よって2つに分類

地域C
ex: 中山間地域

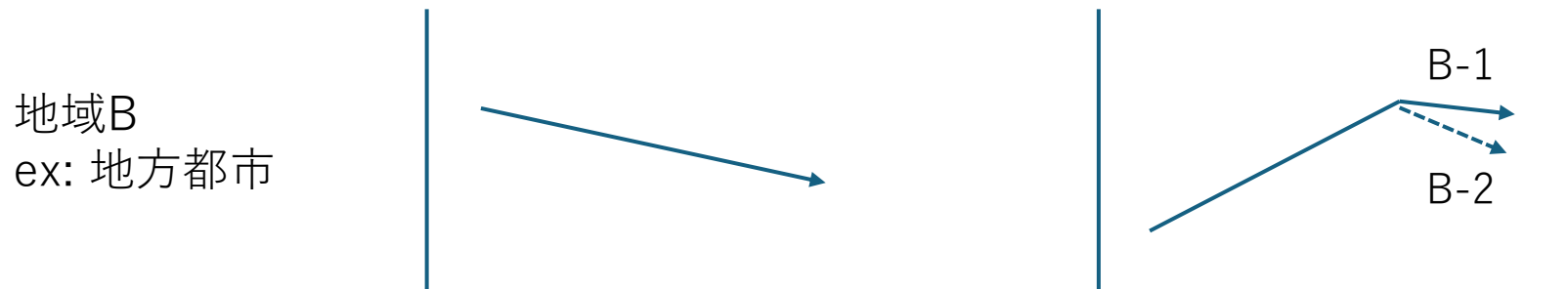
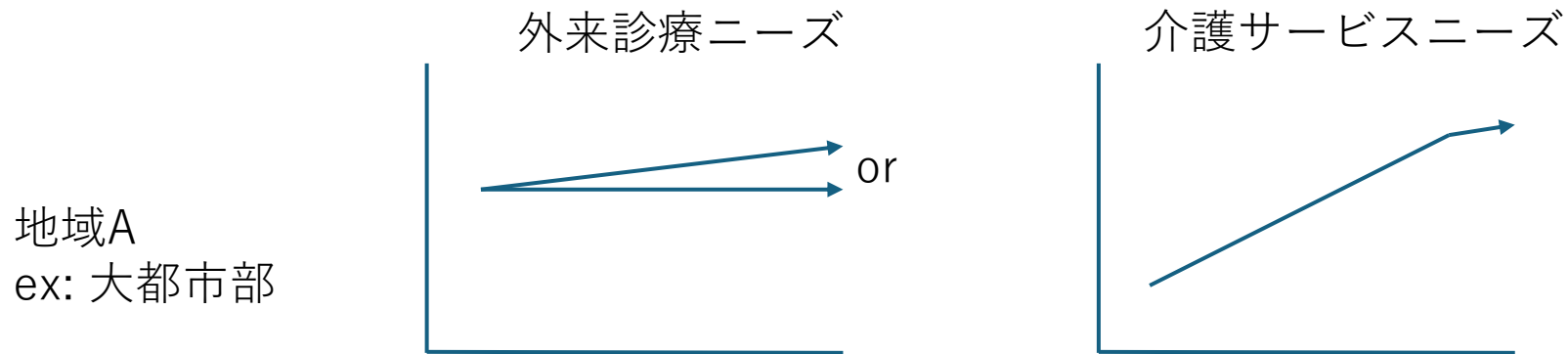


慢性期への対応

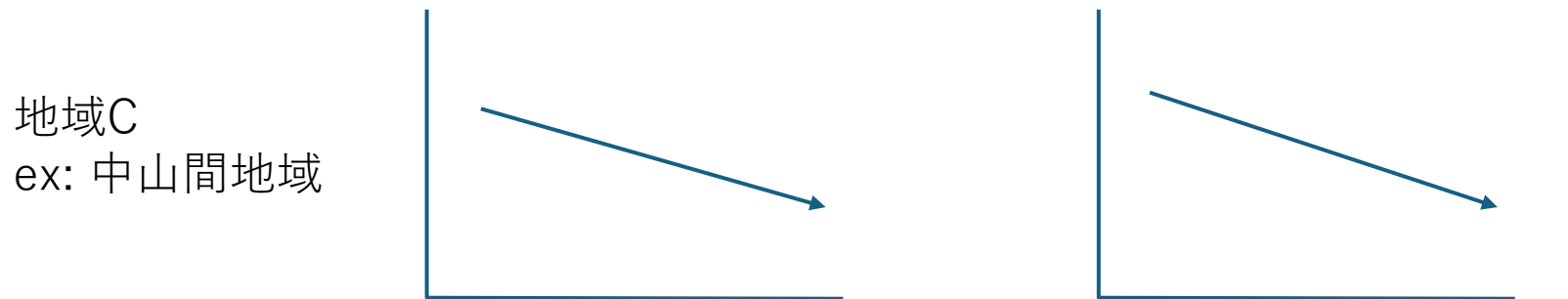
$$\text{慢性期} = \overset{\textcircled{1}}{\text{入院}} + \overset{\textcircled{2}}{\text{施設介護}} + \text{在宅}$$

②の地域は2035年から2040年に介護需要のピークを迎え、以後低下傾向になる。すでに外来需要は「減少傾向にあり、入院医療も典型的な急性期のニーズが減少している。①と同様、施設介護を必要とする状態像の要介護高齢者の在宅ケアが増加するため、**訪問診療を行う医療施設（主に診療所）の確保とそれを支える病院（Type B）病院のネットワーク化が課題**となる。そのためにも、地域の一般病院でType Bの機能を担う病院を明確にする必要がある。病院総合医、特定看護師、ソーシャルワーカー、セラピストの役割が重要性になる。

外来診療と介護サービスのニーズ変化に基づく地域パターン



2035年～2040年後の
ニーズの低下速度に
よって2つに分類



慢性期への対応

$$\text{慢性期} = \overset{\textcircled{1}}{\text{入院}} + \overset{\textcircled{2}}{\text{施設介護}} + \text{在宅}$$

③

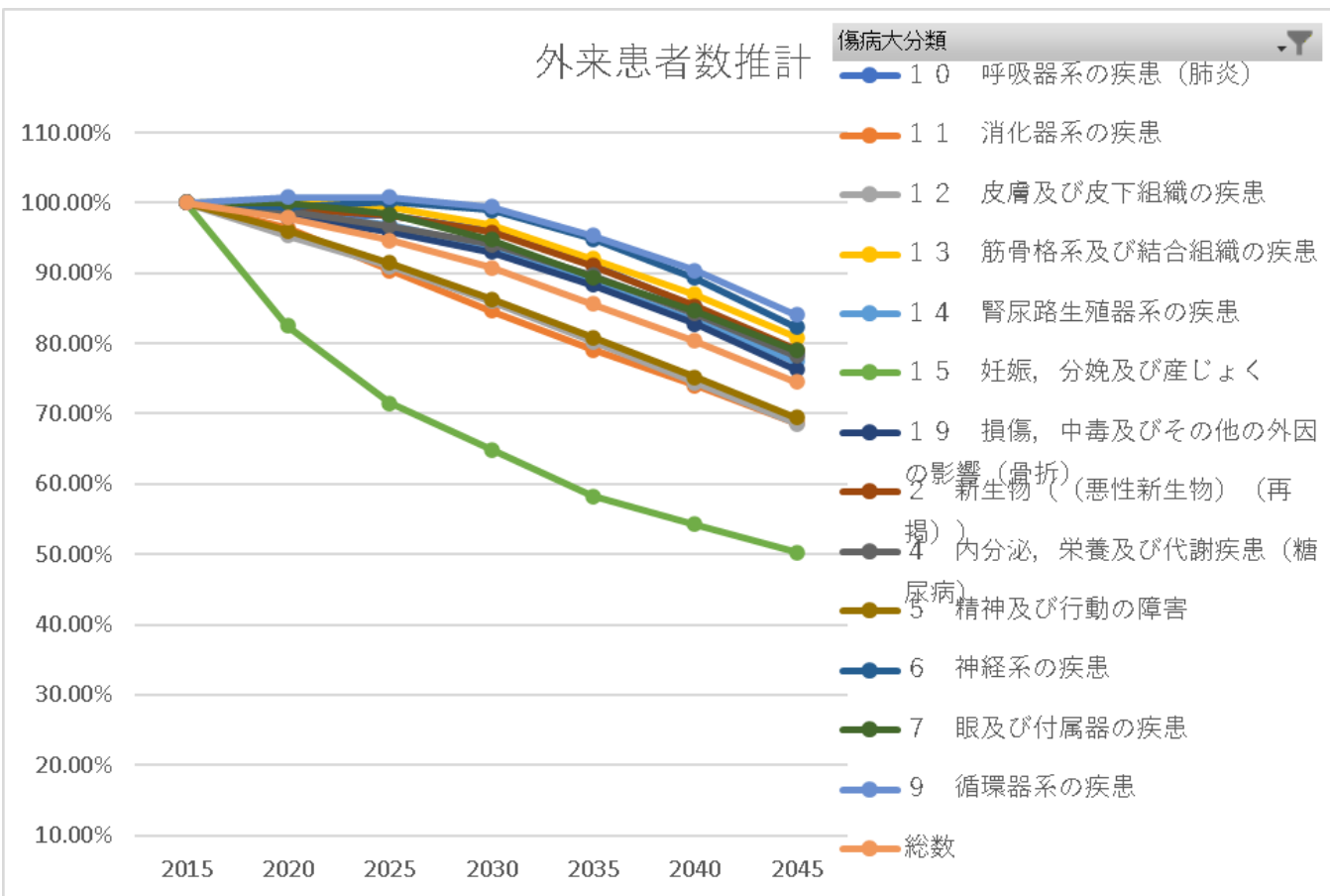
③の地域は、すでに入院・外来、介護のいずれのニーズも減少局面となっている。新規参入するサービス提供者は期待できず、また在宅ケアを増加させるための人的資源の制限があるため、**現在、地域にある入院施設、介護施設を維持しながらニーズに伝えていく必要**がある。効率的なサービス提供体制と人的資源確保のため、連携推進法人の設立などを急ぐ必要がある。オンラインを活用した医療MaaSなどの活用を検討する必要がある。**地域の医療職の年齢分布の分析を行い、10年後の医療提供体制の状況を把握しておくことが、議論のために重要**になる。

要介護高齢者の推移（延岡市）

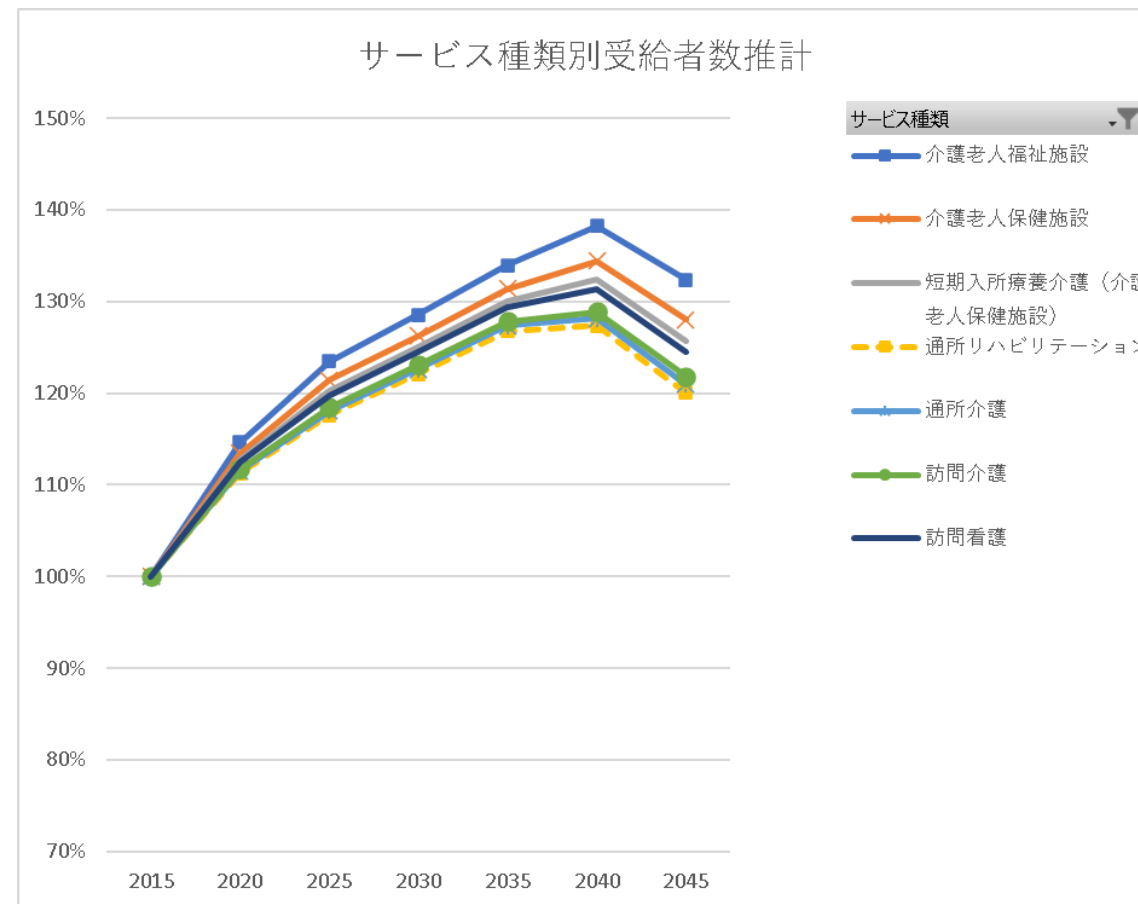
地域B
ex: 地方都市



外来需要



介護需要



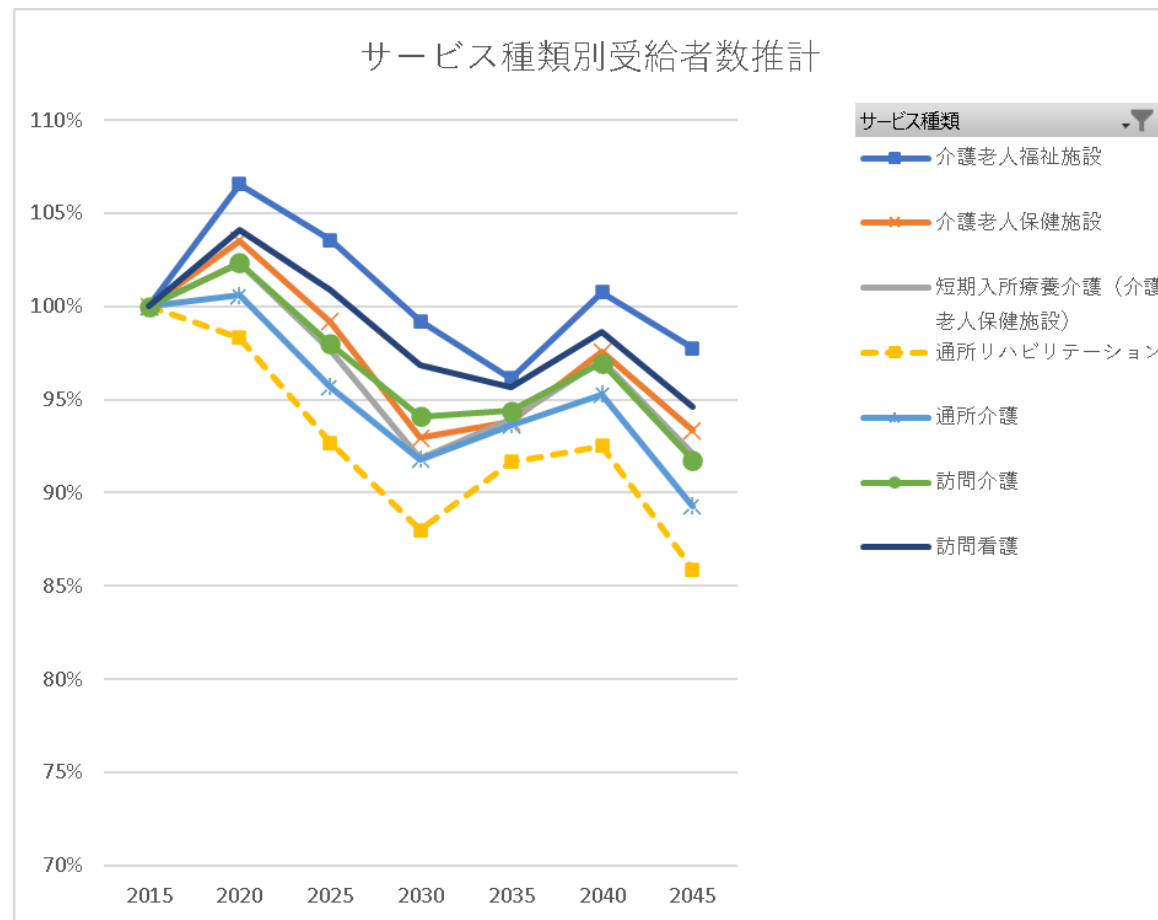
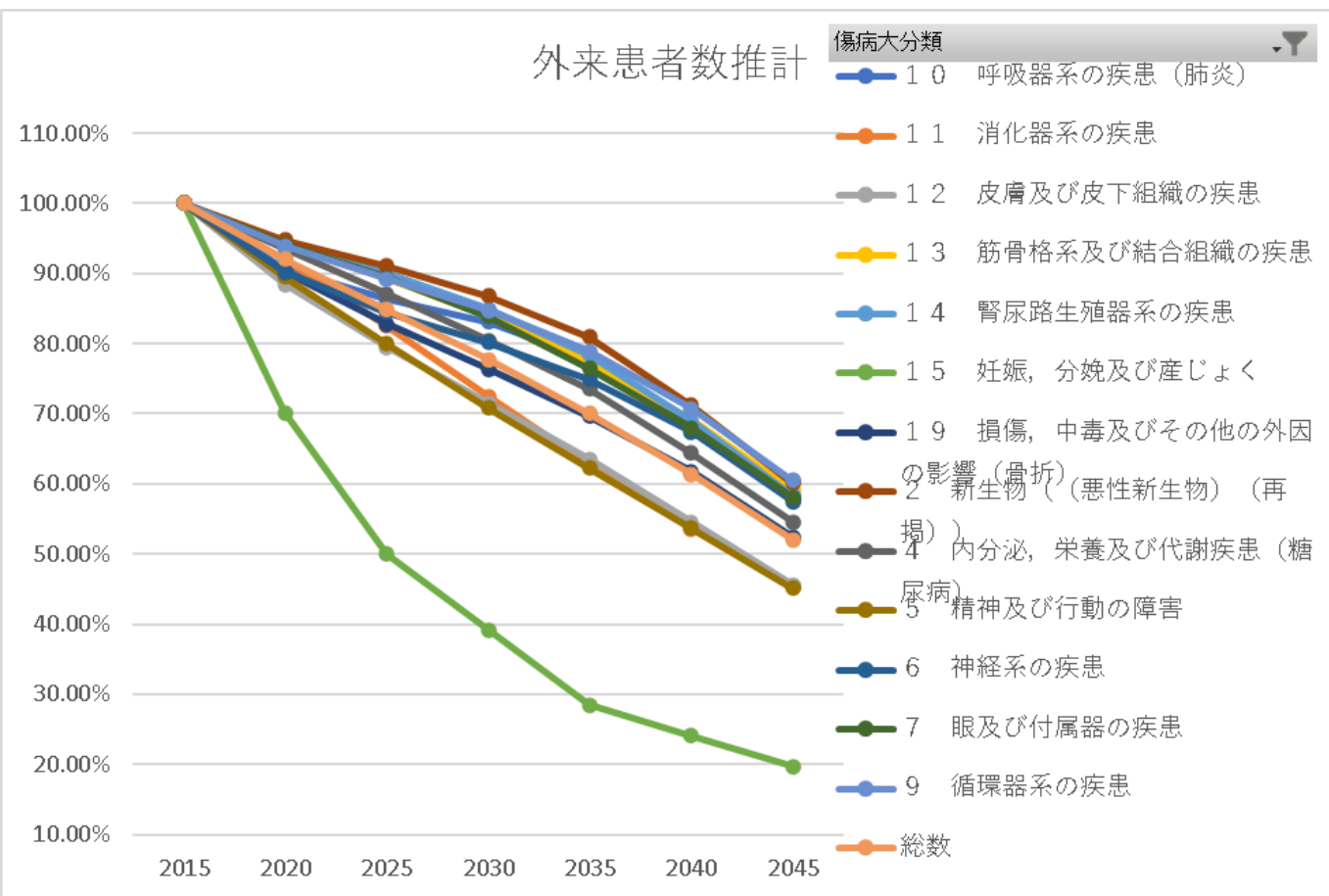
要介護高齢者の推移 (五ヶ瀬町)

地域C
ex: 中山間地域



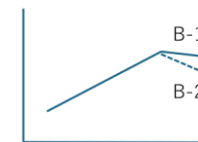
外来需要

介護需要



要介護高齢者の推移 (高千穂町)

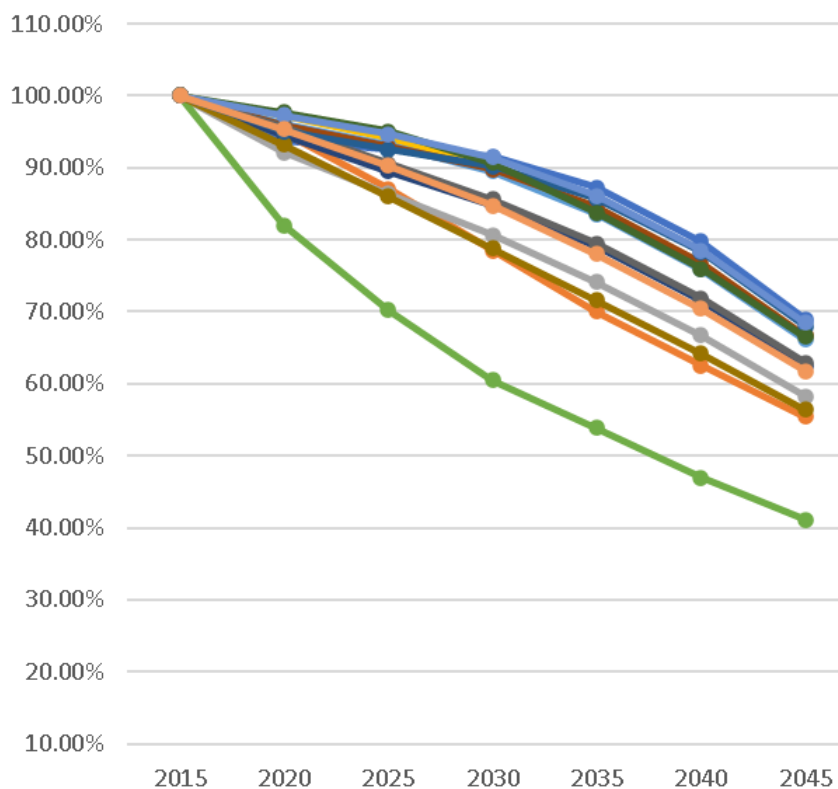
地域B
ex: 地方都市



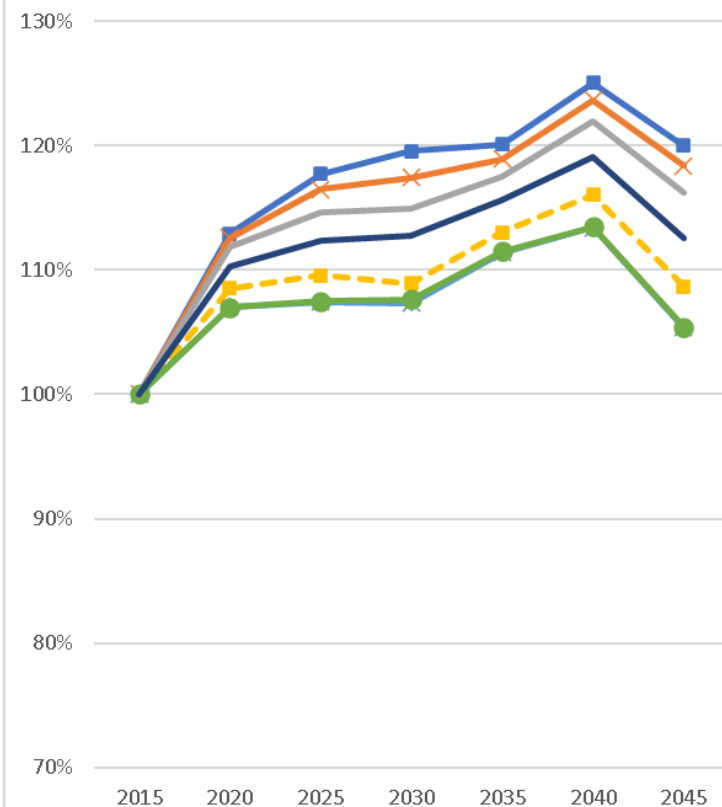
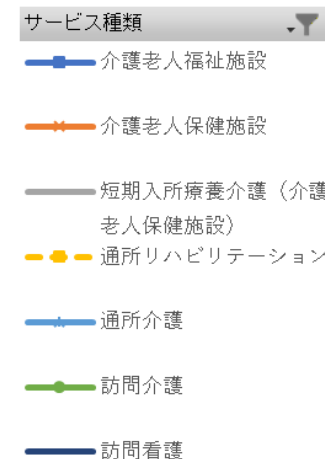
外来需要

介護需要

外来患者数推計



サービス種類別受給者数推計



要介護高齢者の推移（日之影町）

地域C
ex: 中山間地域



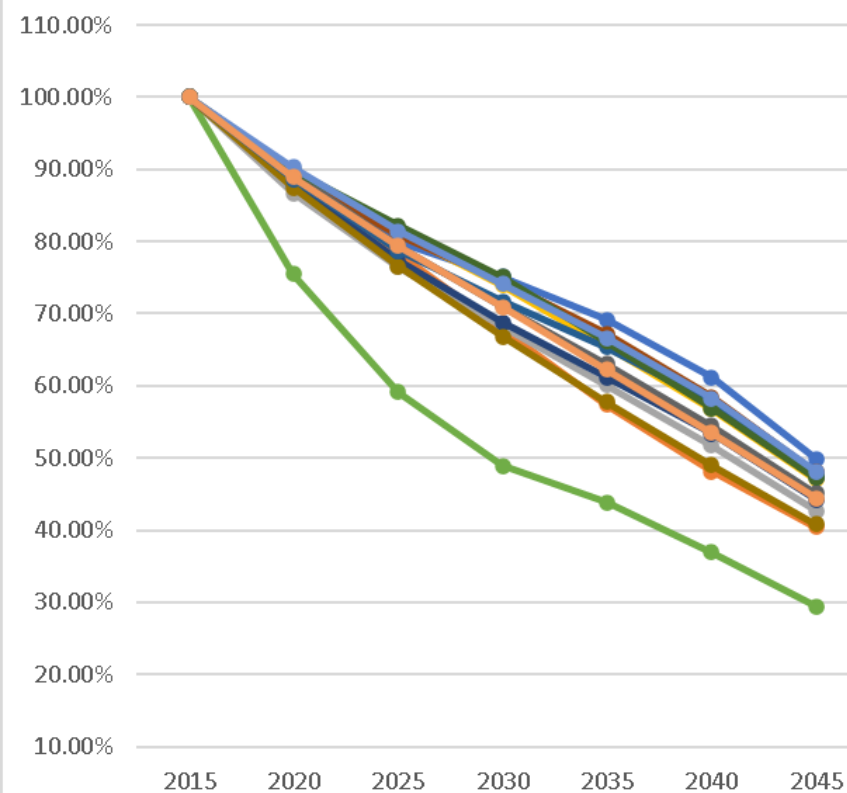
外来需要

介護需要

外来患者数推計

傷病大分類

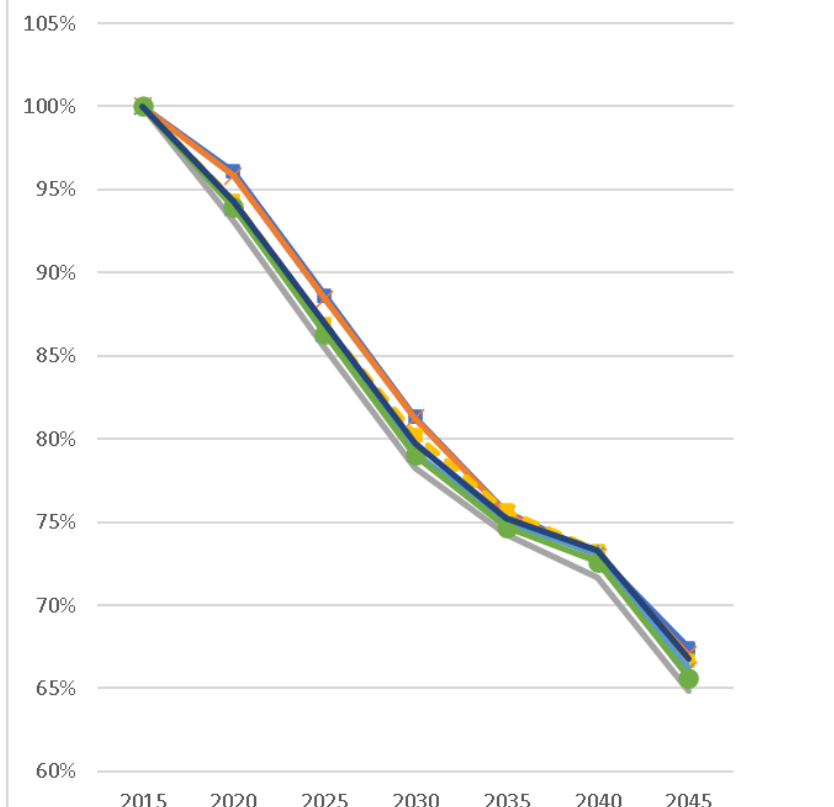
- 1 0 呼吸器系の疾患（肺炎）
- 1 1 消化器系の疾患
- 1 2 皮膚及び皮下組織の疾患
- 1 3 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 1 4 腎尿路生殖器系の疾患
- 1 5 妊娠、分娩及び産じょく
- 1 9 損傷、中毒及びその他の外因の影響（骨折）
- 2 新生物（悪性新生物）（再掲）
- 4 内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病）
- 5 精神及び行動の障害
- 6 神経系の疾患
- 7 眼及び付属器の疾患
- 9 循環器系の疾患
- 総数



サービス種類別受給者数推計

サービス種類

- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 短期入所療養介護（介護老人保健施設）
- 通所リハビリテーション
- 通所介護
- 訪問介護
- 訪問看護



医療SCR(R4)

| 市町村名 | 延岡市 | 高千穂町 | 日之影町 | 五ヶ瀬町 |
|-------------------|-------|-------|------|------|
| 初診料等_2 | 126.0 | 52.2 | 17.5 | 15.8 |
| 再診料等_2 | 104.3 | 71.0 | 44.8 | 42.7 |
| 一般病棟入院基本料等_1 | 113.7 | 88.1 | 91.1 | 91.7 |
| 療養病棟入院基本料等_1 | 68.1 | 128.7 | 6.1 | |
| 精神病棟入院基本料等_1 | 231.0 | 739.6 | | |
| 有床診療所入院基本料等_1 | 348.6 | | | |
| 地域医療支援病院入院診療加算等_1 | 86.2 | | | |
| 救急医療管理加算等_1 | 83.6 | 55.8 | 9.7 | |
| 回復期リハ+地ケア病棟入院料等_1 | 141.5 | 74.7 | 46.3 | |
| 精神科救急入院料等_1 | 95.6 | | | |
| 精神療養病棟入院料等_1 | 279.4 | 587.8 | | |
| 認知症治療病棟入院料等_1 | 103.0 | 837.3 | | |
| 往診等_2 | 54.3 | 13.7 | | |
| 在宅患者訪問診療料等_2 | 73.9 | 9.4 | 4.0 | 0.8 |
| 救急搬送診療料等_1 | 287.1 | | | |
| 訪問看護指示料等_1 | 40.3 | 24.3 | 23.0 | |
| 訪問看護指示料等_2 | 37.3 | 32.9 | 24.2 | 0.8 |

医療SCR(2018, 2020, 2022)

| | 初診料_2 | 再診料_2 | 一般病棟入院基本料_1 | 療養病棟入院基本料_1 | 有床診療所入院基本料_1 | 有床診療所療養病床入院基本料_1 | 回復期リハビリテーション病棟入院料_1 | 往診_3 | 在宅患者訪問診療料_2 | 訪問看護指示料_3 | 救急搬送診療料_3 |
|------|-------|-------|-------------|-------------|--------------|------------------|---------------------|------|-------------|-----------|-----------|
| 延岡市 | | | | | | | | | | | |
| 2018 | 112.2 | 99.7 | 111.4 | 92.2 | 304.7 | | 107.6 | 52.7 | 87.3 | 33.7 | 47.3 |
| 2020 | 119.4 | 102.0 | 110.2 | 84.0 | 323.4 | | 120.4 | 55.0 | 78.9 | 31.8 | 77.0 |
| 2022 | 126.0 | 104.3 | 113.7 | 68.1 | 348.6 | | 141.5 | 55.6 | 73.9 | 37.4 | 200.5 |
| 高千穂町 | | | | | | | | | | | |
| 2020 | 53.0 | 72.4 | | | | | | 4.5 | | | |
| 五ヶ瀬町 | | | | | | | | | | | |
| 2020 | 15.8 | 42.7 | 91.7 | | | | | | 0.8 | 0.8 | |
| 日之影町 | | | | | | | | | | | |
| 2020 | 17.5 | 44.8 | 91.1 | 6.1 | | | 46.3 | | 4.0 | 24.2 | |

介護SCR(R71月分)

| 市区町村名 | 訪問介護 | 訪問看護 | 訪問リハビリテーション | 通所介護 | 通所リハビリテーション | ショートステイ | 福祉用具貸与 | 特定施設入居者生活介護 | 小規模多機能型居宅介護 | 認知症対応型共同生活介護 | 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護） | 介護老人福祉施設 | 介護老人保健施設 | 介護医療院 |
|----------|------|------|-------------|-------|-------------|---------|--------|-------------|-------------|--------------|------------------------|----------|----------|--------|
| 延岡市 | 95.0 | 57.8 | 40.2 | 123.3 | 92.0 | 47.2 | 91.2 | 109.9 | 149.3 | 108.7 | 286.9 | 76.5 | 114.9 | 197.5 |
| 西臼杵郡高千穂町 | 45.3 | 41.0 | 9.0 | 117.6 | 4.5 | 103.6 | 65.6 | 42.2 | 0.0 | 72.2 | 0.0 | 152.5 | 11.5 | 812.2 |
| 西臼杵郡日之影町 | 35.2 | 22.5 | 12.3 | 80.5 | 0.0 | 70.8 | 33.9 | 122.0 | 0.0 | 74.1 | 0.0 | 179.4 | 21.0 | 669.7 |
| 西臼杵郡五ヶ瀬町 | 33.7 | 17.6 | 0.0 | 0.0 | 3.5 | 97.4 | 39.4 | 43.1 | 0.0 | 73.6 | 0.0 | 128.8 | 35.2 | 1178.9 |

令和7年1月サービス提供分介護保険事業報告月報から全国の年齢階級別（65-69歳、70-74歳、75-79歳、80-84歳、85-89歳、90歳以上）の要介護度別人数を把握（第1号被保険者 要介護1～要介護5）。これを社人研のデータと掛け合わせて、年齢階級別要介護1～要介護5それぞれの出現率Pを計算。

この出現率を市町村別年齢階級別人数（令和7年1月）に乗じて、市町村別に要介護度別人数の期待値E1を計算。

令和7年1月サービス提供分介護保険事業報告月報にある要介護度別各サービスの利用数から利用率Rを求め、これをE1に掛けることで、市町村別に各サービスの利用期待数E2を算出。

このE2で令和7年1月サービス提供分介護保険事業報告月報に市町村別で示されている要介護度別各サービス別利用人数Nを除して100を乗じて、市町村別に各サービスのSCRを算出。

延岡市の医療介護サービス提供体制

施設種類別の施設数

| | 施設数 | 75歳以上1千人あたり施設数 | | ■ 延岡市 ■ 全国平均 (→比較する地域を変更できます) | |
|------------|-----|----------------|-------|----------------------------------|-------|
| | 延岡市 | 延岡市 | 全国平均 | 延岡市 | 全国平均 |
| 介護施設数 (合計) | 303 | 14.09 | 12.01 | 14.09 | 12.01 |
| 訪問型介護施設数 | 71 | 3.30 | 3.35 | 3.30 | 3.35 |
| 通所型介護施設数 | 83 | 3.86 | 2.88 | 3.86 | 2.88 |
| 入所型介護施設数 | 55 | 2.56 | 1.97 | 2.56 | 1.97 |
| 特定施設数 | 8 | 0.37 | 0.32 | 0.37 | 0.32 |
| 居宅介護支援事業所数 | 58 | 2.70 | 1.96 | 2.70 | 1.96 |
| 福祉用具事業所数 | 10 | 0.46 | 0.71 | 0.46 | 0.71 |

施設種類別の定員数

| | 定員数 | 75歳以上1千人あたり定員数 | | ■ 延岡市 ■ 全国平均 (→比較する地域を変更できます) | |
|--------------|-------|----------------|-------|----------------------------------|-------|
| | 延岡市 | 延岡市 | 全国平均 | 延岡市 | 全国平均 |
| 入所定員数 (入所型) | 2,049 | 95.25 | 78.66 | 95.25 | 78.66 |
| 入所定員数 (特定施設) | 290 | 13.48 | 16.55 | 13.48 | 16.55 |

出典： 日本医師会 <https://www.jmap.jp/cities/detail/pref/45>

高千穂町の医療介護サービス提供体制

施設種類別の施設数



施設種類別の定員数



日之影町の医療介護サービス提供体制

施設種類別の施設数



施設種類別の定員数



出典： 日本医師会 <https://www.jmap.jp/cities/detail/pref/45>

五ヶ瀬町の医療介護サービス提供体制

施設種類別の施設数

施設数 75歳以上1千人あたり施設数 ■五ヶ瀬町 ■全国平均 (→比較する地域を変更できます)

五ヶ瀬町 五ヶ瀬町 全国平均

| 施設種類 | 五ヶ瀬町 | 五ヶ瀬町 | 全国平均 | 五ヶ瀬町 | 全国平均 |
|------------|------|-------|-------|-------|-------|
| 介護施設数 (合計) | 9 | 10.88 | 12.01 | 10.88 | 12.01 |
| 訪問型介護施設数 | 2 | 2.42 | 3.35 | 2.42 | 3.35 |
| 通所型介護施設数 | 2 | 2.42 | 2.88 | 2.42 | 2.88 |
| 入所型介護施設数 | 3 | 3.63 | 1.97 | 3.63 | 1.97 |
| 特定施設数 | 0 | 0.00 | 0.32 | 0.00 | 0.32 |
| 居宅介護支援事業所数 | 1 | 1.21 | 1.96 | 1.21 | 1.96 |
| 福祉用具事業所数 | 0 | 0.00 | 0.71 | 0.00 | 0.71 |

施設種類別の定員数

定員数 75歳以上1千人あたり定員数 ■五ヶ瀬町 ■全国平均 (→比較する地域を変更できます)

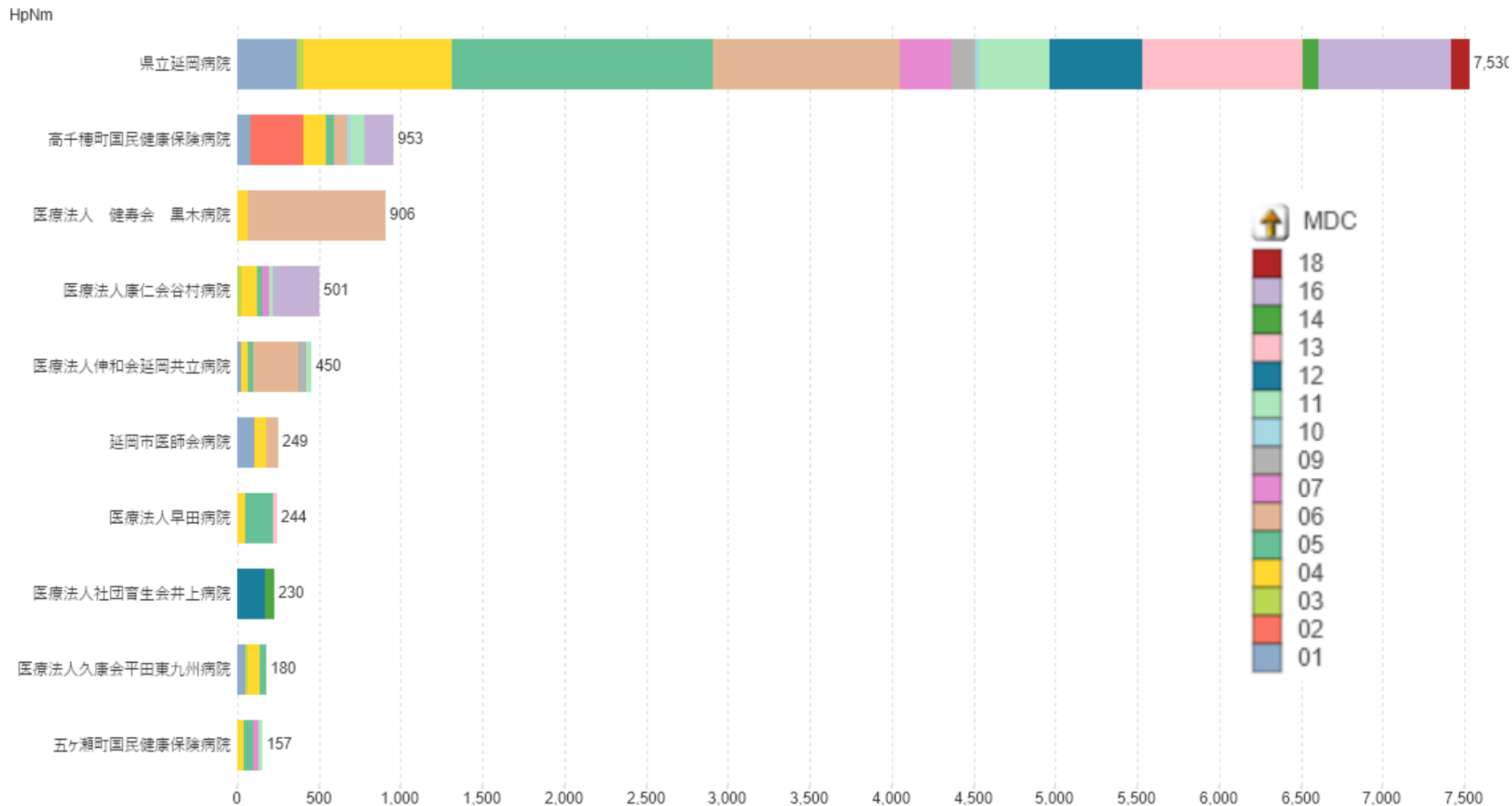
五ヶ瀬町 五ヶ瀬町 全国平均

| 施設種類 | 五ヶ瀬町 | 五ヶ瀬町 | 全国平均 | 五ヶ瀬町 | 全国平均 |
|--------------|------|-------|-------|-------|-------|
| 入所定員数 (入所型) | 72 | 87.06 | 78.66 | 87.06 | 78.66 |
| 入所定員数 (特定施設) | 0 | 0.00 | 16.55 | 0.00 | 16.55 |

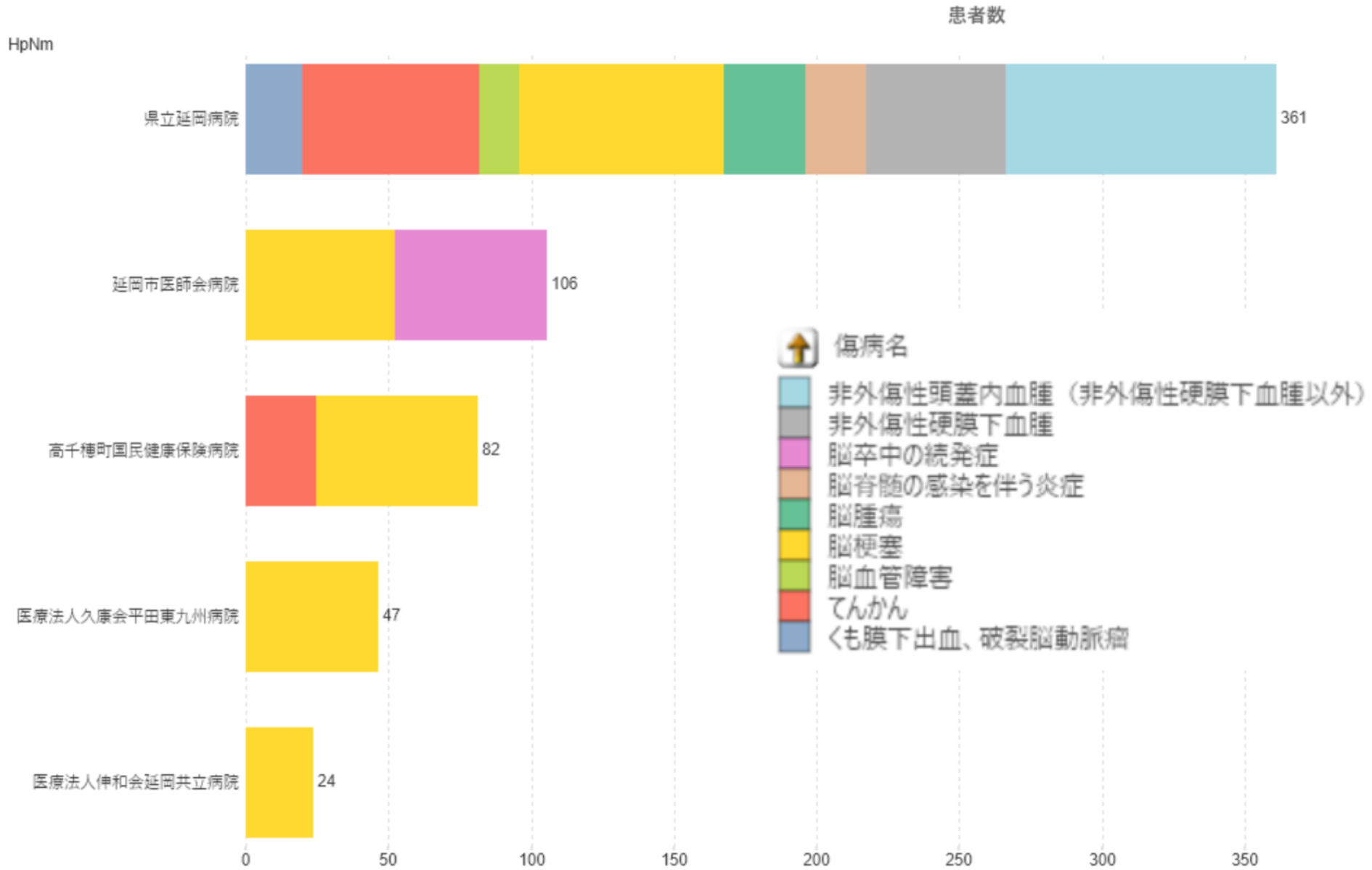
出典： 日本医師会 <https://www.jmap.jp/cities/detail/pref/45>

診療の状況 延岡西臼杵医療圏（全体 R5）

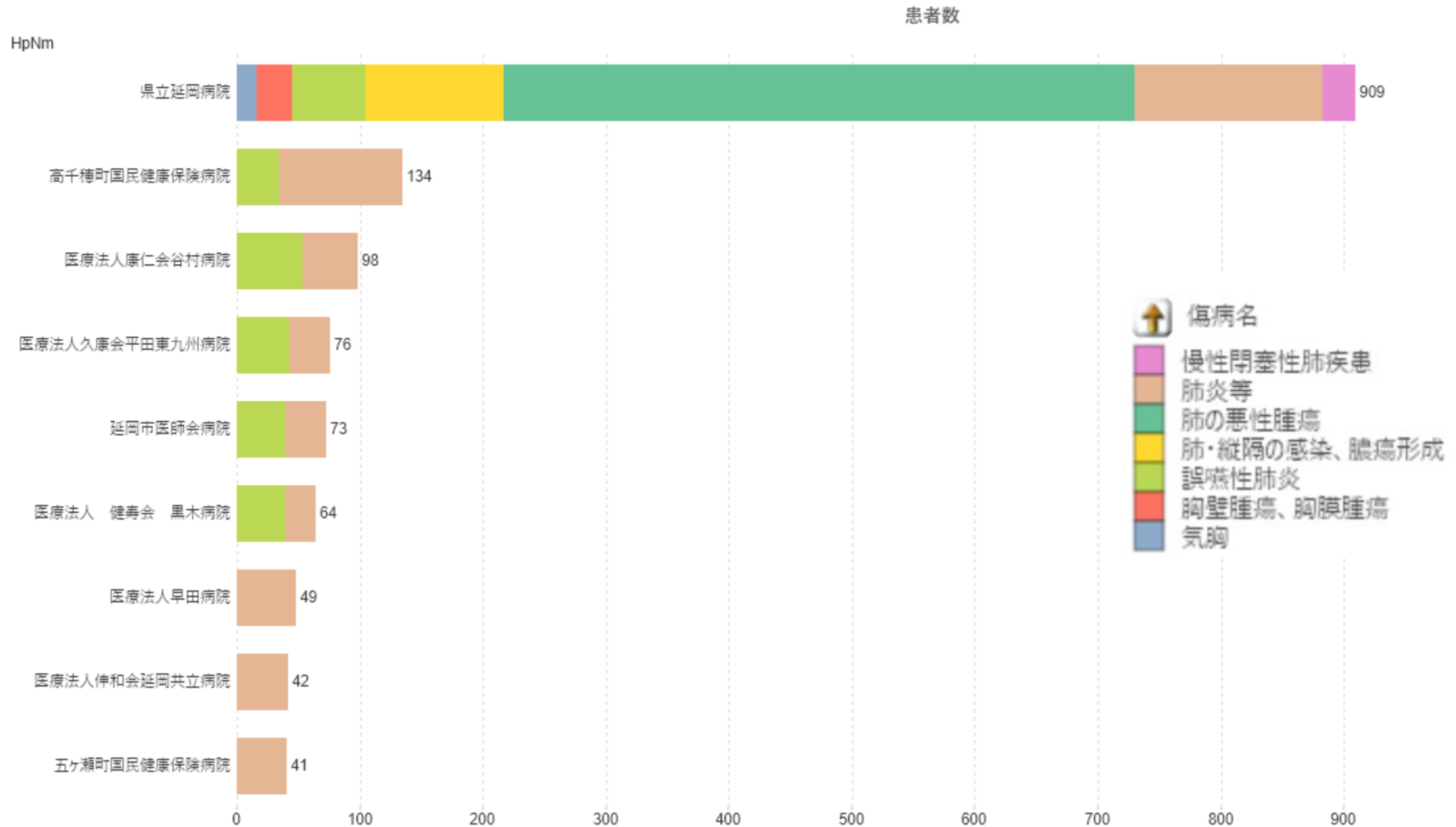
患者数



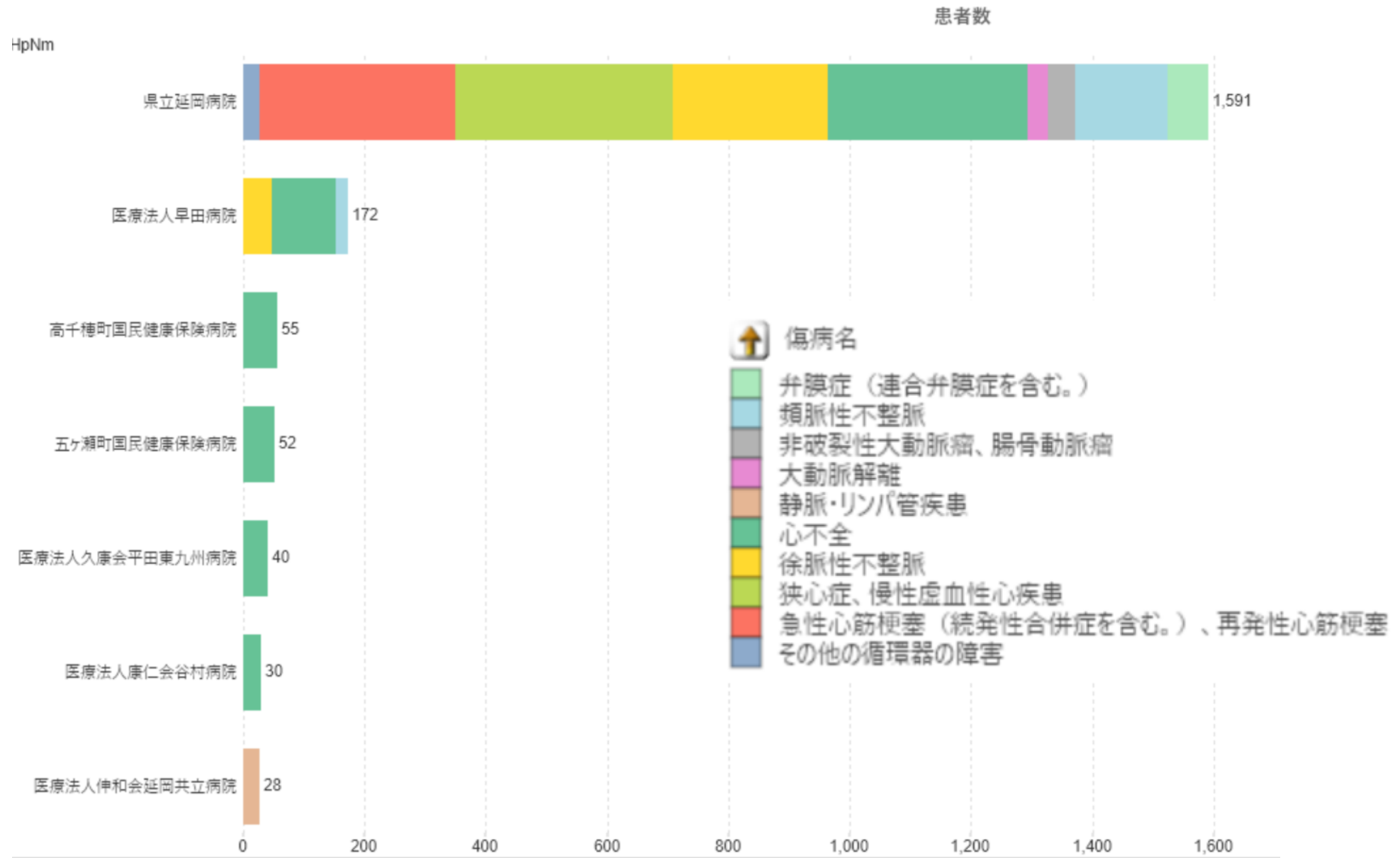
診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC01 R5)



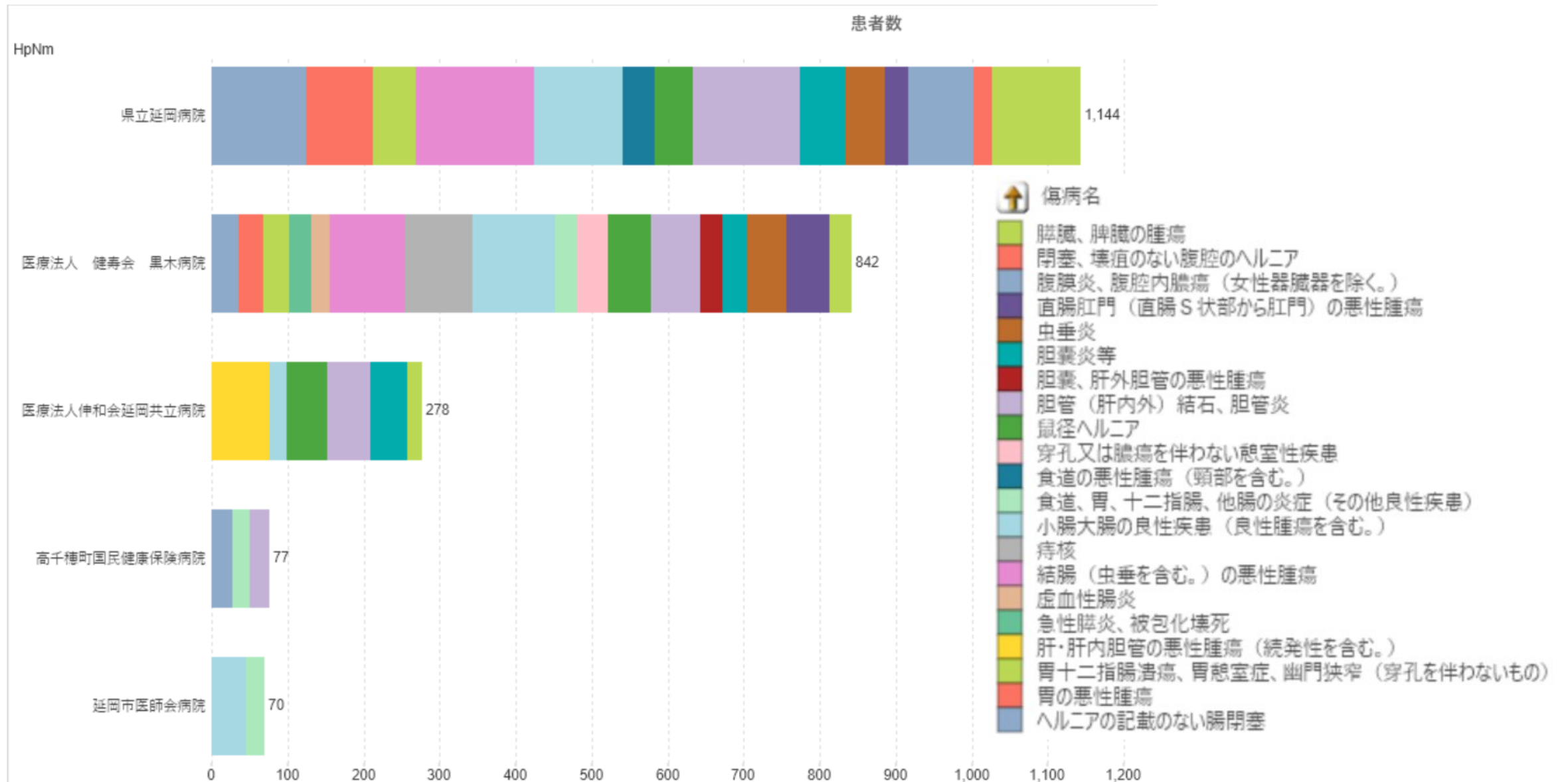
診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC04 R5)



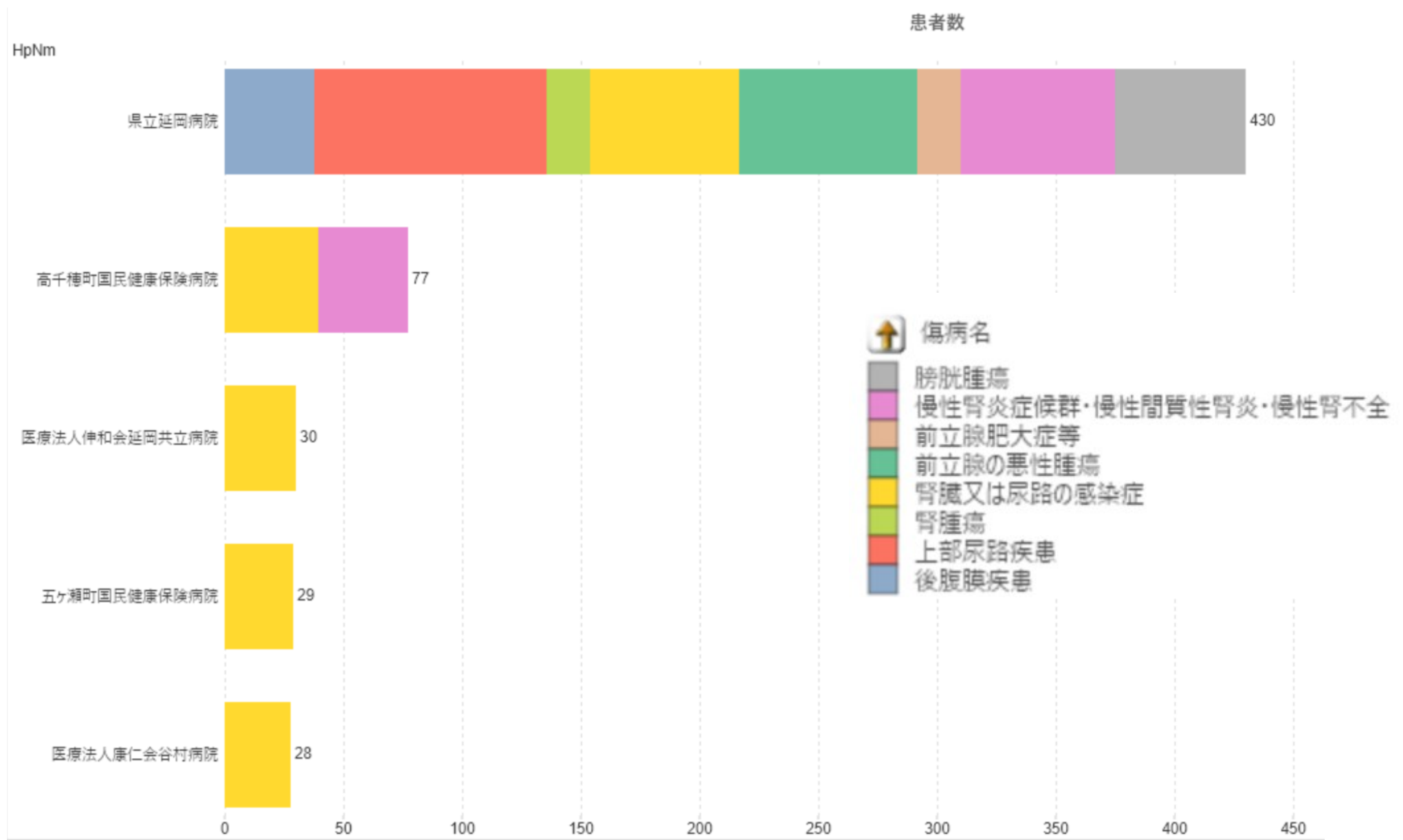
診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC05 R5)



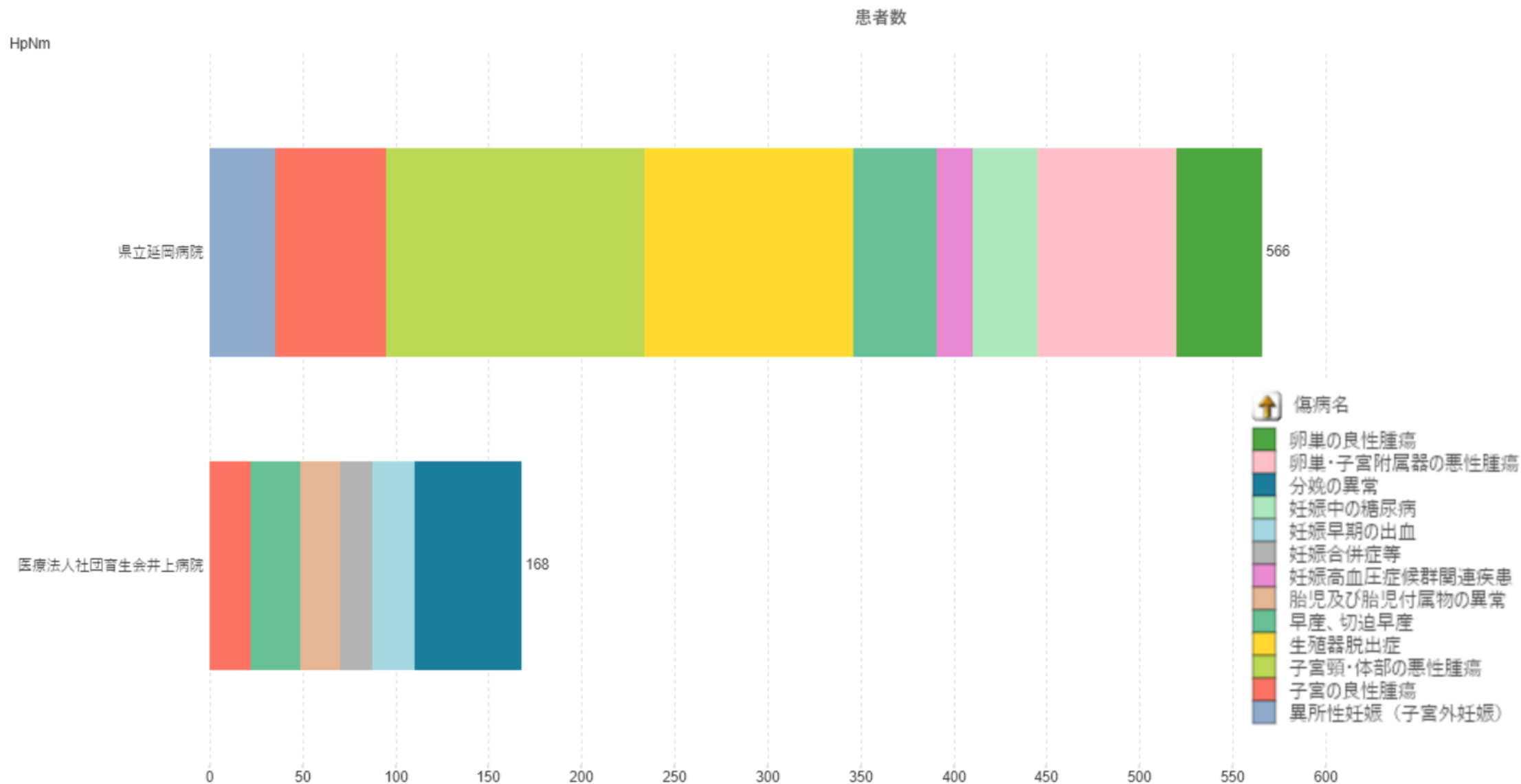
診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC06 R5)



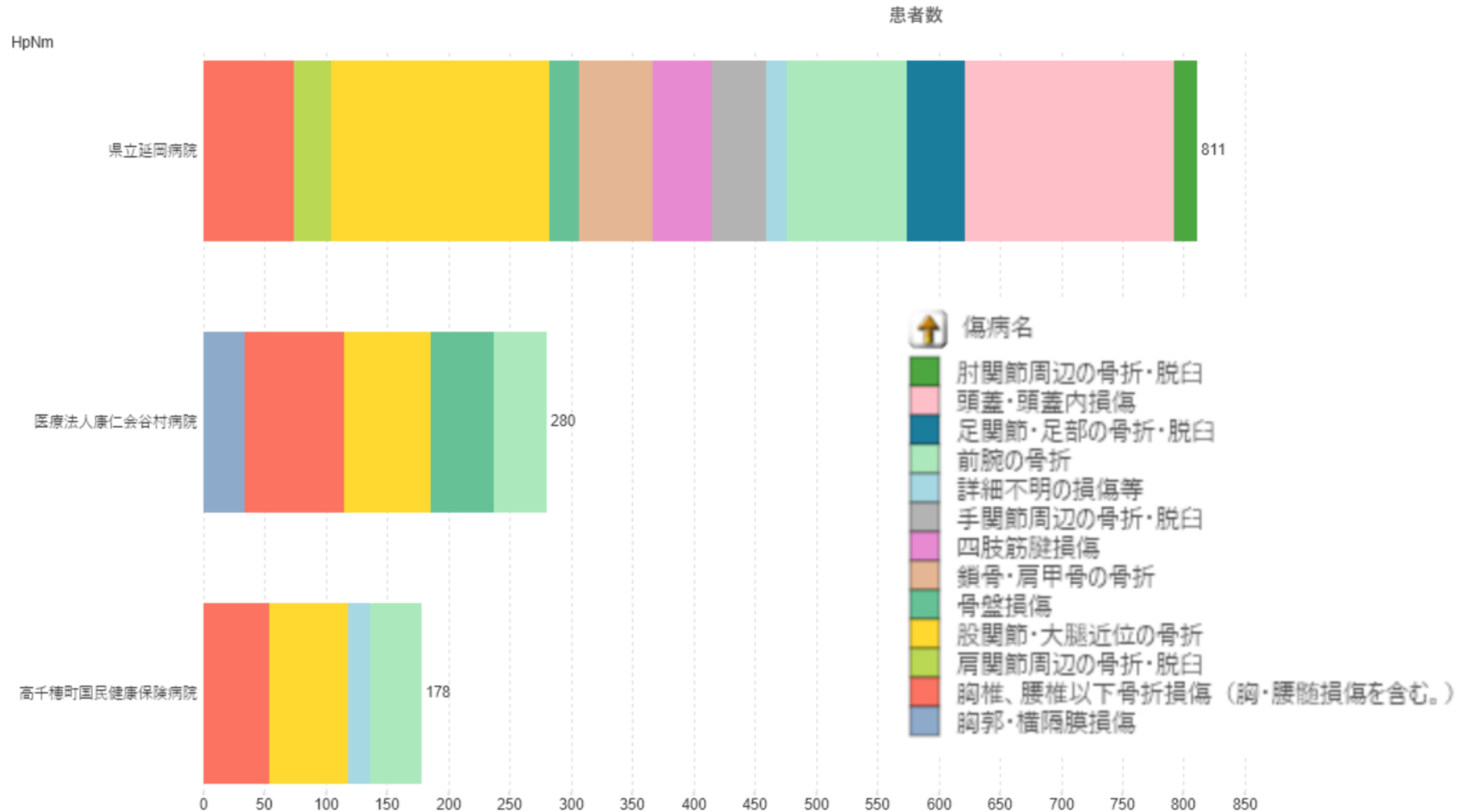
診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC11 R5)



診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC12 R5)

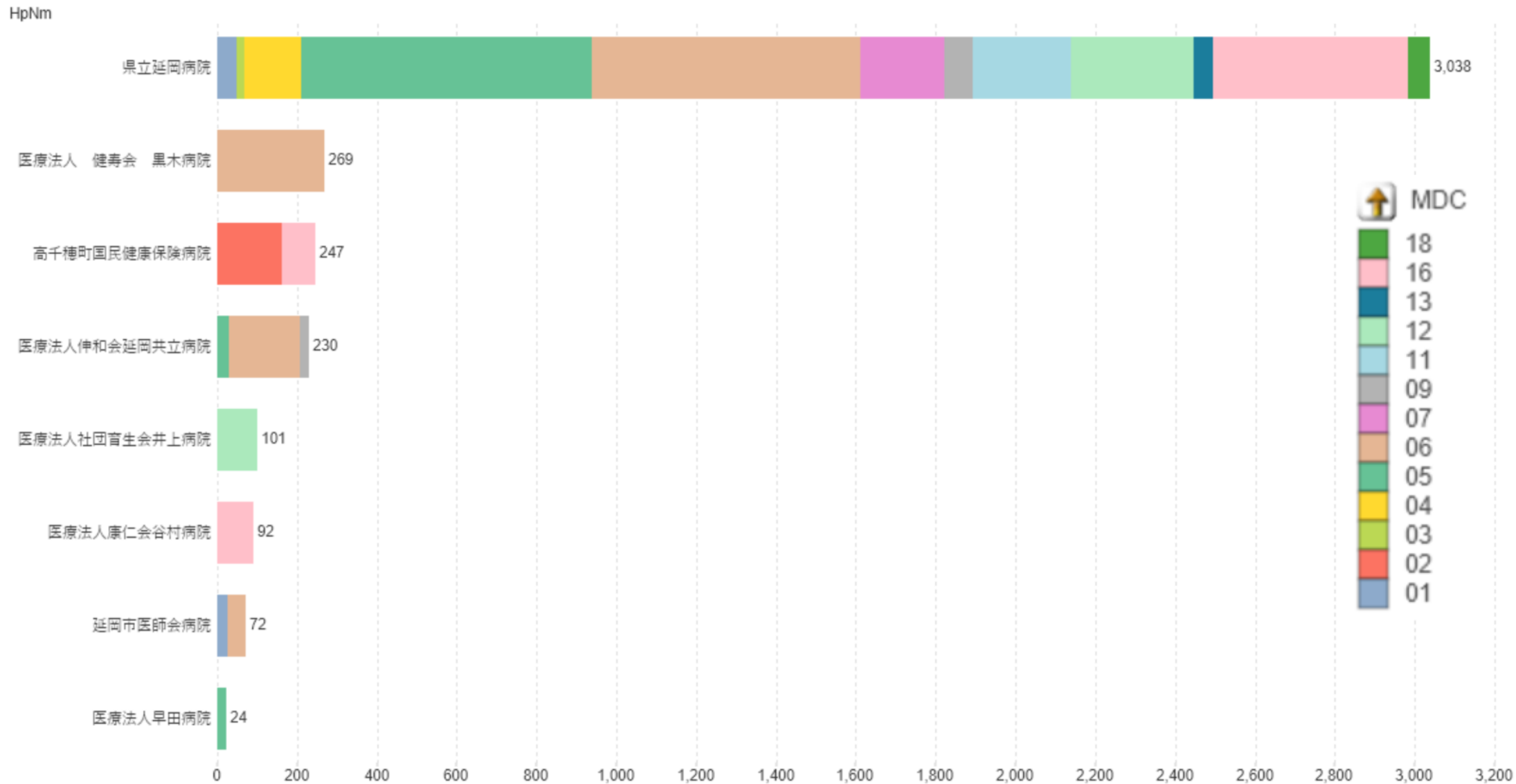


診療の状況 延岡西臼杵医療圏 (MDC16 R5)

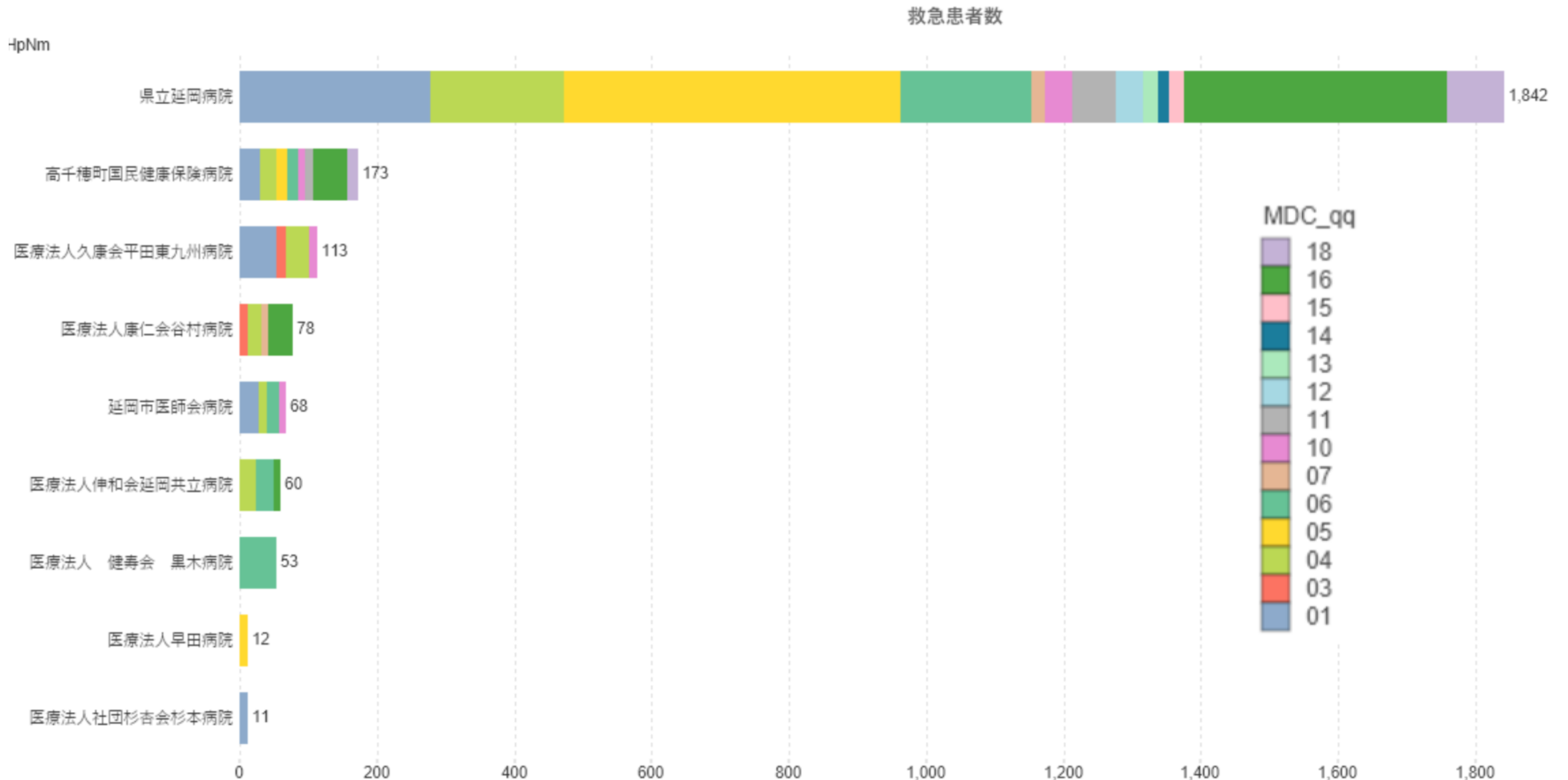


手術の状況 延岡西臼杵医療圏

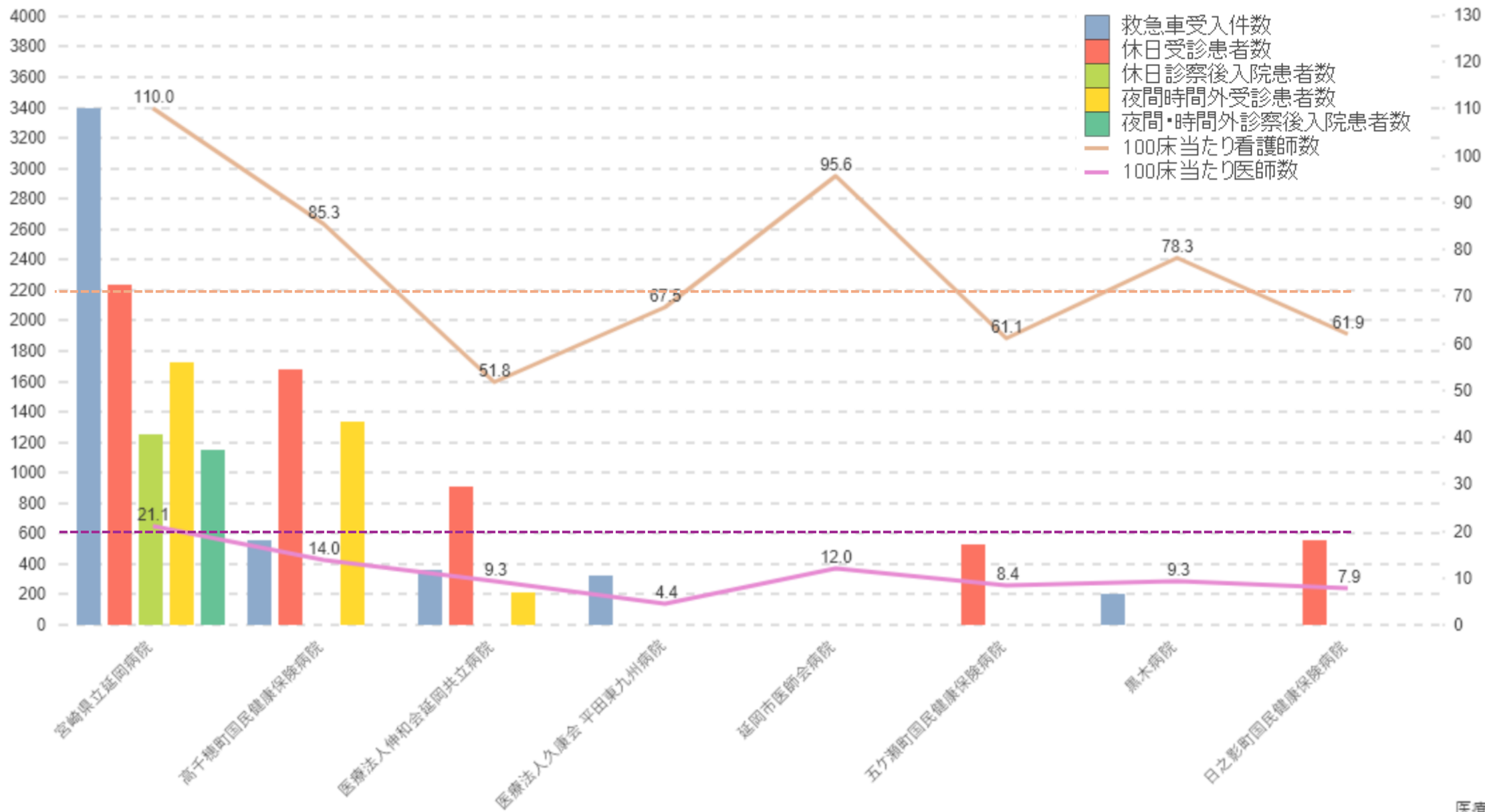
患者数



救急の状況 延岡西臼杵医療圏 R5



医師・看護師の状況 医療機関別 延岡西臼杵医療圏 R5 救急告示病院





● ACSC (Ambulatory Care-Sensitive Conditions)

- ACSCによる入院の割合はその地域の救急医療需要やプライマリ・ケアの効果を評価する指標の一つとして、さまざまな国で用いられている (日本の報告は少ない)

Definition of ACSCs (Bardsley M, et al. BMJ Open 2013 より)

Acute ACSC

| | | |
|---------------------------------|-----------|--|
| Cellulitis | 蜂窩織炎 | L03, L04, L08, L88, L980, L983 |
| Dehydration | 脱水 | E86 |
| Dental conditions | 歯科関連 | A690, K02-06, K08, K098, K099, K12, K13 |
| Ear, nose and throat infections | 耳鼻咽喉科関連 | H66, H67, J02, J03, J06, J312 |
| Gangrene | 壊疽 | R02 |
| Gastroenteritis | 胃腸炎 | K522, K528, K529 |
| Nutritional deficiencies | 栄養不良 | E40-43, E55, E643 |
| Pelvic inflammatory disease | 骨盤内炎症性疾患 | N70, N73, N74 |
| Perforated/bleeding ulcer | 穿孔性/出血性潰瘍 | K250-252, K254-256, K260-262, K264-266, K270-272, K274-276, K280-282, K284-286 |
| UTI/Pyelonephritis | 尿路感染症 | N10, N11, N12, N136, N390 |

Chronic ACSC

| | | |
|---------------------------------------|----------|--|
| Angina | 狭心症 | I20, I240, I248, I249 |
| Asthma | 喘息 | J45, J46 |
| Chronic obstructive pulmonary disease | 慢性閉塞性肺疾患 | J20, J41-44, J47 |
| Congestive heart failure | うっ血性心不全 | I110, I50, J81 |
| Convulsions and epilepsy | 痙攣・てんかん | G40, G41, O15, R56 |
| Diabetes complications | 糖尿病合併症 | E100-108, E110-118, E120-128, E130-138, E140-148 |
| Hypertension | 高血圧 | I10, I119 |
| Iron deficiency anaemia | 鉄欠乏性貧血 | D501, D508, D509 |

Vaccine preventable ACSC

| | | |
|----------------------------|-------------------|--|
| Influenza | インフルエンザ | J10, J11 |
| Pneumonia | 肺炎 | J13, J14, J153, J154, J157, J159, J168, J181, J188 |
| Tuberculosis | 結核 | A15, A16, A19 |
| Other vaccine preventable※ | 他のワクチンにより予防可能な疾患※ | A35-37, A80, B05, B06, B161, B169, B180, B181, B26, G000, M014 |

※Other vaccine preventable

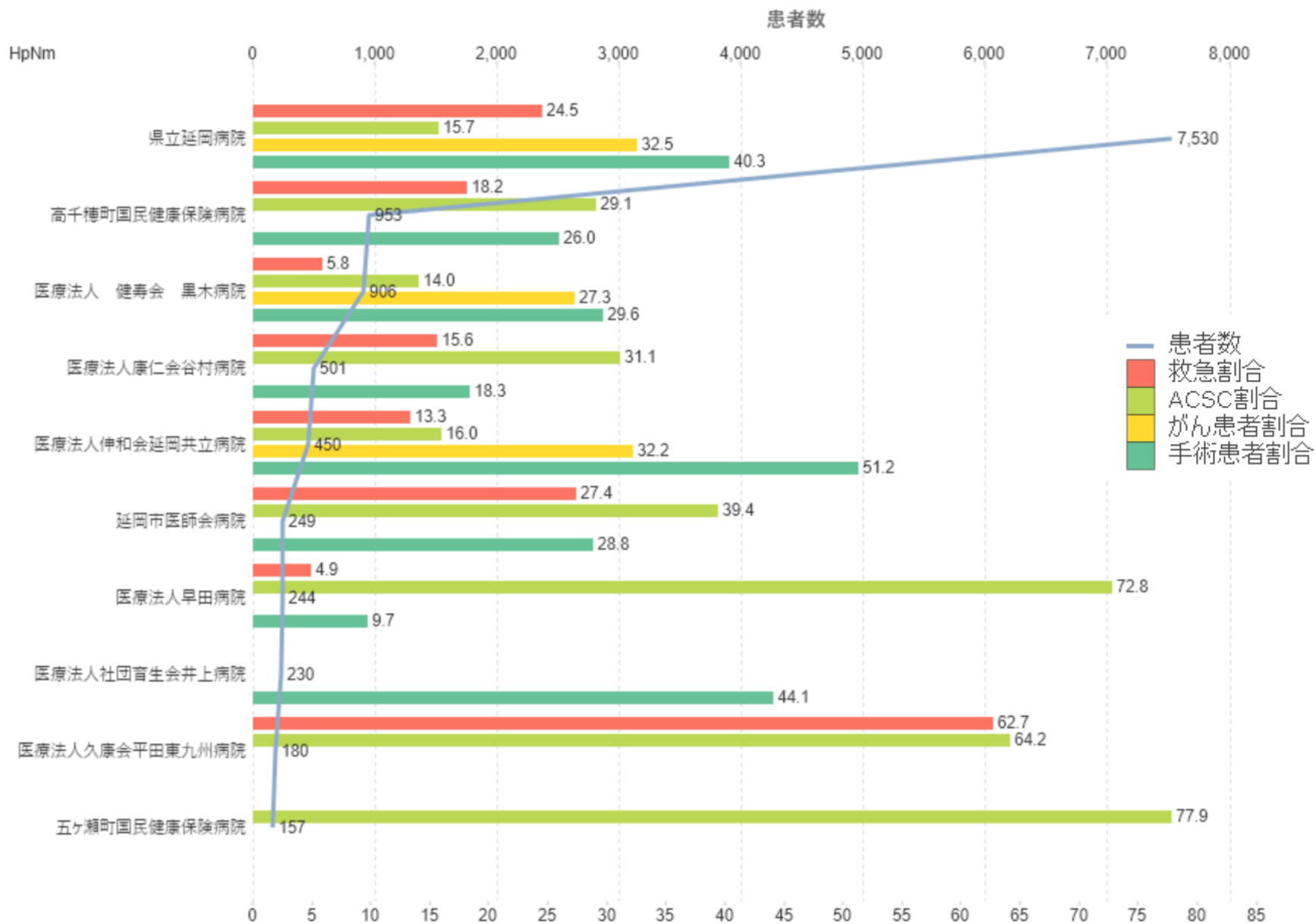
| | |
|------|--------------|
| A35 | 破傷風 |
| A36 | ジフテリア |
| A37 | 百日咳 |
| A80 | ポリオ |
| B05 | 麻疹 |
| B06 | 風疹 |
| B161 | 急性B型肝炎 |
| B169 | 急性B型肝炎 |
| B180 | 慢性B型肝炎 |
| B181 | 慢性B型肝炎 |
| B26 | ムンプス |
| G000 | インフルエンザ菌性髄膜炎 |
| M014 | 風疹性関節炎 |

）参考文献情報***

資料： 松岡佳孝（済生会熊本病院）



ACSCに対応する傷病での入院の状況（延岡西臼杵医療圏 R5）



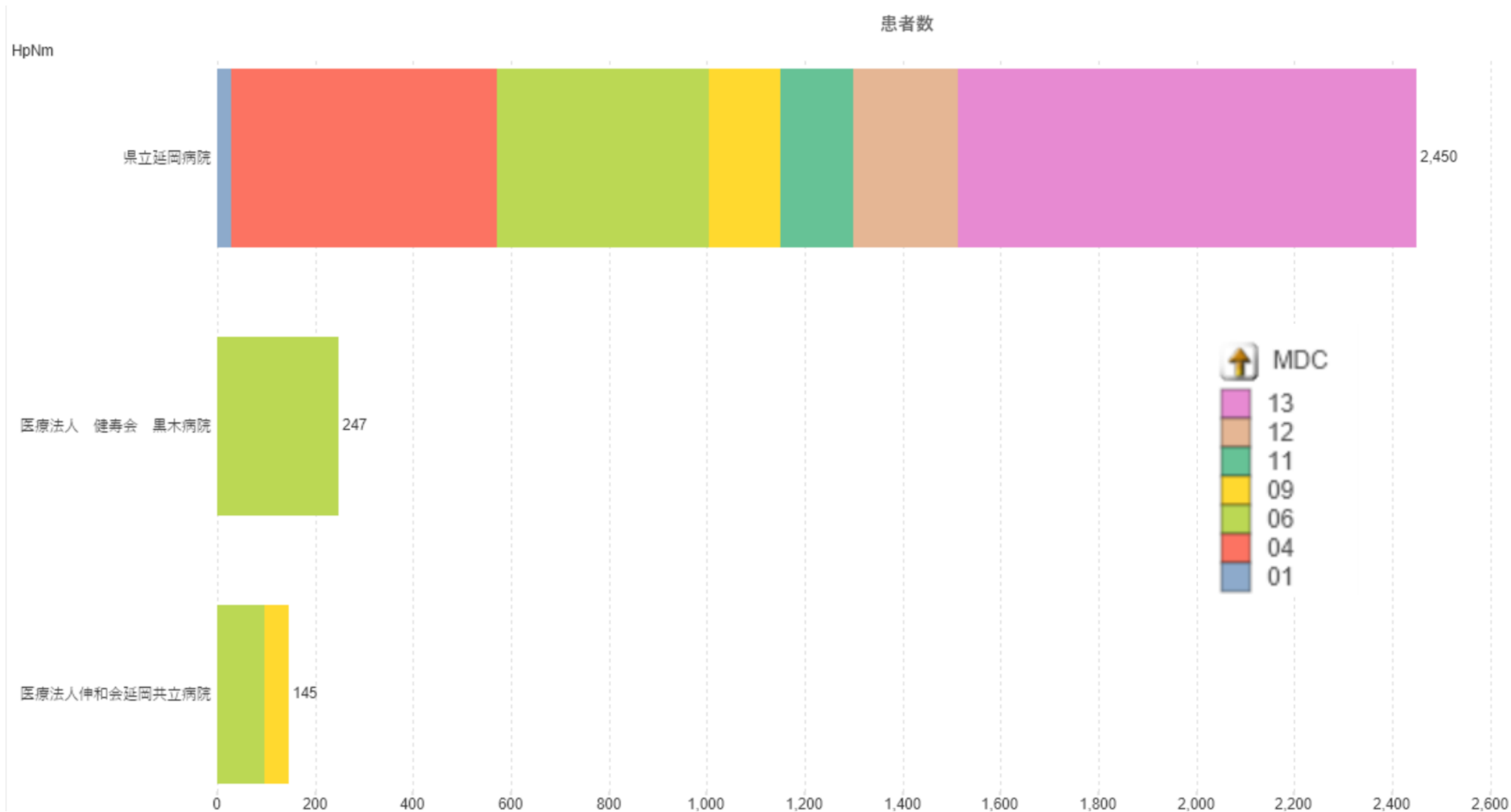
救急搬送による入院の将来推計

延岡西臼杵医療圏

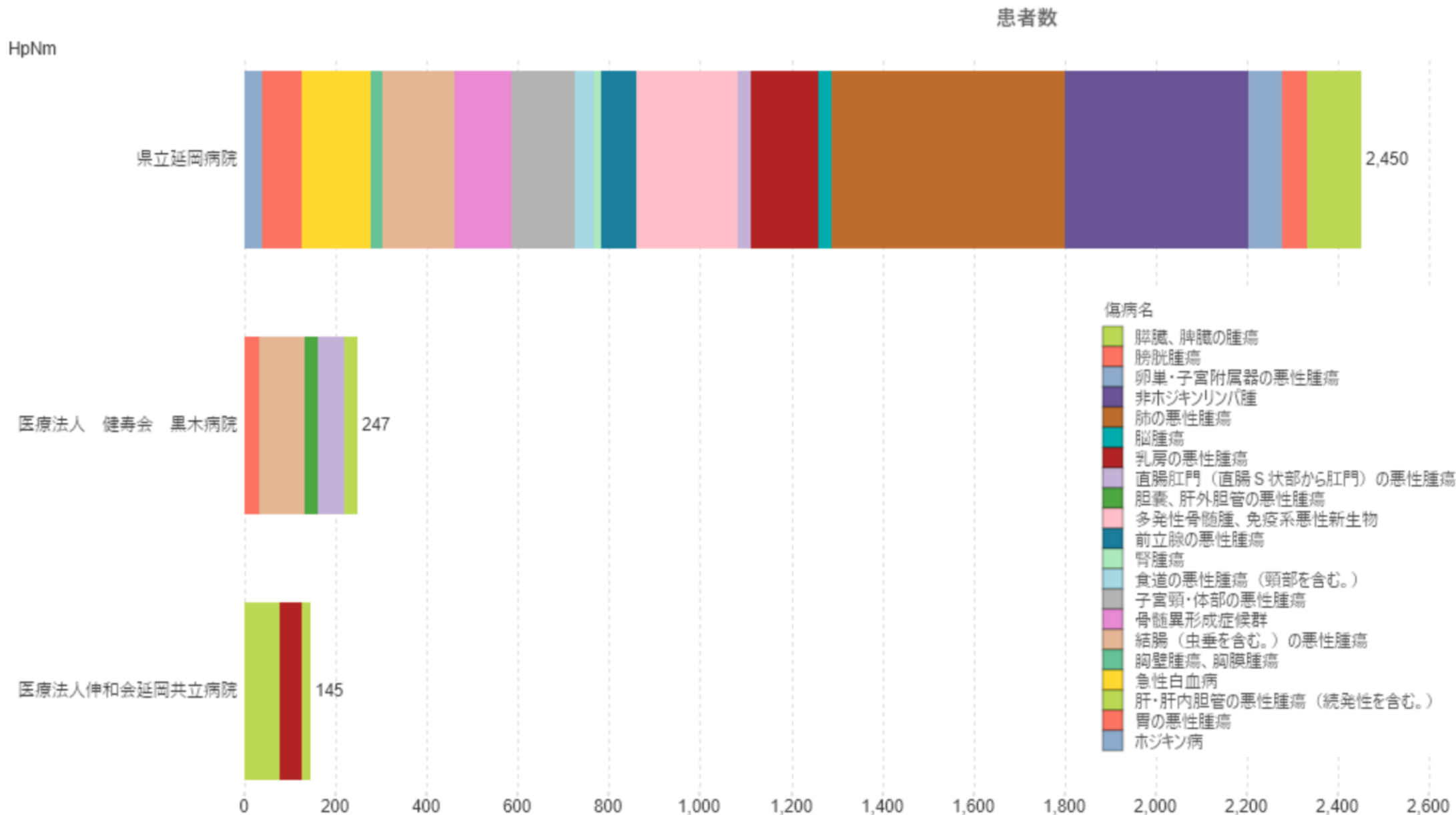
| 指数（2020年度を100） | | | | | | | | | | | |
|----------------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 年 | 0_4歳 | 5_14歳 | 15_24歳 | 25_34歳 | 35_44歳 | 45_54歳 | 55_64歳 | 65_74歳 | 75_84歳 | 85歳以上 | 合計 |
| 2020年 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 2025年 | 78 | 87 | 90 | 88 | 85 | 100 | 86 | 88 | 112 | 103 | 98 |
| 2030年 | 71 | 71 | 83 | 86 | 70 | 89 | 85 | 75 | 122 | 101 | 96 |
| 2035年 | 65 | 60 | 72 | 84 | 64 | 76 | 87 | 65 | 108 | 118 | 95 |
| 2040年 | 62 | 55 | 59 | 78 | 63 | 63 | 78 | 64 | 93 | 128 | 92 |
| 2045年 | 57 | 52 | 51 | 69 | 61 | 58 | 67 | 66 | 81 | 122 | 85 |
| 2050年 | 52 | 49 | 47 | 57 | 57 | 57 | 56 | 59 | 81 | 111 | 79 |

厚生労働行政推進調査事業費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「DPCデータを用いた入院医療の評価・検証及びDPCデータベースの利活用に資する研究（課題番号24AA2006）（研究代表者 伏見清秀）」で示されている二次医療圏別・性年齢階級別救急車による搬送割合のデータを、国立社会保障人口問題研究所が公開している人口推計（市町村別を二次医療圏別に集計）と組み合わせ、推計。いずれの年齢階級も2020年の数を100として、各年度の結果を指数として表示。

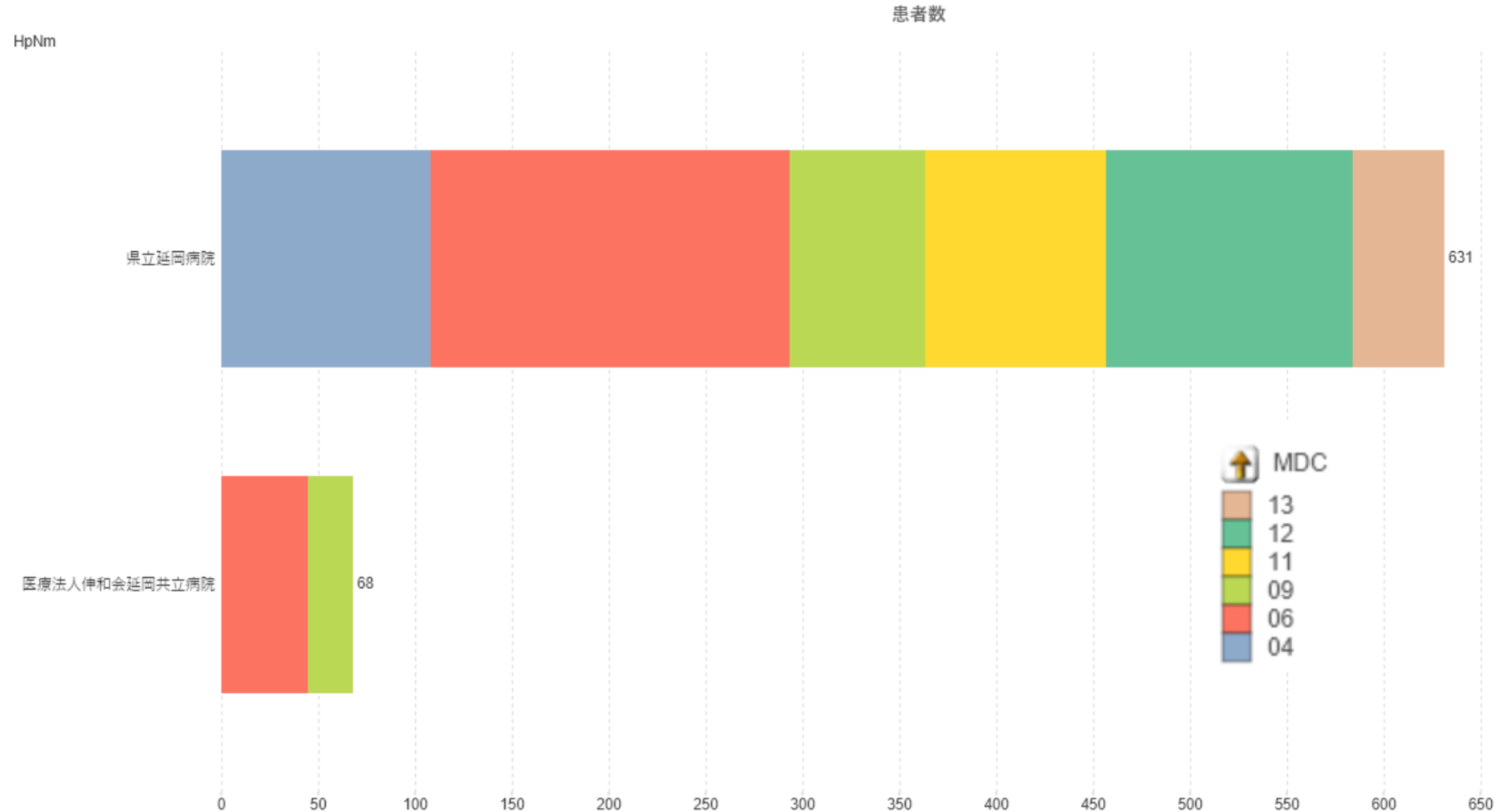
診療の状況 延岡西臼杵医療圏（腫瘍 R5）



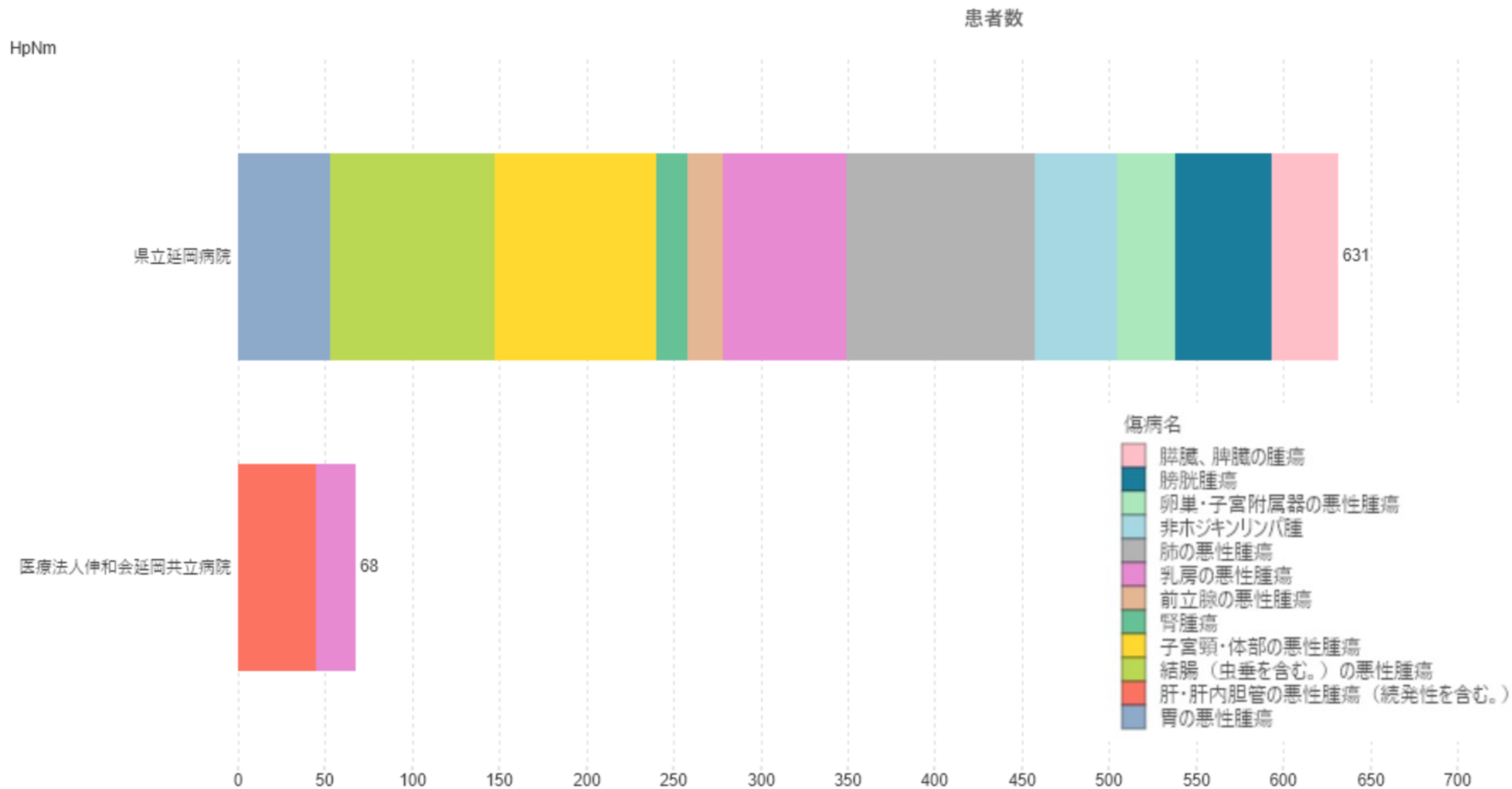
診療の状況 延岡西白杵医療圏（腫瘍詳細 R5）



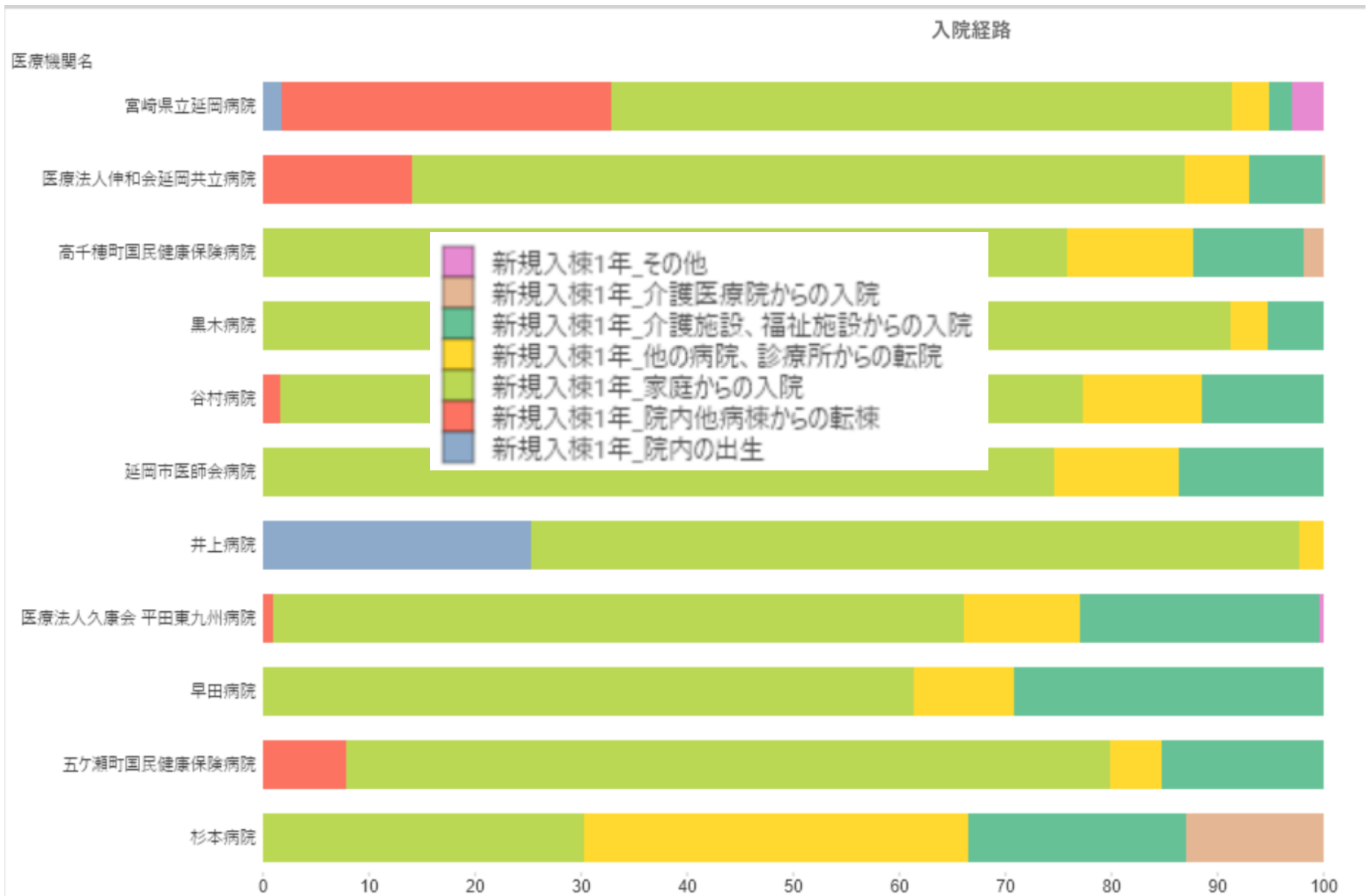
診療の状況 延岡西臼杵医療圏（腫瘍手術有 R5）



診療の状況 延岡西臼杵医療圏（腫瘍手術有 詳細 R5）

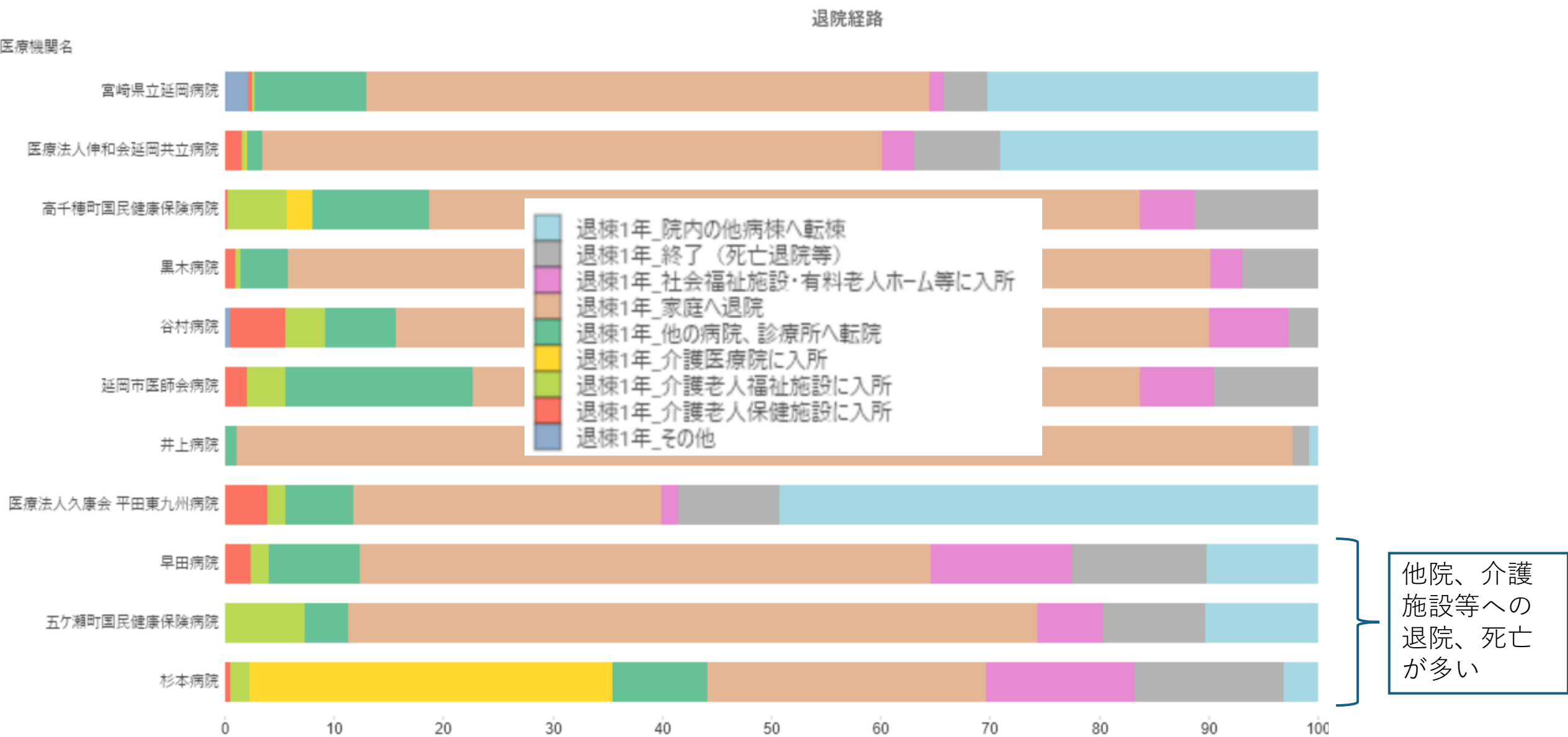


入院経路 延岡西臼杵医療圏 R3 高度急性期・急性期



他院、介護施設等からの入院が多い

退院経路 延岡西白杵医療圏 R3 高度急性期・急性期

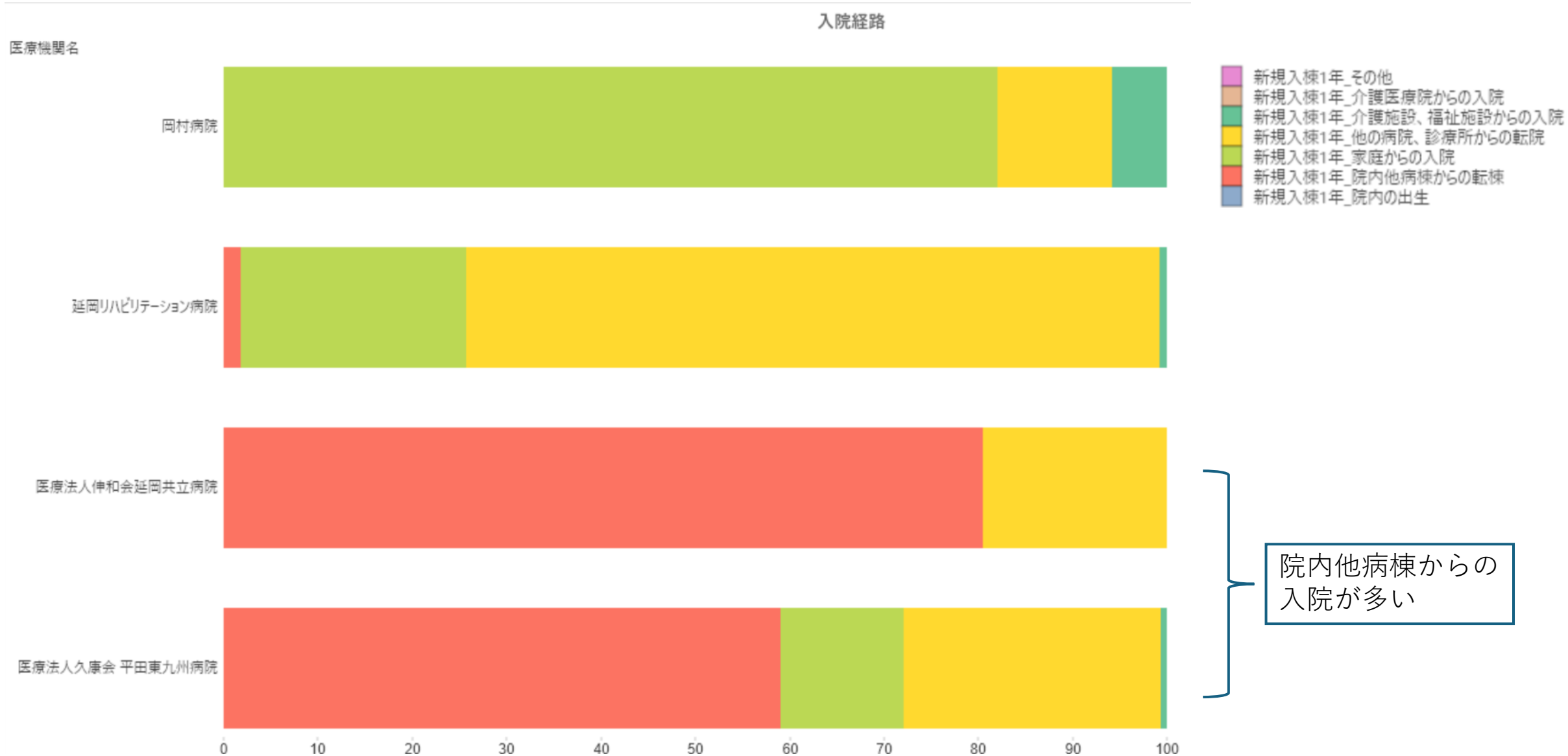


病院管理指標 延岡西臼杵医療圏 R5 高度急性期・急性期

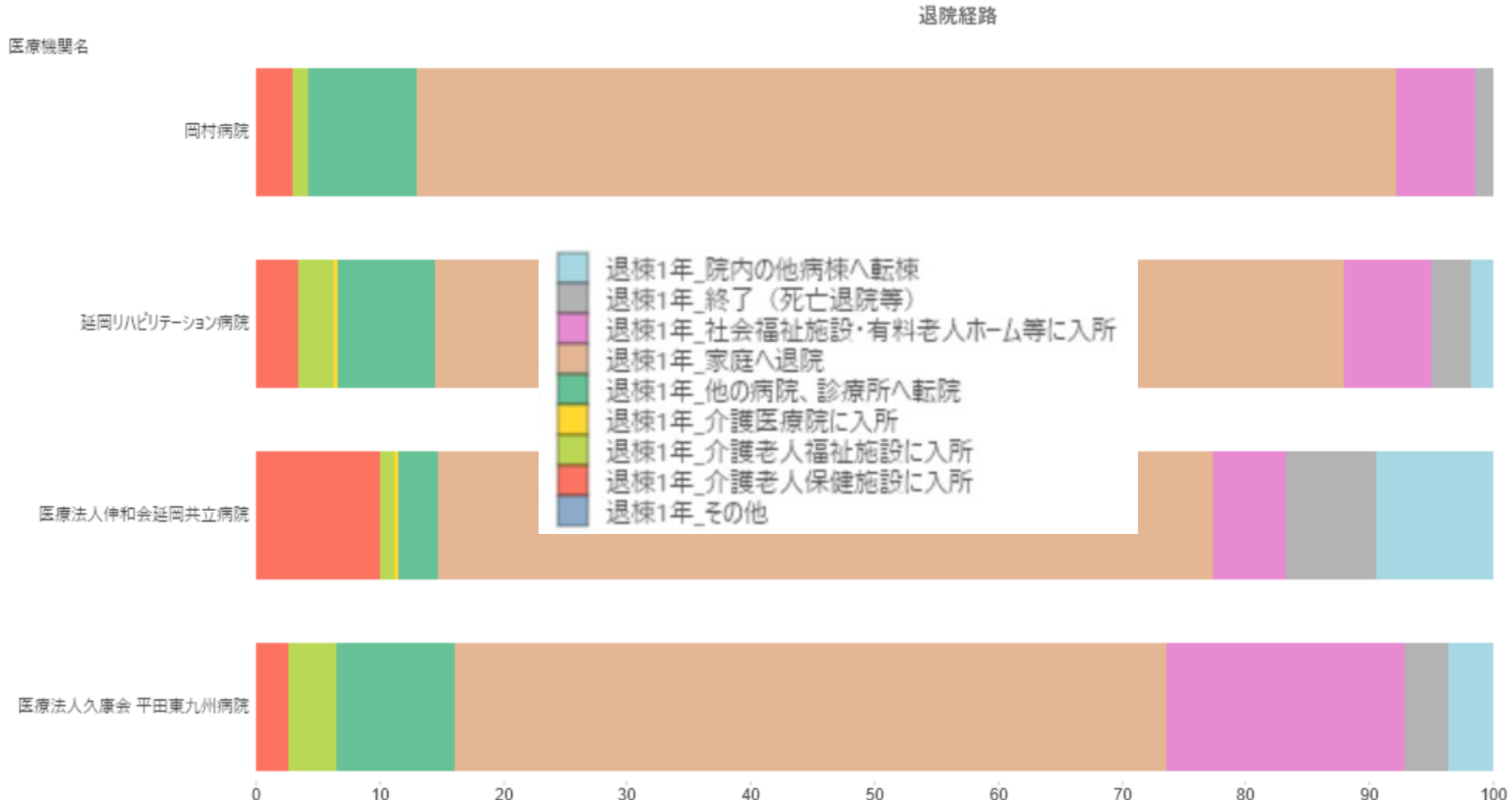
| 医療機関名 | 一般病床数 | 療養病床数 | 在棟患者延べ 数 年間 | 新規入棟患者 数 年間 | 病床稼働率 | 平均在院日数 |
|-----------------|------------|-----------|----------------|----------------|-------------|-------------|
| | 870 | 30 | 235,969 | 19,074 | 71.8 | 12.4 |
| 宮崎県立延岡病院 | 365 | 0 | 93,239 | 11,763 | 70.0 | 8.0 |
| 医療法人伸和会延岡共立病院 | 108 | 0 | 29,509 | 2,036 | 74.9 | 14.5 |
| 高千穂町国民健康保険病院 | 103 | 0 | 34,104 | 1,060 | 90.7 | 32.2 |
| 黒木病院 | 60 | 0 | 15,849 | 1,039 | 72.4 | 15.1 |
| 谷村病院 | 53 | 0 | 13,174 | 704 | 68.1 | 18.6 |
| 延岡市医師会病院 | 54 | 0 | 15,816 | 633 | 80.2 | 24.6 |
| 井上病院 | 13 | 30 | 4,040 | 490 | 25.7 | 8.4 |
| 医療法人久康会 平田東九州病院 | 33 | 0 | 8,720 | 431 | 72.4 | 20.2 |
| 早田病院 | 28 | 0 | 7,871 | 391 | 77.0 | 20.4 |
| 五ヶ瀬町国民健康保険病院 | 29 | 0 | 6,895 | 342 | 65.1 | 20.5 |
| 杉本病院 | 24 | 0 | 6,752 | 185 | 77.1 | 33.3 |

コロナ流行時のデータであることに注意。現在もこのような状況であれば高度急性期・急性期の病床が過剰になっている可能性がある。なお、患者数は各機能区分の病棟への入棟者数の合算になっているため、1入院で見たときには重複があることに注意。

入院経路 延岡西臼杵医療圏 R3 回復期（包括期）



退院経路 延岡西白杵医療圏 R3 回復期（包括期）

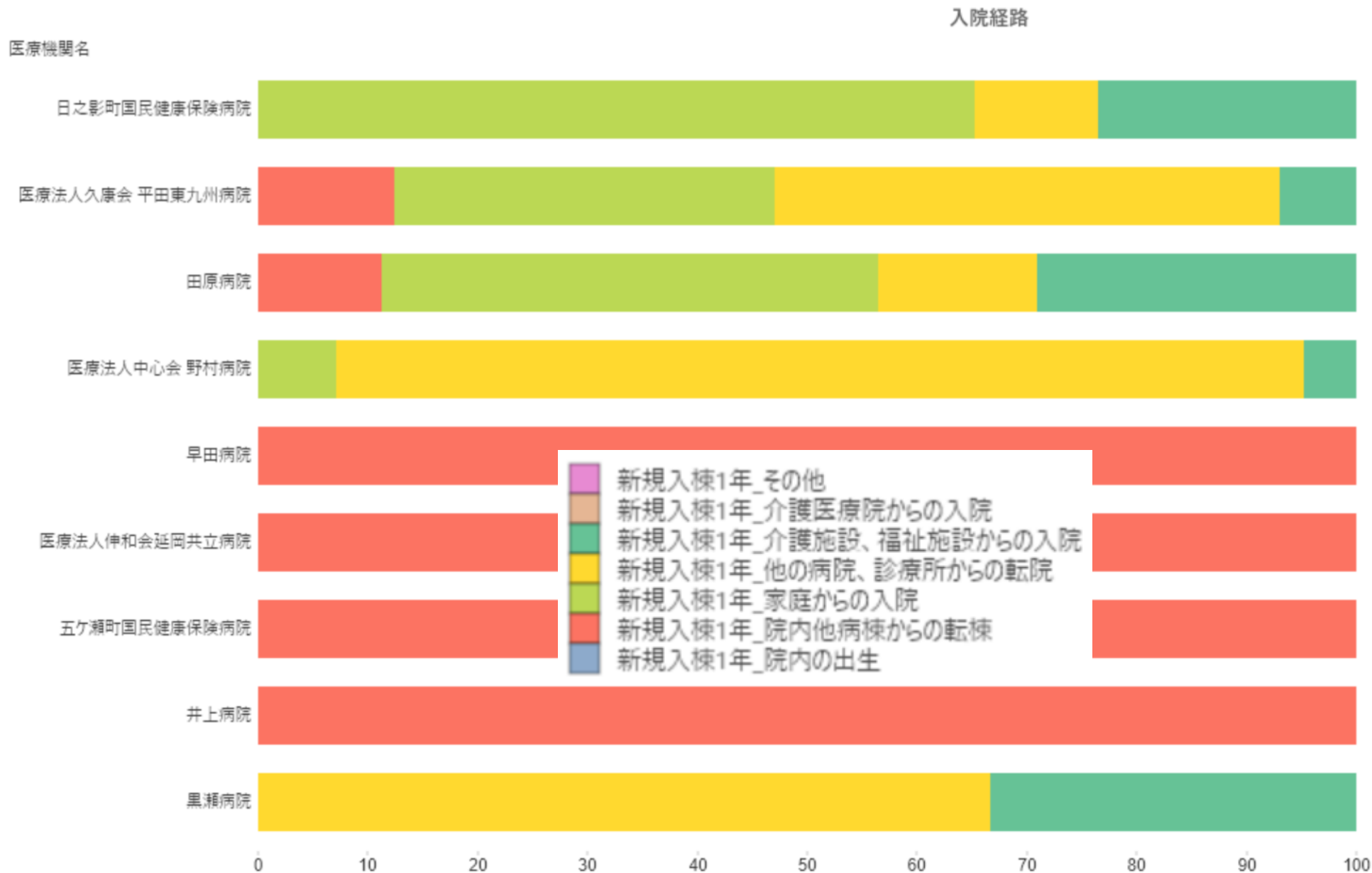


病院管理指標 延岡西臼杵医療圏 R5 回復期（包括期）

| 医療機関名 | 一般病床数 | 療養病床数 | 在棟患者延べ 数 年間 | 新規入棟患者 数 年間 | 病床稼働率 | 平均在院日数 |
|-----------------|-----------|------------|----------------|----------------|-------------|-------------|
| | 55 | 190 | 77,367 | 1,570 | 86.5 | 49.2 |
| 岡村病院 | 55 | 0 | 15,771 | 551 | 78.6 | 28.7 |
| 延岡リハビリテーション病院 | 0 | 80 | 25,158 | 377 | 86.2 | 66.5 |
| 医療法人伸和会延岡共立病院 | 0 | 50 | 16,518 | 337 | 90.5 | 48.8 |
| 医療法人久康会 平田東九州病院 | 0 | 60 | 19,920 | 305 | 91.0 | 65.2 |

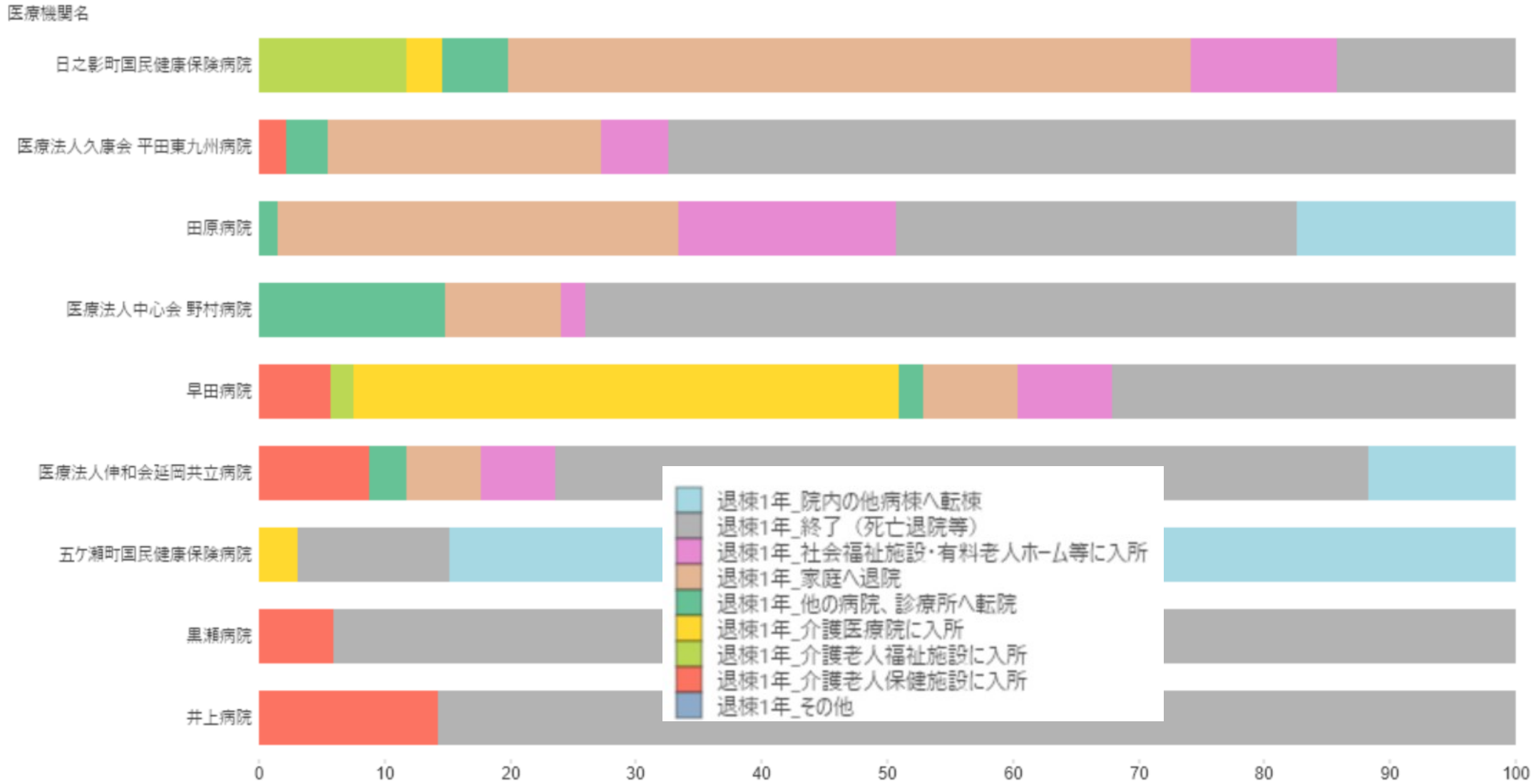
コロナ流行時のデータであることに注意。現在もこのような状況であれば高度急性期・急性期の病床が過剰になっている可能性がある。
 なお、患者数は各機能区分の病棟への入棟者数の合算になっているため、1入院で見たときには重複があることに注意。

入院経路 延岡西臼杵医療圏 R3 慢性期



退院経路 延岡西白杵医療圏 R3 慢性期

退院経路

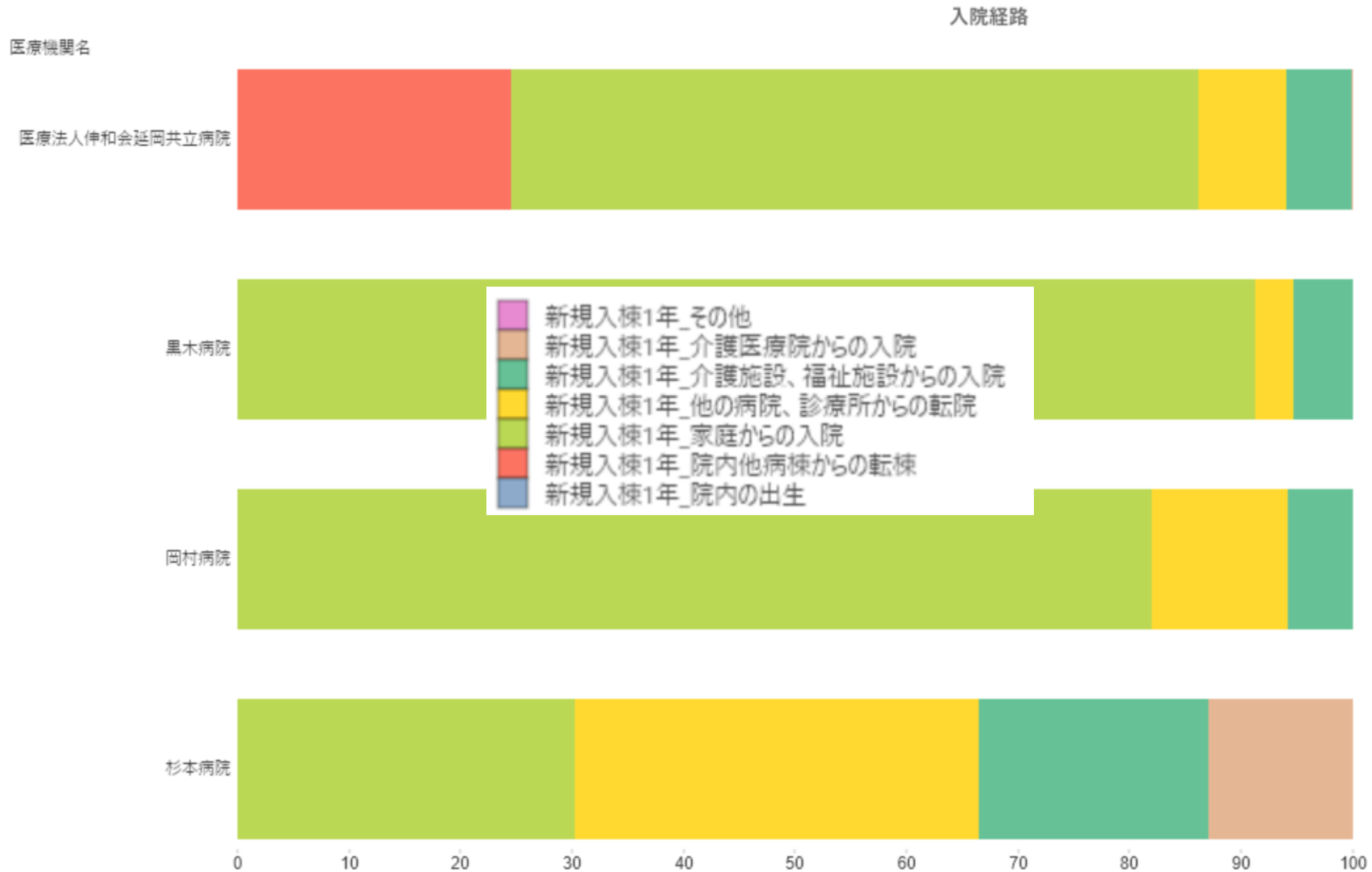


病院管理指標 延岡西白杵医療圏 R5 慢性期

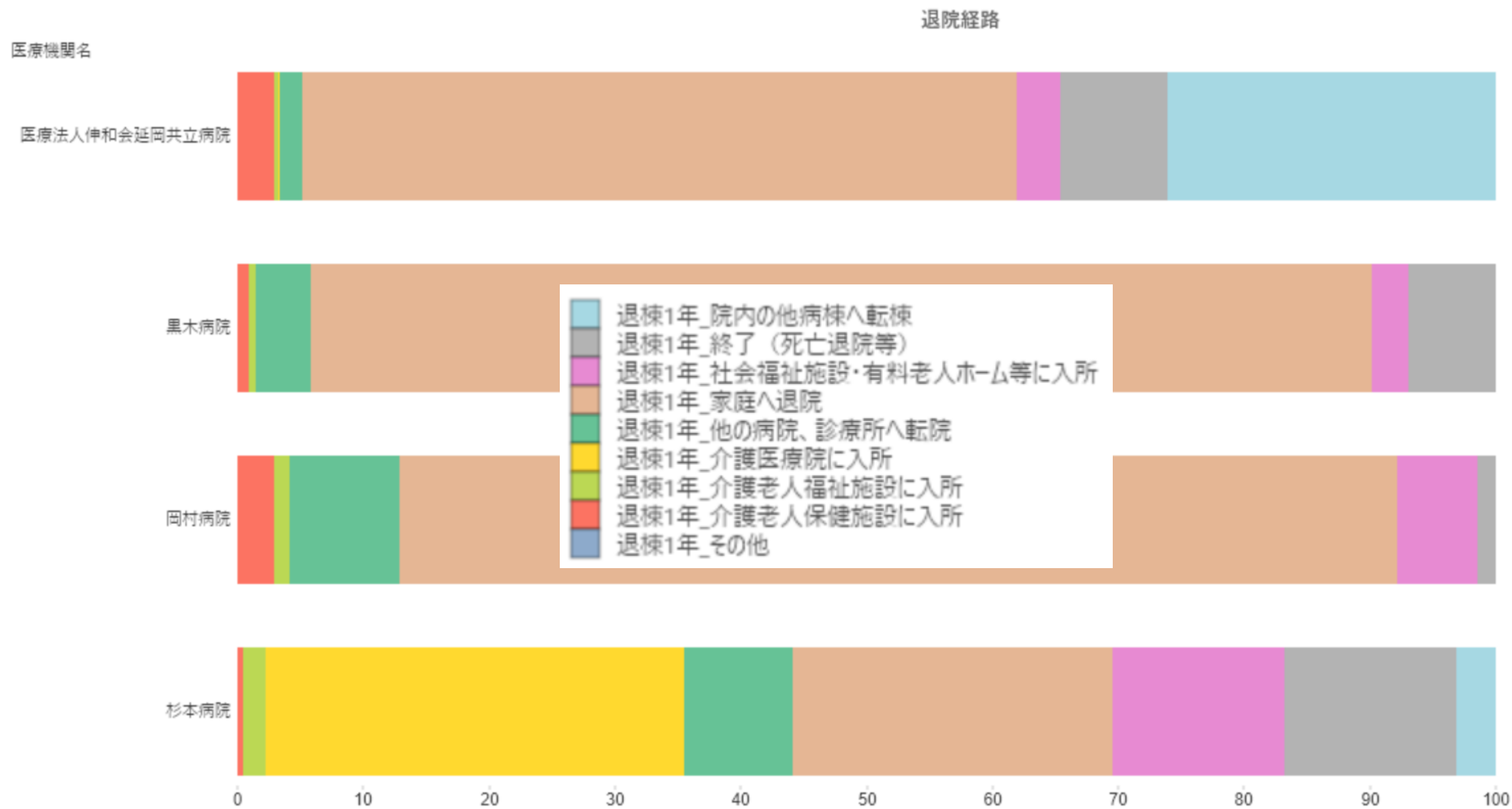
| 医療機関名 | 一般病床数 | 療養病床数 | 在棟患者延べ 数 年間 | 新規入棟患者 数 年間 | 病床稼働率 | 平均在院日数 |
|-----------------|------------|------------|----------------|----------------|-------------|--------------|
| | 151 | 182 | 77,392 | 692 | 63.7 | 108.1 |
| 日之影町国民健康保険病院 | 42 | 0 | 10,622 | 276 | 69.3 | 38.1 |
| 医療法人久康会 平田東九州病院 | 21 | 0 | 381 | 185 | 5.0 | 2.1 |
| 田原病院 | 13 | 14 | 7,946 | 62 | 80.6 | 121.3 |
| 医療法人中心会 野村病院 | 0 | 73 | 16,294 | 42 | 61.2 | 339.5 |
| 早田病院 | 28 | 20 | 7,156 | 39 | 40.8 | 155.6 |
| 医療法人伸和会延岡共立病院 | 34 | 0 | 11,665 | 34 | 94.0 | 343.1 |
| 五ヶ瀬町国民健康保険病院 | 0 | 16 | 4,764 | 32 | 81.6 | 146.6 |
| 井上病院 | 13 | 30 | 9,349 | 16 | 59.6 | 623.3 |
| 里瀬病院 | 0 | 29 | 9,215 | 6 | 87.1 | 801.3 |

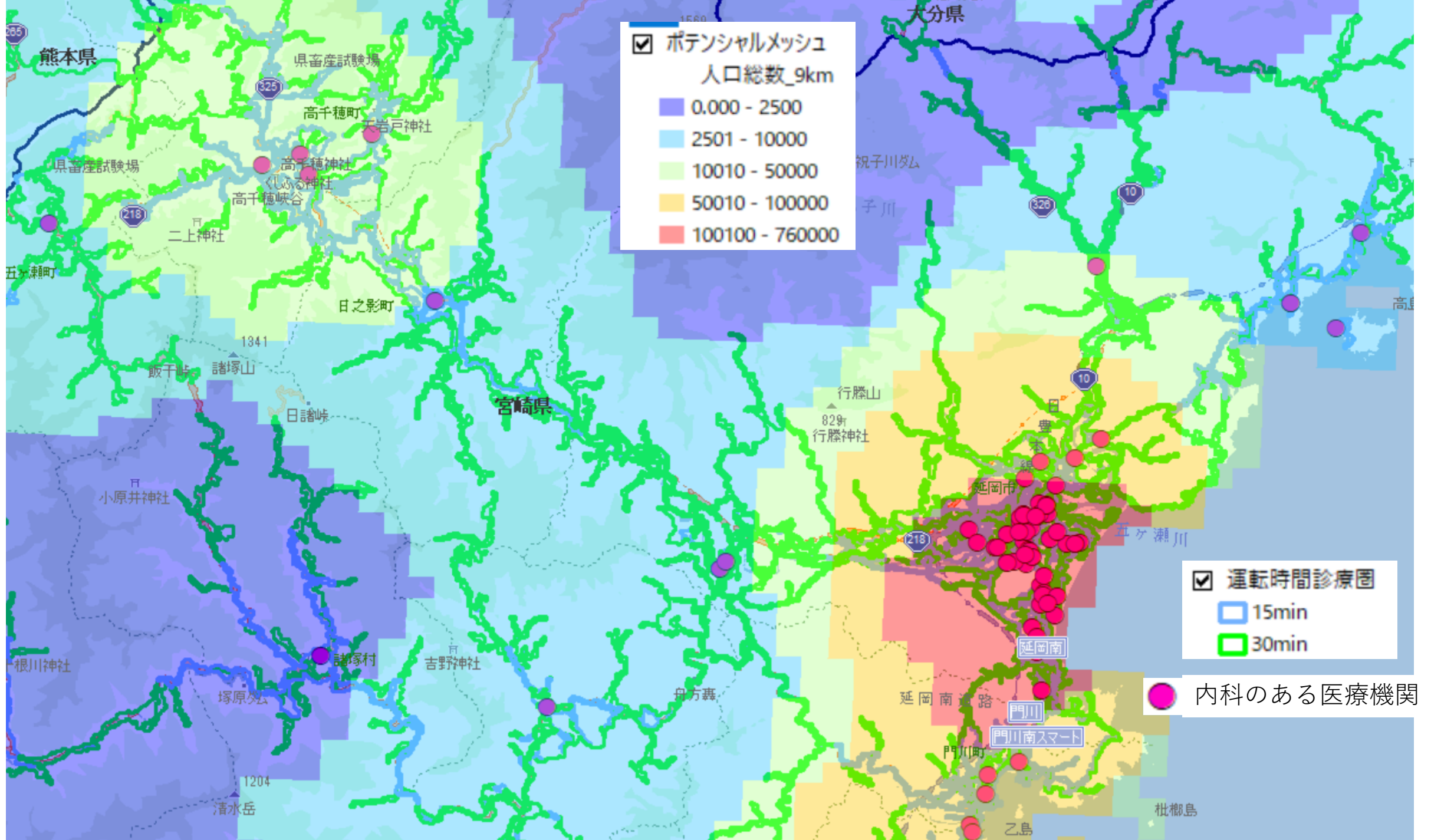
コロナ流行時のデータであることに注意。現在もこのような状況であれば高度急性期・急性期の病床が過剰になっている可能性がある。なお、患者数は各機能区分の病棟への入棟者数の合算になっているため、1入院で見たときには重複があることに注意。

入院経路 延岡西臼杵医療圏 R3 在宅療養支援病院



退院経路 延岡西白杵医療圏 R3 在宅療養支援病院





傷病別入院および外来患者数の推計（1日当たり）

• 用いたデータ

- 令和5年の患者調査の傷病別受療率のデータ（宮崎県分・入院外来別・年齢階級別受療率）（1）
- 令和2年の国勢調査及び社会保障人口問題研究所の人口将来推計の1kmメッシュデータ（年齢階級別人口）（2）
- （2）をもとにした各メッシュから30分運転時間内の年齢階級別人口（3）
- 令和6年の九州厚生局医療機関リスト（住所から緯度経度を推計し、1kmメッシュ番号を割り当て）（4）*なお外来については15分運転時間内の年齢階級別人口についても推計を行った。

• 分析方法

- （3）・（4）を用いて各医療機関のあるメッシュ番号から30分運転圏内の年齢階級別人口を年度別に推計（5）
- （5）に（1）をかけあわせて、各医療機関の年齢階級別、入院外来別、傷病別患者数を推計

注： 推計結果は当該医療機関があるメッシュから30分運転時間内の地域に住む患者数。当該医療機関に入院および外来受診している患者数ではないことに注意。

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（1）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総数 | 100 | 99 | 97 | 96 | 94 | 87 | 81 |
| Ⅰ 感染症及び寄生虫症 | 100 | 99 | 97 | 97 | 95 | 88 | 81 |
| 腸管感染症 | 100 | 97 | 95 | 96 | 94 | 87 | 78 |
| 結核 | 100 | 94 | 91 | 97 | 97 | 90 | 80 |
| 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 | 100 | 105 | 110 | 114 | 111 | 101 | 95 |
| 真菌症 | 100 | 94 | 88 | 86 | 85 | 82 | 77 |
| その他の感染症及び寄生虫症 | 100 | 99 | 97 | 94 | 91 | 85 | 79 |
| Ⅱ 新生物<腫瘍> | 100 | 98 | 95 | 91 | 87 | 81 | 76 |
| （悪性新生物<腫瘍>）（再掲） | 100 | 98 | 96 | 92 | 87 | 81 | 76 |
| 胃の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 100 | 97 | 94 | 91 | 86 | 82 |
| 結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 99 | 98 | 93 | 88 | 82 | 77 |
| 気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 99 | 97 | 96 | 94 | 88 | 83 |
| その他の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 97 | 95 | 90 | 85 | 79 | 74 |
| 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 100 | 98 | 93 | 89 | 85 | 79 | 74 |

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（2）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Ⅲ血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 100 | 98 | 96 | 97 | 94 | 87 | 80 |
| 貧血 | 100 | 96 | 92 | 97 | 99 | 94 | 86 |
| その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 100 | 102 | 106 | 97 | 84 | 73 | 70 |
| Ⅳ内分泌，栄養及び代謝疾患 | 100 | 99 | 96 | 96 | 94 | 88 | 81 |
| 甲状腺障害 | 100 | 92 | 84 | 76 | 71 | 67 | 60 |
| 糖尿病 | 100 | 98 | 95 | 93 | 90 | 84 | 78 |
| 脂質異常症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の内分泌，栄養及び代謝疾患 | 100 | 100 | 98 | 103 | 103 | 97 | 89 |
| Ⅴ精神及び行動の障害 | 100 | 96 | 93 | 88 | 84 | 78 | 72 |
| 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害 | 100 | 94 | 89 | 83 | 78 | 72 | 66 |
| 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む） | 100 | 98 | 95 | 90 | 84 | 78 | 72 |
| 神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 100 | 99 | 96 | 94 | 90 | 84 | 78 |
| その他の精神及び行動の障害 | 100 | 99 | 96 | 95 | 92 | 86 | 80 |
| Ⅵ神経系の疾患 | 100 | 102 | 101 | 102 | 100 | 93 | 87 |

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（3）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| VII眼及び付属器の疾患 | 100 | 99 | 96 | 86 | 79 | 74 | 70 |
| 白内障 | 100 | 99 | 96 | 87 | 81 | 76 | 72 |
| その他の眼及び付属器の疾患 | 100 | 98 | 93 | 83 | 74 | 68 | 66 |
| VIII耳及び乳様突起の疾患 | 100 | 95 | 89 | 82 | 76 | 71 | 66 |
| 外耳疾患 | 100 | 88 | 73 | 61 | 56 | 53 | 50 |
| 中耳炎 | 100 | 86 | 83 | 82 | 73 | 62 | 49 |
| その他の中耳及び乳様突起の疾患 | 100 | 89 | 79 | 74 | 71 | 68 | 63 |
| 内耳疾患 | 100 | 99 | 97 | 94 | 89 | 82 | 75 |
| その他の耳疾患 | 100 | 104 | 101 | 87 | 76 | 70 | 69 |
| IX循環器系の疾患 | 100 | 102 | 102 | 103 | 101 | 95 | 89 |
| 高血圧性疾患 | 100 | 105 | 105 | 119 | 125 | 119 | 109 |
| （心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）） | 100 | 102 | 101 | 103 | 103 | 96 | 90 |
| 虚血性心疾患 | 100 | 100 | 99 | 95 | 90 | 84 | 80 |
| その他の心疾患 | 100 | 102 | 101 | 105 | 106 | 99 | 92 |
| （脳血管疾患）（再掲） | 100 | 102 | 102 | 102 | 100 | 93 | 87 |
| 脳梗塞 | 100 | 104 | 105 | 107 | 105 | 98 | 92 |
| その他の脳血管疾患 | 100 | 98 | 96 | 94 | 90 | 83 | 77 |
| その他の循環器系の疾患 | 100 | 102 | 102 | 100 | 97 | 90 | 85 |

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（4）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X 呼吸器系の疾患 | 100 | 104 | 104 | 108 | 109 | 103 | 96 |
| 急性上気道感染症 | 100 | 82 | 79 | 79 | 76 | 68 | 57 |
| 肺炎 | 100 | 103 | 102 | 108 | 111 | 105 | 97 |
| 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 100 | 101 | 100 | 111 | 114 | 108 | 99 |
| 気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患 | 100 | 105 | 106 | 111 | 112 | 106 | 100 |
| 喘息 | 100 | 98 | 97 | 99 | 98 | 91 | 83 |
| その他の呼吸器系の疾患 | 100 | 104 | 105 | 108 | 108 | 101 | 95 |
| X I 消化器系の疾患 | 100 | 99 | 97 | 96 | 92 | 86 | 80 |
| う蝕 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯肉炎及び歯周疾患 | 100 | 87 | 88 | 92 | 84 | 72 | 63 |
| その他の歯及び歯の支持組織の障害 | 100 | 89 | 84 | 86 | 85 | 80 | 71 |
| 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 100 | 102 | 103 | 104 | 101 | 93 | 88 |
| 胃炎及び十二指腸炎 | 100 | 118 | 131 | 116 | 100 | 88 | 91 |
| 肝疾患 | 100 | 94 | 88 | 82 | 76 | 71 | 66 |
| その他の消化器系の疾患 | 100 | 100 | 98 | 97 | 94 | 87 | 81 |
| X II 皮膚及び皮下組織の疾患 | 100 | 102 | 102 | 104 | 103 | 96 | 89 |

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（5）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X III筋骨格系及び結合組織の疾患 | 100 | 99 | 97 | 94 | 91 | 85 | 79 |
| 炎症性多発性関節障害 | 100 | 99 | 100 | 96 | 88 | 79 | 73 |
| 脊柱障害 | 100 | 101 | 99 | 98 | 96 | 90 | 84 |
| 骨の密度及び構造の障害 | 100 | 99 | 96 | 96 | 94 | 88 | 81 |
| その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 100 | 98 | 96 | 92 | 87 | 81 | 75 |
| X IV腎尿路生殖器系の疾患 | 100 | 99 | 97 | 97 | 96 | 90 | 83 |
| 糸球体疾患，腎尿細管間質性疾患及び腎不全 | 100 | 99 | 97 | 96 | 94 | 88 | 82 |
| 乳房及び女性生殖器の疾患 | 100 | 89 | 81 | 74 | 68 | 62 | 56 |
| その他の腎尿路生殖器系の疾患 | 100 | 100 | 98 | 101 | 102 | 96 | 89 |
| X V妊娠，分娩及び産じょく | 100 | 84 | 76 | 72 | 69 | 63 | 55 |
| 流産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 妊娠高血圧症候群 | 100 | 83 | 74 | 70 | 68 | 63 | 56 |
| 単胎自然分娩 | 100 | 83 | 76 | 72 | 70 | 64 | 56 |
| その他の妊娠，分娩及び産じょく | 100 | 84 | 76 | 72 | 69 | 63 | 55 |

傷病別入院患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（6）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X VI 周産期に発生した病態 | 100 | 77 | 70 | 65 | 62 | 57 | 51 |
| X VII 先天奇形， 変形及び染色体異常 | 100 | 90 | 82 | 76 | 71 | 67 | 62 |
| X VIII 症状， 徴候及び異常臨床所見0異常検査所見で他に分類されないもの | 100 | 102 | 102 | 105 | 105 | 98 | 91 |
| X IX 損傷， 中毒及びその他の外因の影響 | 100 | 100 | 98 | 98 | 96 | 90 | 83 |
| 骨折 | 100 | 101 | 99 | 101 | 99 | 93 | 86 |
| その他の損傷， 中毒及びその他の外因の影響 | 100 | 98 | 95 | 92 | 88 | 83 | 77 |
| X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 100 | 94 | 91 | 89 | 85 | 78 | 71 |
| 正常妊娠0産じょくの管理 | 100 | 83 | 78 | 75 | 73 | 66 | 56 |
| 歯の補てつ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の保健サービス | 100 | 101 | 100 | 98 | 94 | 86 | 81 |
| X X II 特殊目的用コード | 100 | 103 | 104 | 110 | 111 | 104 | 97 |
| 重症急性呼吸器症候群 [SARS] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の特殊目的用コード | 100 | 103 | 104 | 110 | 111 | 104 | 97 |

傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（1）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総数 | 100 | 95 | 90 | 85 | 79 | 73 | 68 |
| I 感染症及び寄生虫症 | 100 | 92 | 85 | 78 | 72 | 66 | 61 |
| 腸管感染症 | 100 | 88 | 80 | 72 | 66 | 60 | 54 |
| 結核 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 | 100 | 93 | 86 | 78 | 73 | 67 | 62 |
| 真菌症 | 100 | 95 | 91 | 83 | 76 | 69 | 65 |
| その他の感染症及び寄生虫症 | 100 | 92 | 85 | 78 | 74 | 70 | 65 |
| II 新生物<腫瘍> | 100 | 96 | 92 | 85 | 79 | 73 | 68 |
| （悪性新生物<腫瘍>）（再掲） | 100 | 98 | 95 | 88 | 82 | 76 | 71 |
| 胃の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 98 | 97 | 91 | 85 | 79 | 74 |
| 結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 99 | 98 | 94 | 88 | 81 | 76 |
| 気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 98 | 95 | 90 | 86 | 81 | 75 |
| その他の悪性新生物<腫瘍> | 100 | 97 | 93 | 86 | 79 | 73 | 68 |
| 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 100 | 92 | 85 | 78 | 72 | 66 | 61 |

傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（2）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Ⅲ血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 100 | 92 | 86 | 80 | 72 | 65 | 59 |
| 貧血 | 100 | 92 | 86 | 79 | 72 | 65 | 59 |
| その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 100 | 90 | 87 | 83 | 75 | 67 | 60 |
| Ⅳ内分泌，栄養及び代謝疾患 | 100 | 96 | 93 | 88 | 82 | 76 | 70 |
| 甲状腺障害 | 100 | 95 | 91 | 87 | 80 | 73 | 67 |
| 糖尿病 | 100 | 98 | 95 | 90 | 85 | 79 | 74 |
| 脂質異常症 | 100 | 95 | 91 | 86 | 80 | 74 | 67 |
| その他の内分泌，栄養及び代謝疾患 | 100 | 94 | 87 | 82 | 76 | 70 | 65 |
| Ⅴ精神及び行動の障害 | 100 | 92 | 86 | 80 | 74 | 68 | 62 |
| 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害 | 100 | 93 | 87 | 79 | 72 | 66 | 61 |
| 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む） | 100 | 92 | 86 | 82 | 75 | 68 | 61 |
| 神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 100 | 92 | 86 | 81 | 74 | 66 | 61 |
| その他の精神及び行動の障害 | 100 | 92 | 85 | 80 | 75 | 70 | 64 |
| Ⅵ神経系の疾患 | 100 | 99 | 96 | 93 | 89 | 82 | 76 |

傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（3）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| VII眼及び付属器の疾患 | 100 | 97 | 94 | 87 | 81 | 74 | 69 |
| 白内障 | 100 | 101 | 100 | 92 | 84 | 78 | 74 |
| その他の眼及び付属器の疾患 | 100 | 96 | 92 | 86 | 80 | 74 | 68 |
| VIII耳及び乳様突起の疾患 | 100 | 94 | 89 | 83 | 77 | 71 | 66 |
| 外耳疾患 | 100 | 95 | 91 | 86 | 80 | 73 | 67 |
| 中耳炎 | 100 | 88 | 81 | 73 | 68 | 63 | 58 |
| その他の中耳及び乳様突起の疾患 | 100 | 90 | 82 | 81 | 82 | 78 | 69 |
| 内耳疾患 | 100 | 95 | 88 | 79 | 72 | 66 | 61 |
| その他の耳疾患 | 100 | 100 | 97 | 92 | 86 | 80 | 74 |
| IX循環器系の疾患 | 100 | 99 | 97 | 94 | 91 | 85 | 79 |
| 高血圧性疾患 （心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）） | 100 | 99 | 97 | 94 | 90 | 84 | 78 |
| （心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）） | 100 | 101 | 100 | 99 | 97 | 90 | 85 |
| 虚血性心疾患 | 100 | 102 | 102 | 99 | 95 | 88 | 84 |
| その他の心疾患 | 100 | 100 | 99 | 99 | 97 | 91 | 85 |
| （脳血管疾患）（再掲） | 100 | 100 | 97 | 93 | 90 | 85 | 80 |
| 脳梗塞 | 100 | 100 | 97 | 94 | 92 | 87 | 81 |
| その他の脳血管疾患 | 100 | 100 | 98 | 91 | 85 | 79 | 75 |
| その他の循環器系の疾患 | 100 | 96 | 95 | 90 | 84 | 77 | 72 |

傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（4）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X 呼吸器系の疾患 | 100 | 87 | 79 | 72 | 67 | 61 | 56 |
| 急性上気道感染症 | 100 | 85 | 76 | 68 | 63 | 58 | 53 |
| 肺炎 | 100 | 93 | 87 | 90 | 93 | 89 | 79 |
| 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 100 | 85 | 76 | 69 | 64 | 59 | 54 |
| 気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患 | 100 | 96 | 95 | 92 | 87 | 81 | 75 |
| 喘息 | 100 | 87 | 77 | 69 | 64 | 60 | 55 |
| その他の呼吸器系の疾患 | 100 | 92 | 85 | 78 | 73 | 67 | 62 |
| X I 消化器系の疾患 | 100 | 94 | 88 | 82 | 76 | 70 | 64 |
| う蝕 | 100 | 92 | 83 | 74 | 68 | 63 | 59 |
| 歯肉炎及び歯周疾患 | 100 | 93 | 85 | 80 | 75 | 70 | 63 |
| その他の歯及び歯の支持組織の障害 | 100 | 95 | 90 | 83 | 75 | 69 | 64 |
| 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 100 | 97 | 93 | 85 | 79 | 74 | 69 |
| 胃炎及び十二指腸炎 | 100 | 97 | 94 | 88 | 81 | 75 | 70 |
| 肝疾患 | 100 | 98 | 95 | 89 | 81 | 74 | 69 |
| その他の消化器系の疾患 | 100 | 96 | 92 | 86 | 80 | 73 | 68 |
| X II 皮膚及び皮下組織の疾患 | 100 | 91 | 84 | 78 | 72 | 66 | 61 |

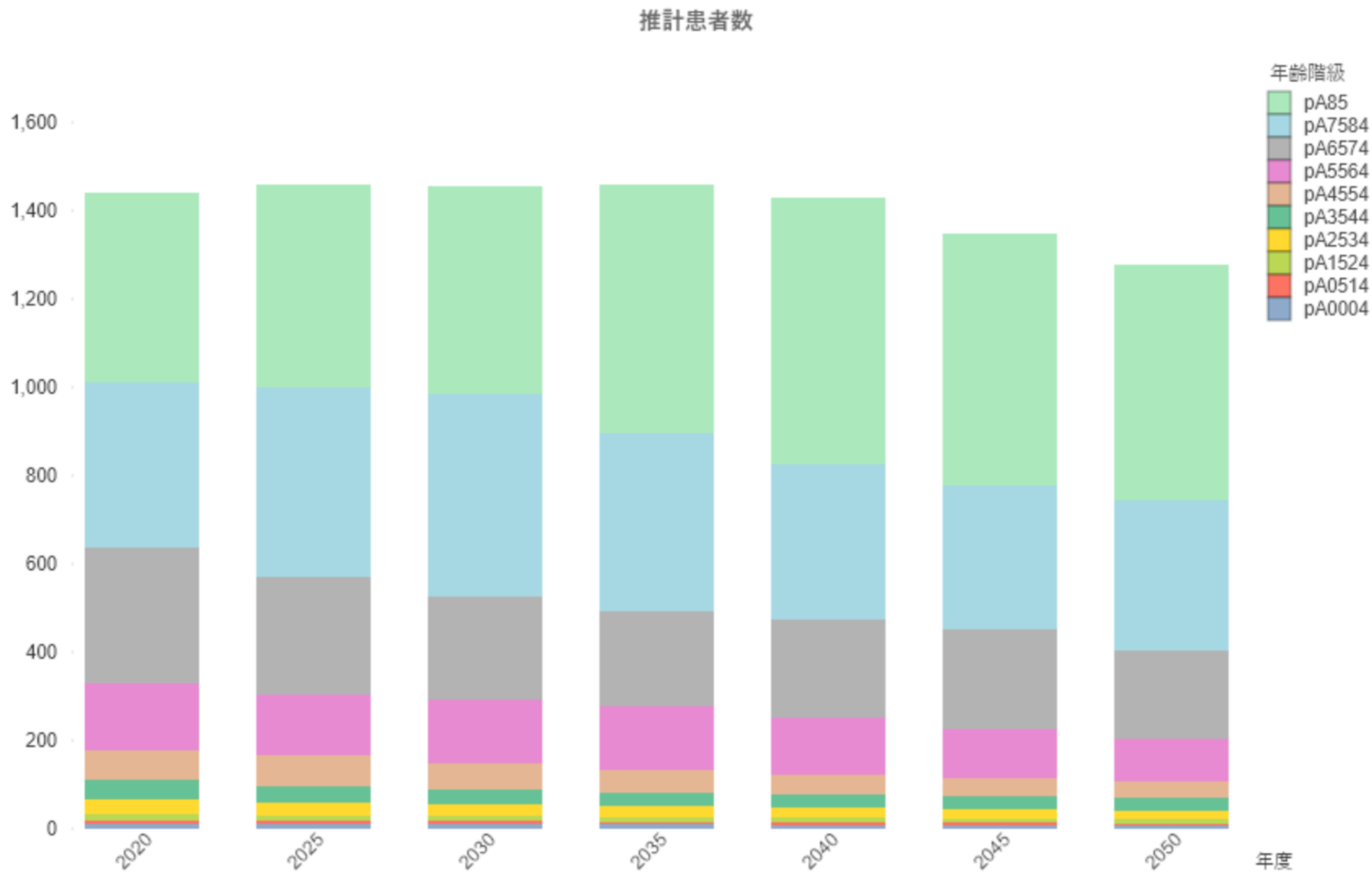
傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（5）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X III 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 100 | 97 | 94 | 88 | 82 | 76 | 70 |
| 炎症性多発性関節障害 | 100 | 94 | 90 | 83 | 76 | 70 | 64 |
| 脊柱障害 | 100 | 98 | 96 | 90 | 84 | 78 | 73 |
| 骨の密度及び構造の障害 | 100 | 98 | 94 | 88 | 83 | 78 | 72 |
| その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 100 | 97 | 93 | 87 | 81 | 75 | 69 |
| X IV 腎尿路生殖器系の疾患 | 100 | 95 | 91 | 85 | 79 | 72 | 67 |
| 糸球体疾患，腎尿細管間質性疾患及び腎不全 | 100 | 98 | 96 | 91 | 85 | 78 | 74 |
| 乳房及び女性生殖器の疾患 | 100 | 89 | 81 | 73 | 65 | 58 | 52 |
| その他の腎尿路生殖器系の疾患 | 100 | 98 | 95 | 89 | 85 | 79 | 74 |
| X V 妊娠，分娩及び産じょく | 100 | 83 | 74 | 69 | 66 | 61 | 55 |
| 流産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 妊娠高血圧症候群 | 100 | 83 | 75 | 71 | 69 | 64 | 56 |
| 単胎自然分娩 | 100 | 84 | 81 | 78 | 72 | 64 | 55 |
| その他の妊娠，分娩及び産じょく | 100 | 84 | 74 | 68 | 65 | 61 | 55 |

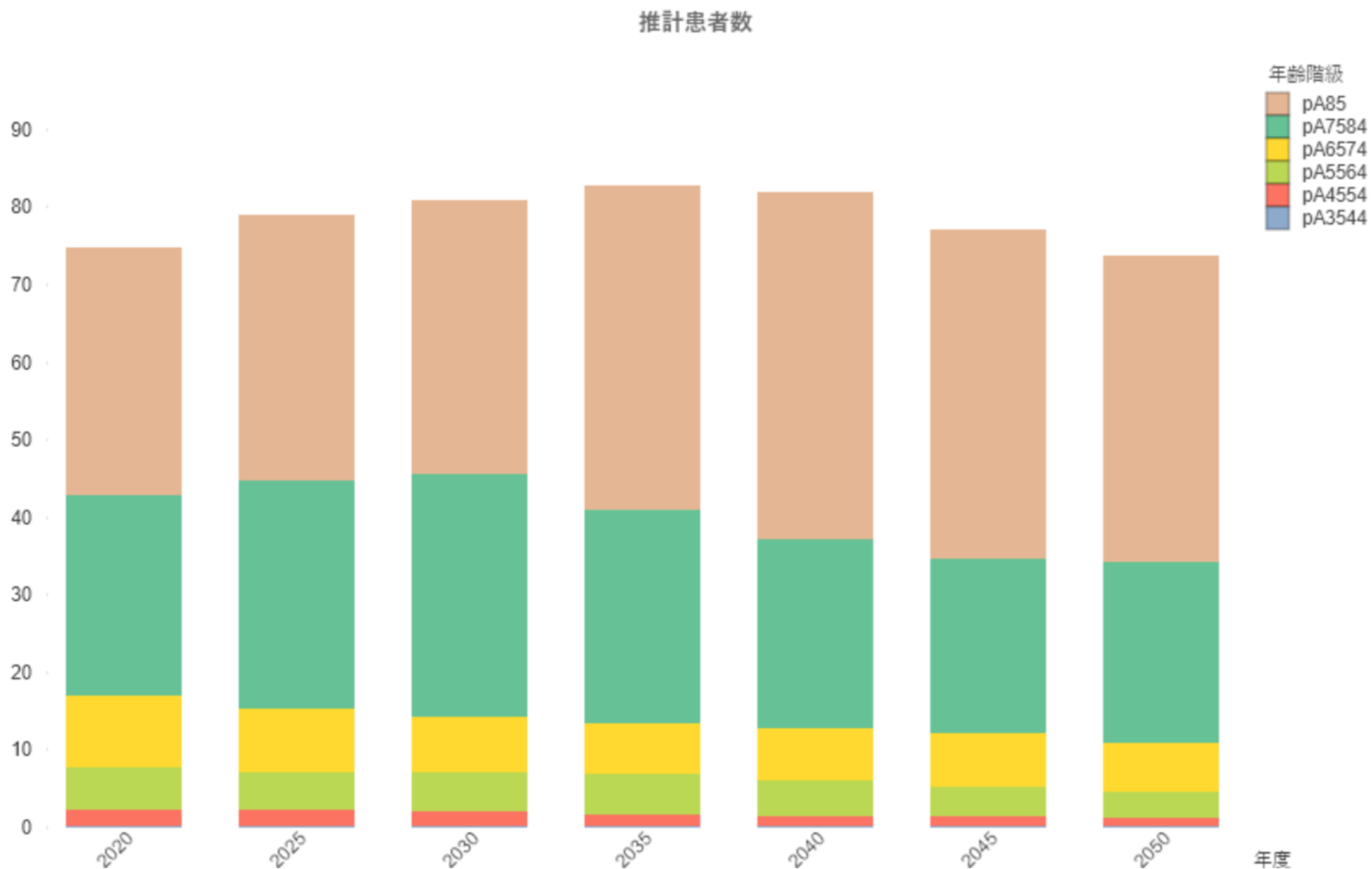
傷病別外来患者数の推計（延岡西臼杵医療圏）（6）

| 傷病名 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |
|---------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| X VI周産期に発生した病態 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| X VII先天奇形，変形及び染色体異常 | 100 | 88 | 80 | 73 | 67 | 62 | 57 |
| X VIII症状，徴候及び異常臨床所見0異常検査所見で他に分類されないもの | 100 | 96 | 91 | 84 | 77 | 72 | 66 |
| X IX損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 100 | 96 | 91 | 84 | 78 | 73 | 68 |
| 骨折 | 100 | 97 | 93 | 88 | 81 | 74 | 69 |
| その他の損傷，中毒及びその他の外因の影響 | 100 | 95 | 90 | 83 | 77 | 72 | 68 |
| X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 100 | 94 | 89 | 83 | 78 | 72 | 66 |
| 正常妊娠0産じょくの管理 | 100 | 83 | 78 | 75 | 72 | 64 | 56 |
| 歯の補てつ | 100 | 96 | 90 | 85 | 81 | 76 | 70 |
| その他の保健サービス | 100 | 94 | 89 | 83 | 77 | 71 | 65 |
| X X II 特殊目的用コード | 100 | 91 | 83 | 75 | 67 | 62 | 57 |
| 重症急性呼吸器症候群 [SARS] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の特殊目的用コード | 100 | 91 | 83 | 75 | 67 | 62 | 57 |

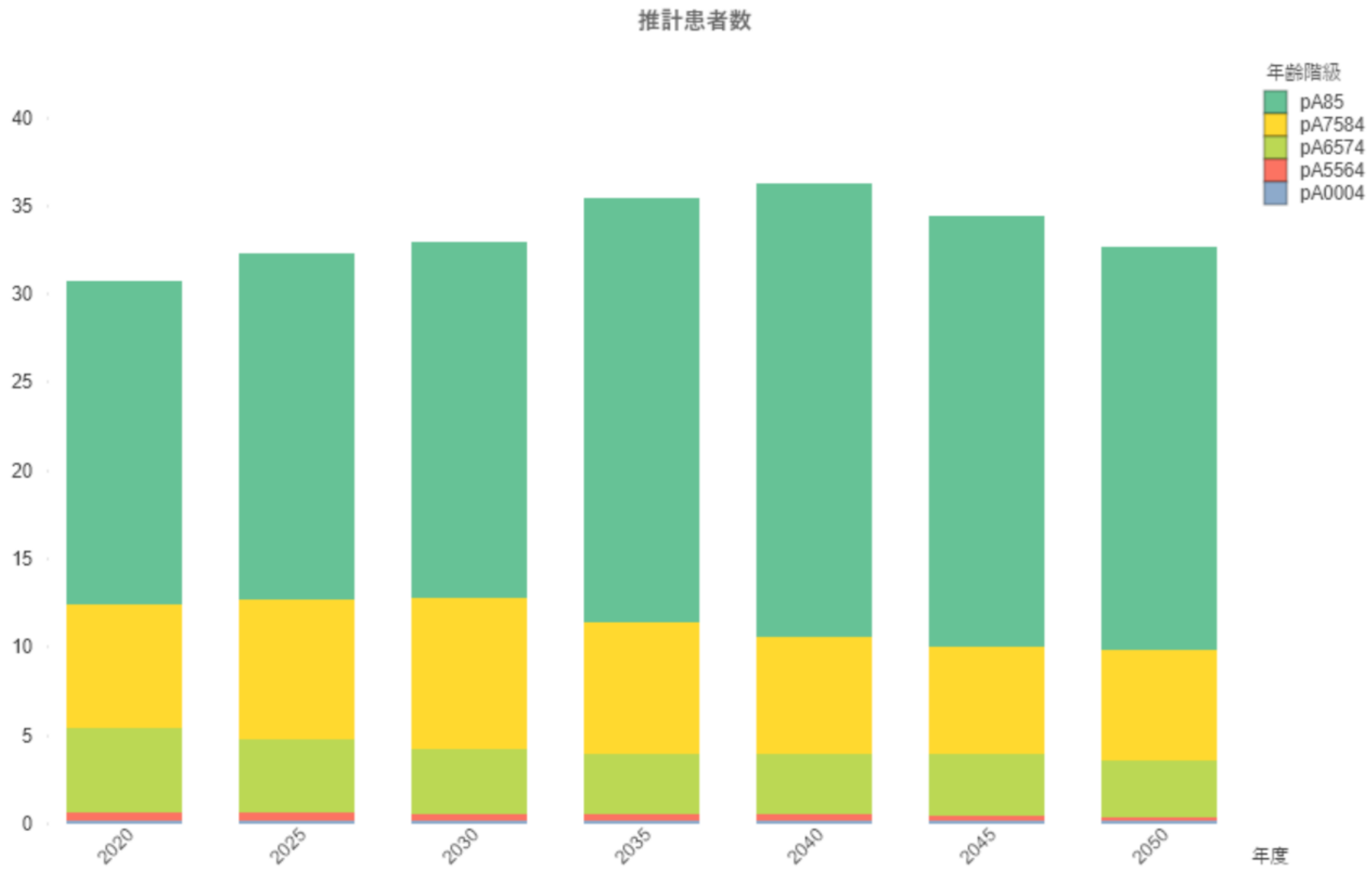
県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（総数）



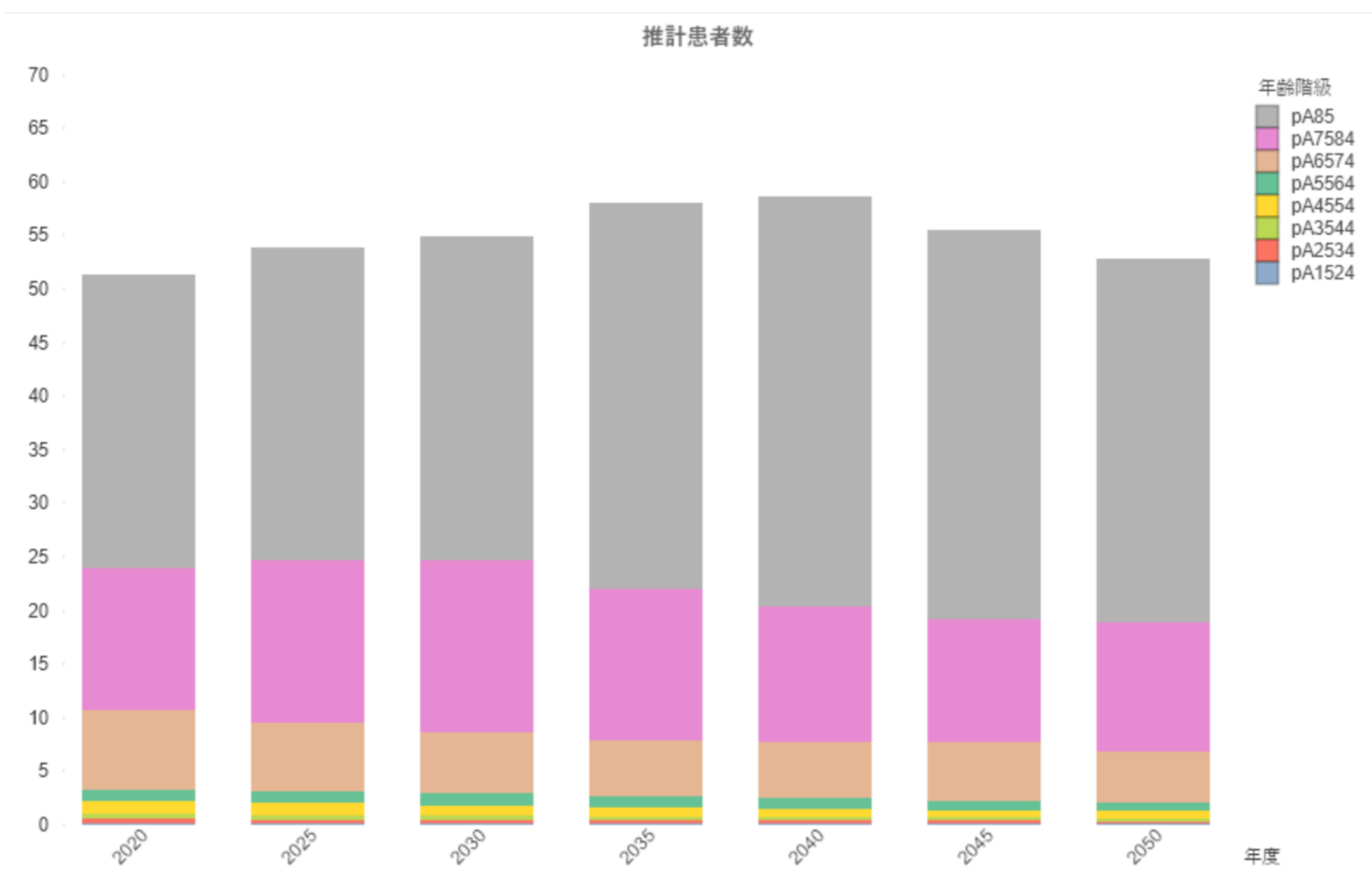
県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（脳梗塞）



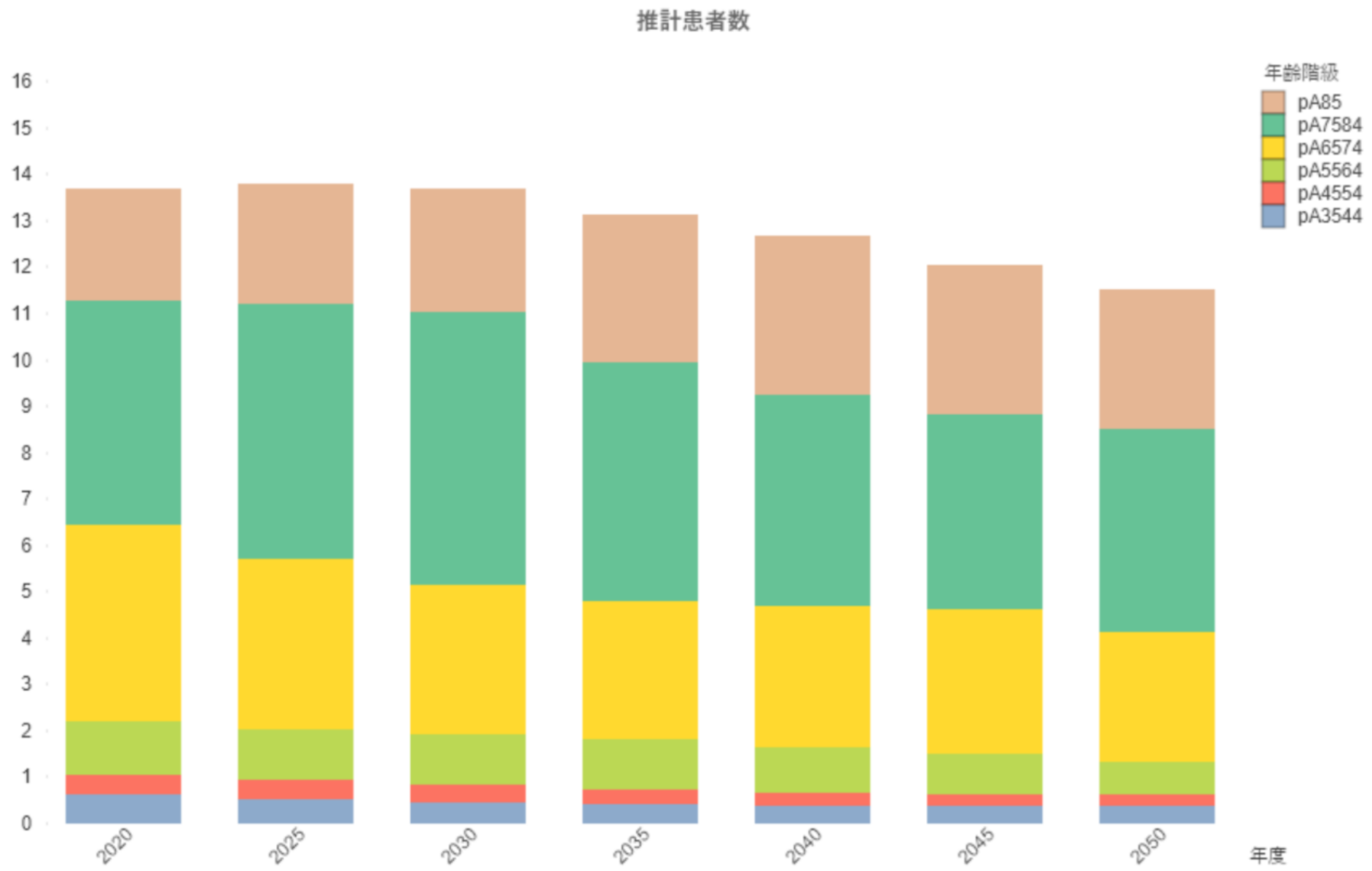
県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（肺炎）



県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（その他の心疾患≡心不全）

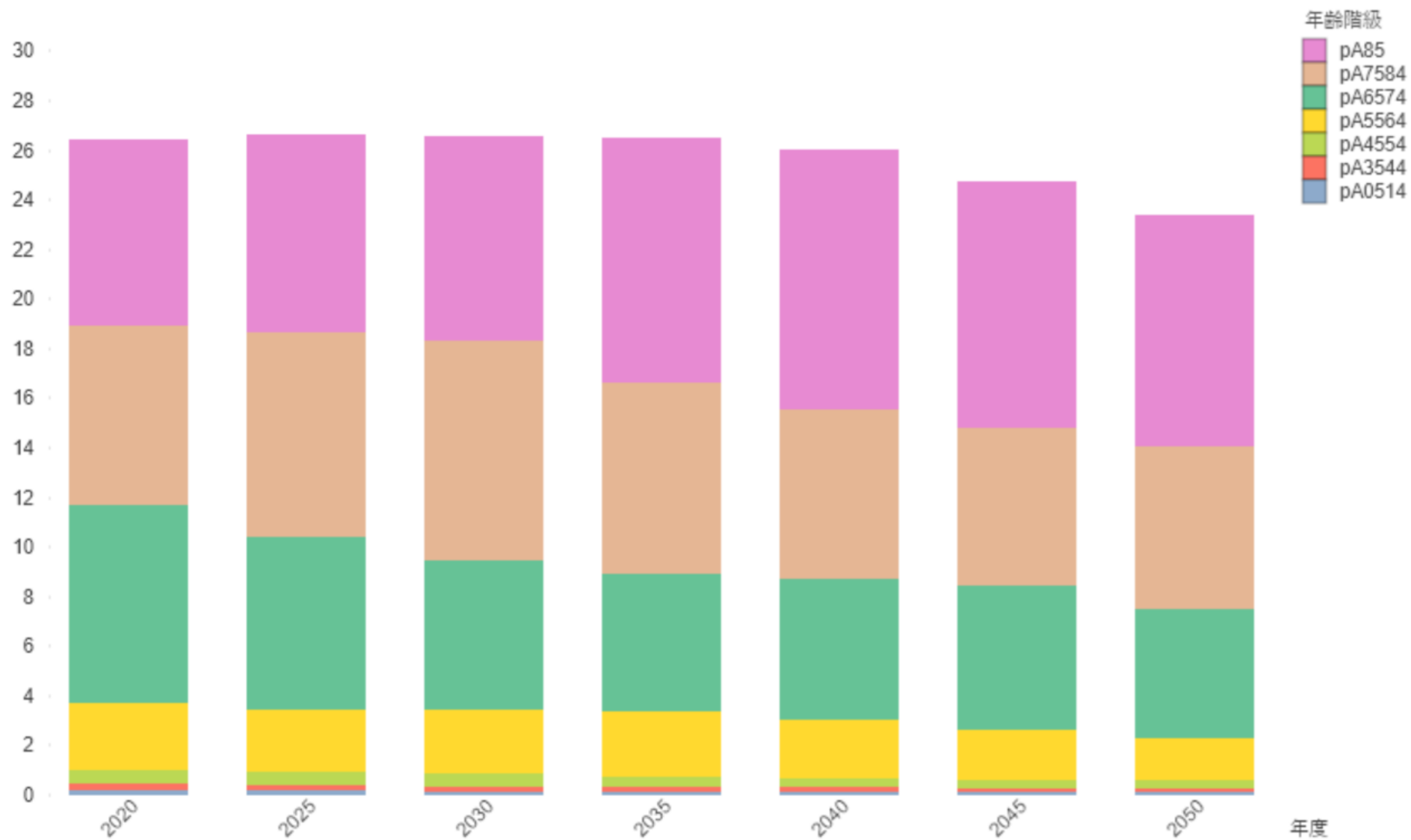


県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（虚血性心疾患）

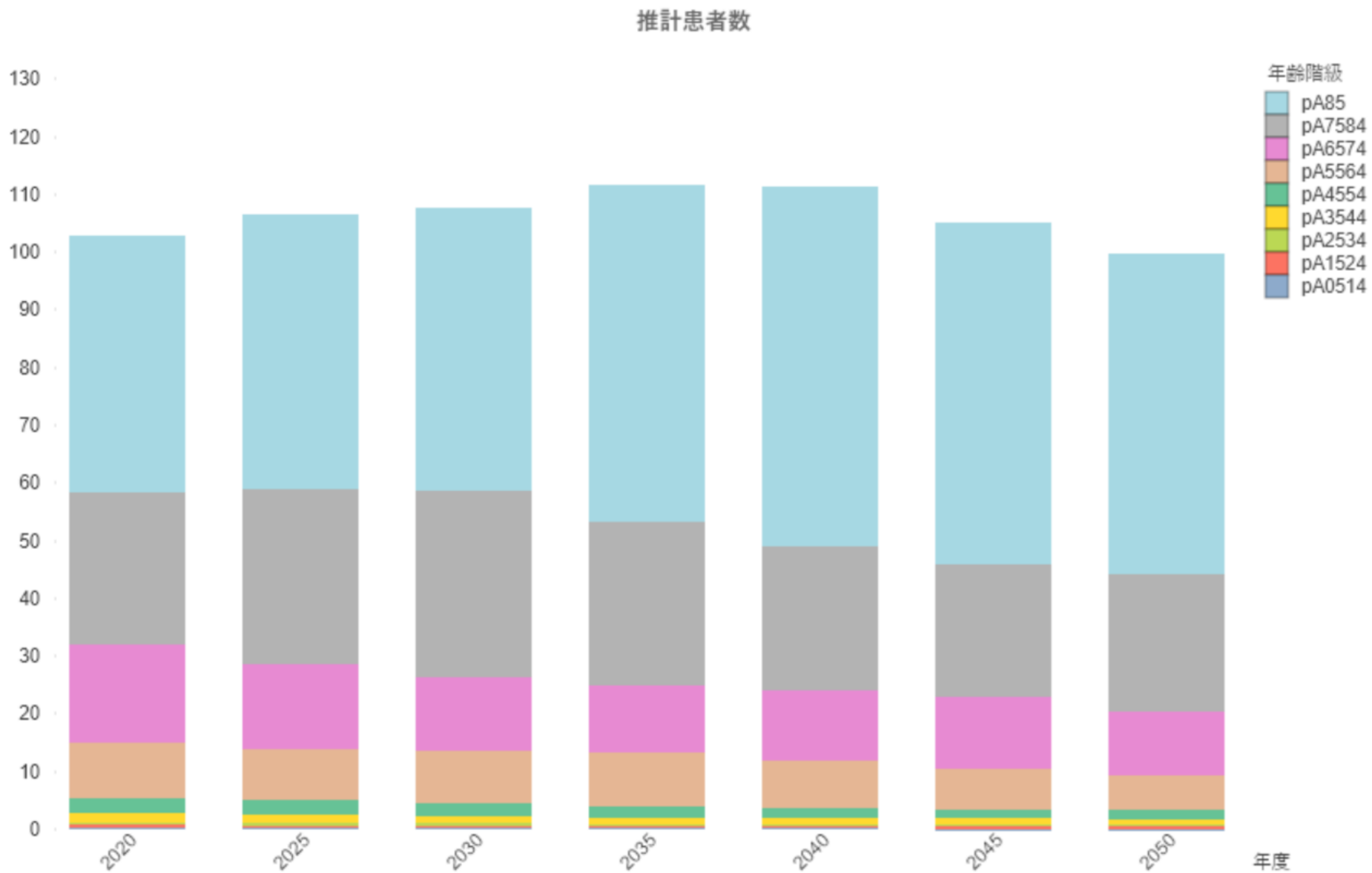


県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（腎不全）

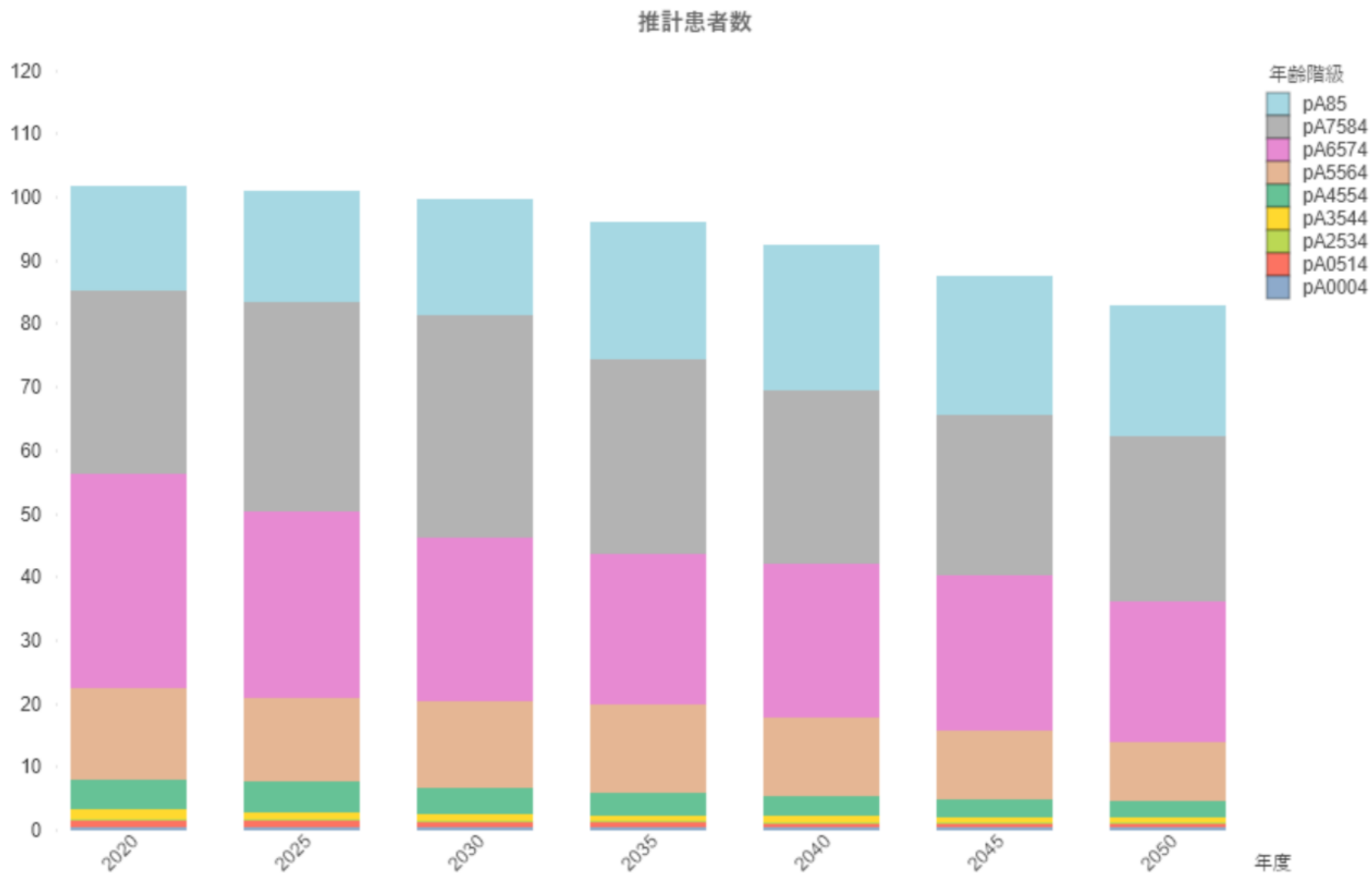
推計患者数



県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（骨折）

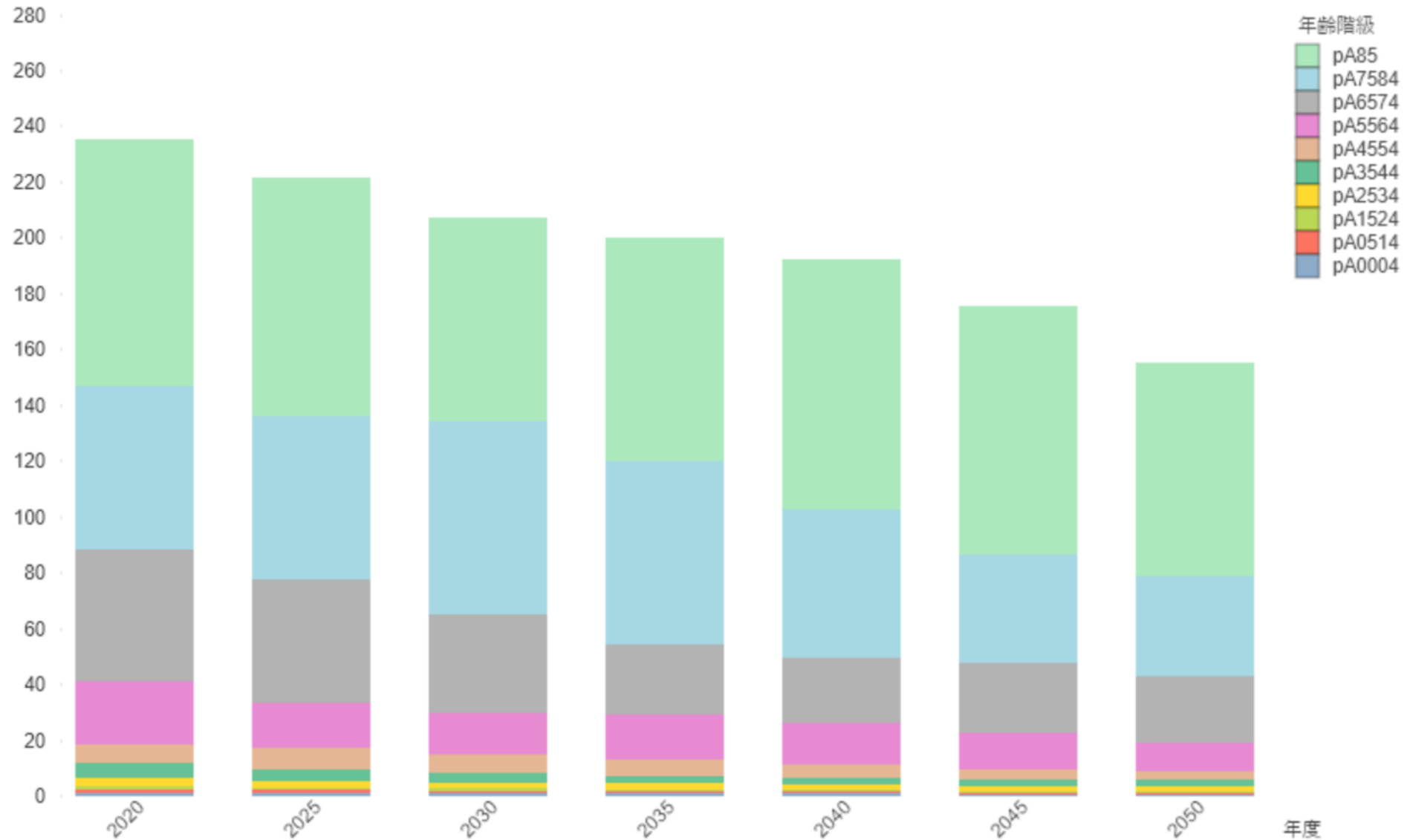


県立延岡病院 30分圏域内入院患者数の推移（悪性新生物）



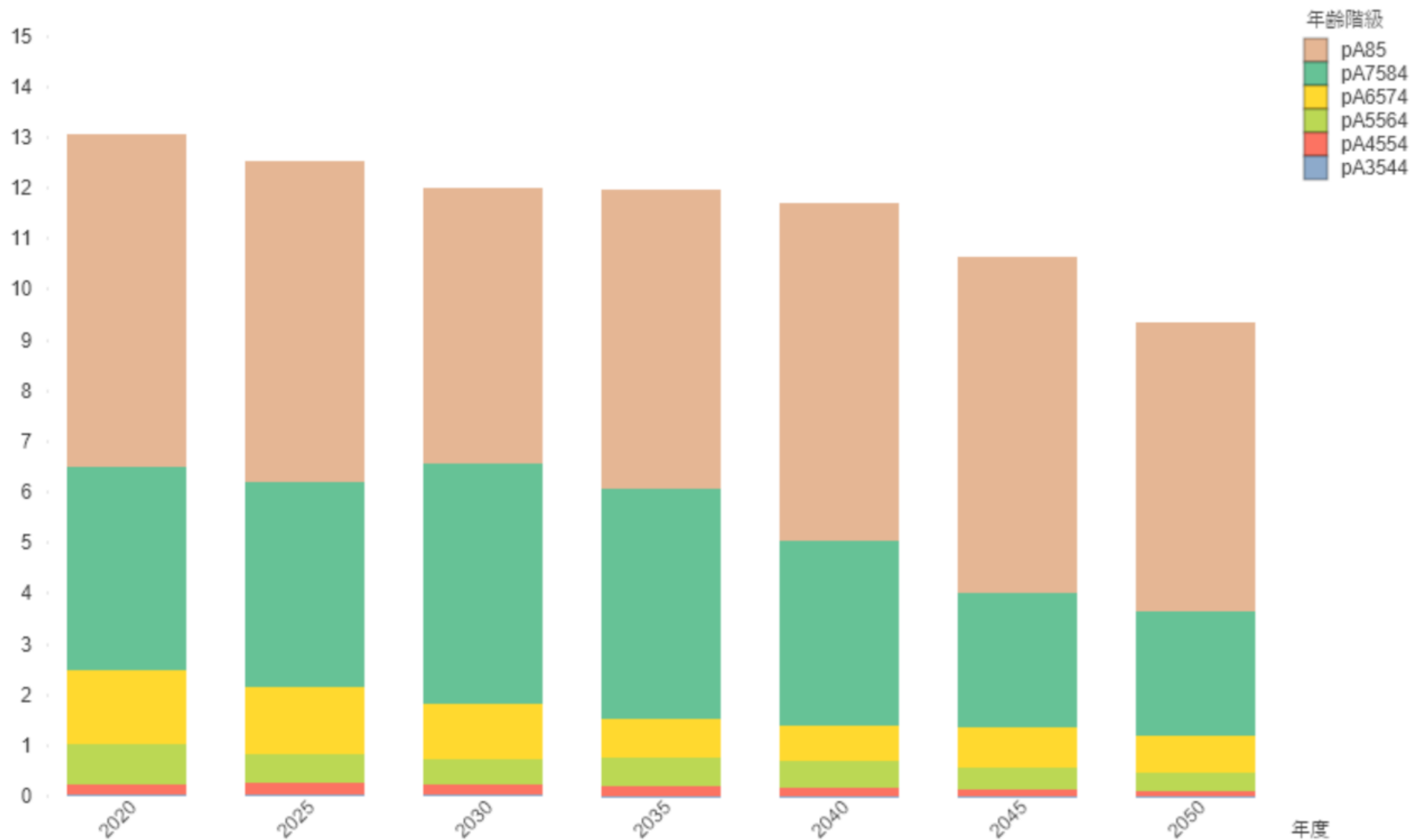
高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（総数）

推計患者数



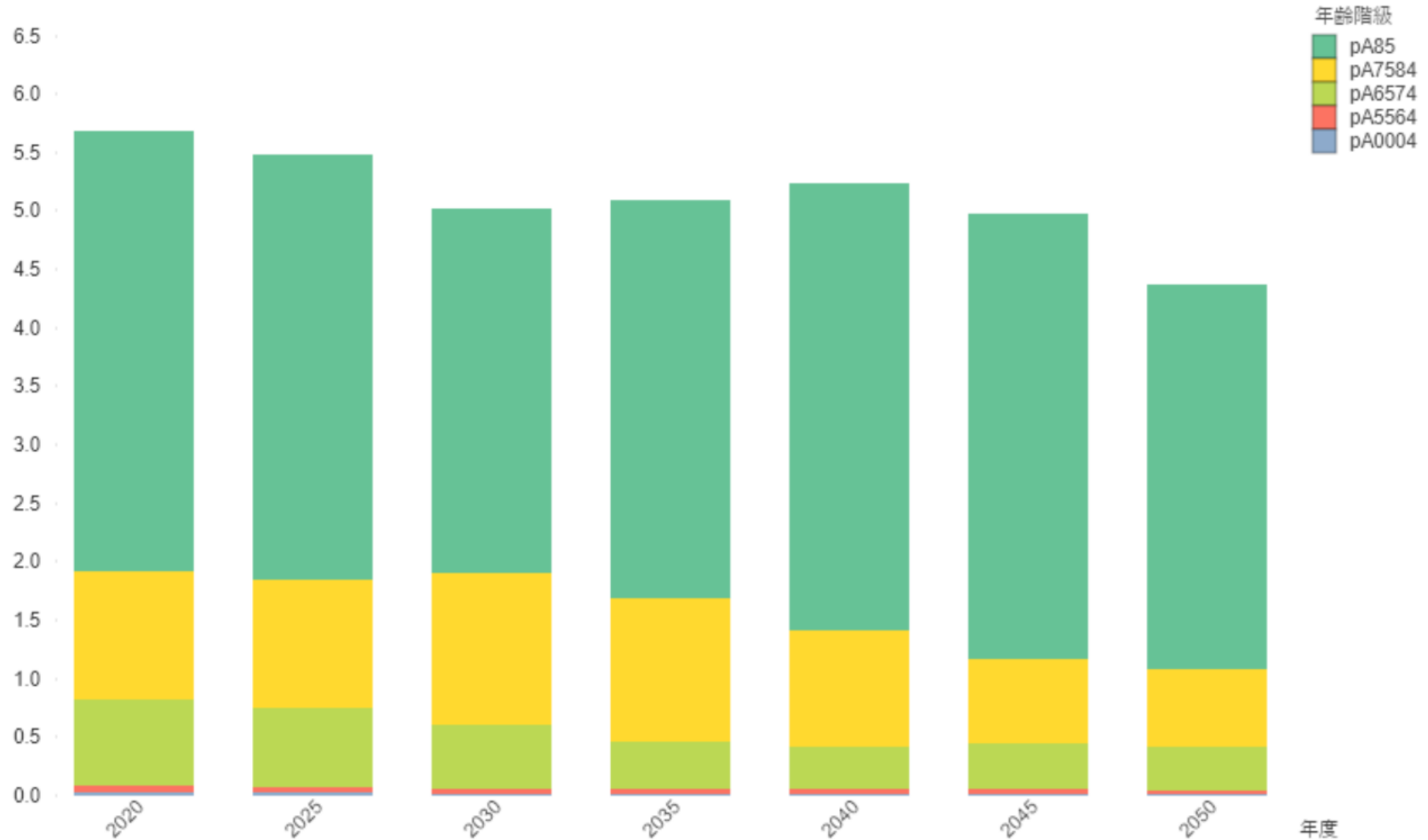
高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（脳梗塞）

推計患者数

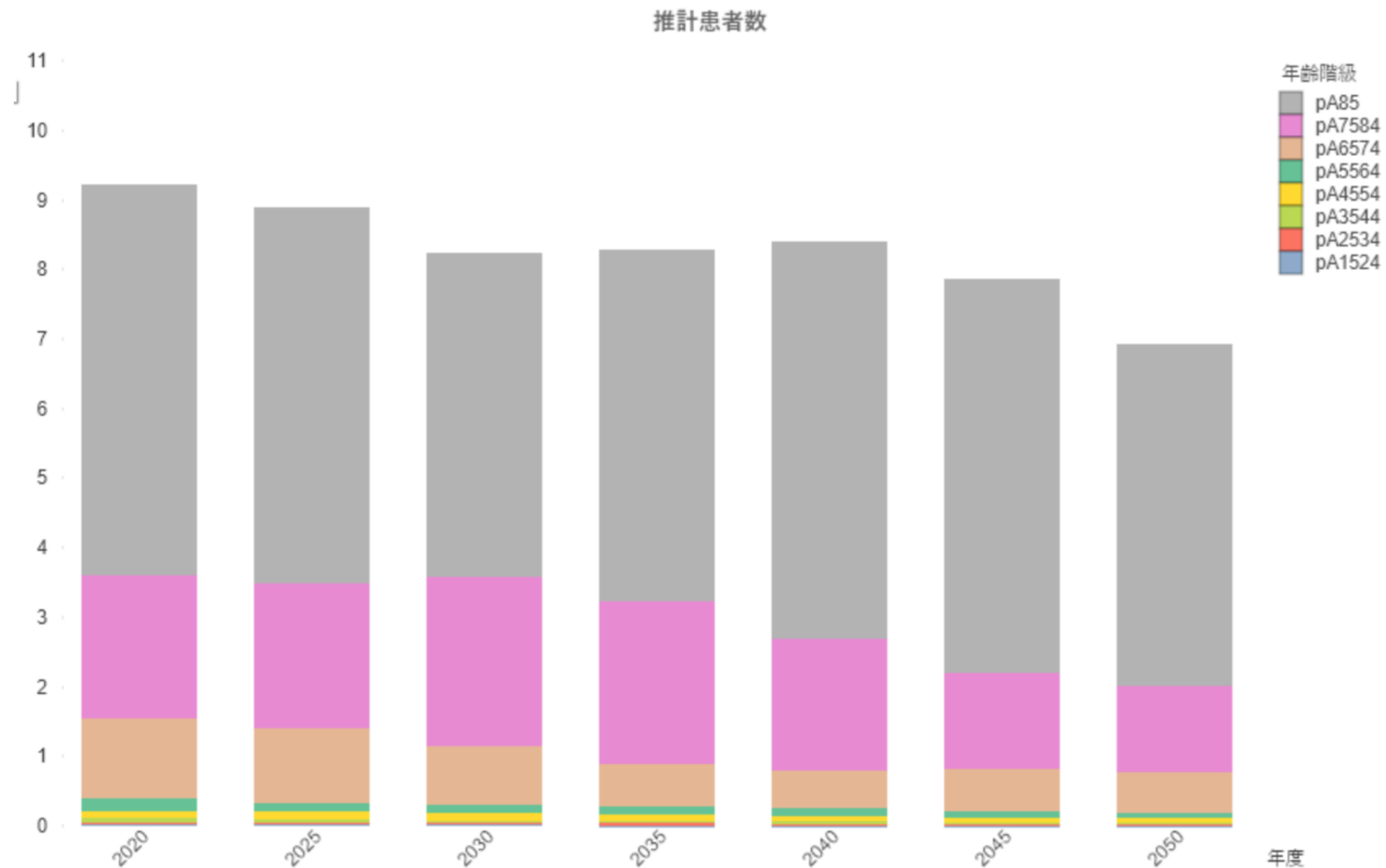


高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（肺炎）

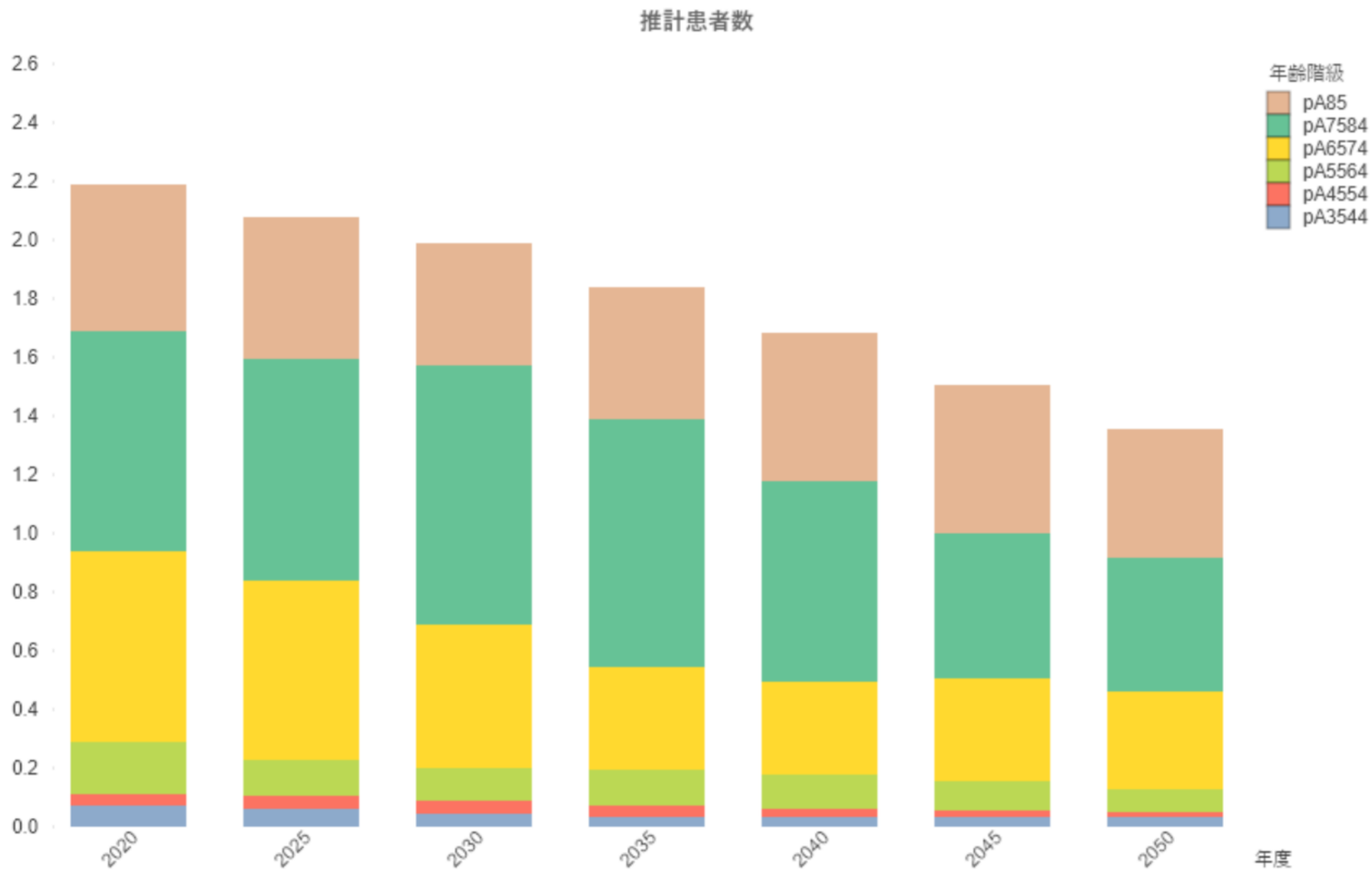
推計患者数



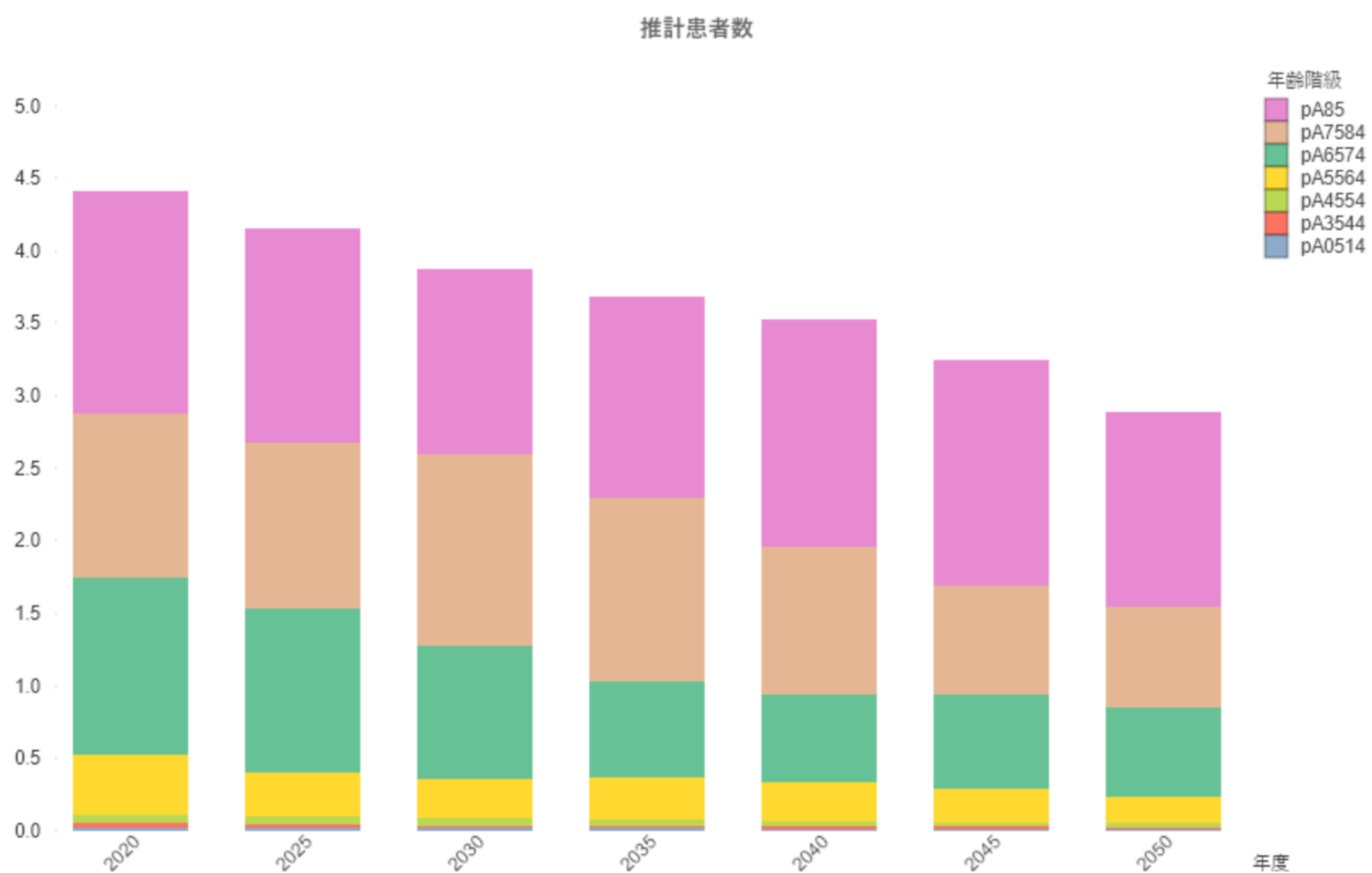
高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（その他の心疾患≡心不全）



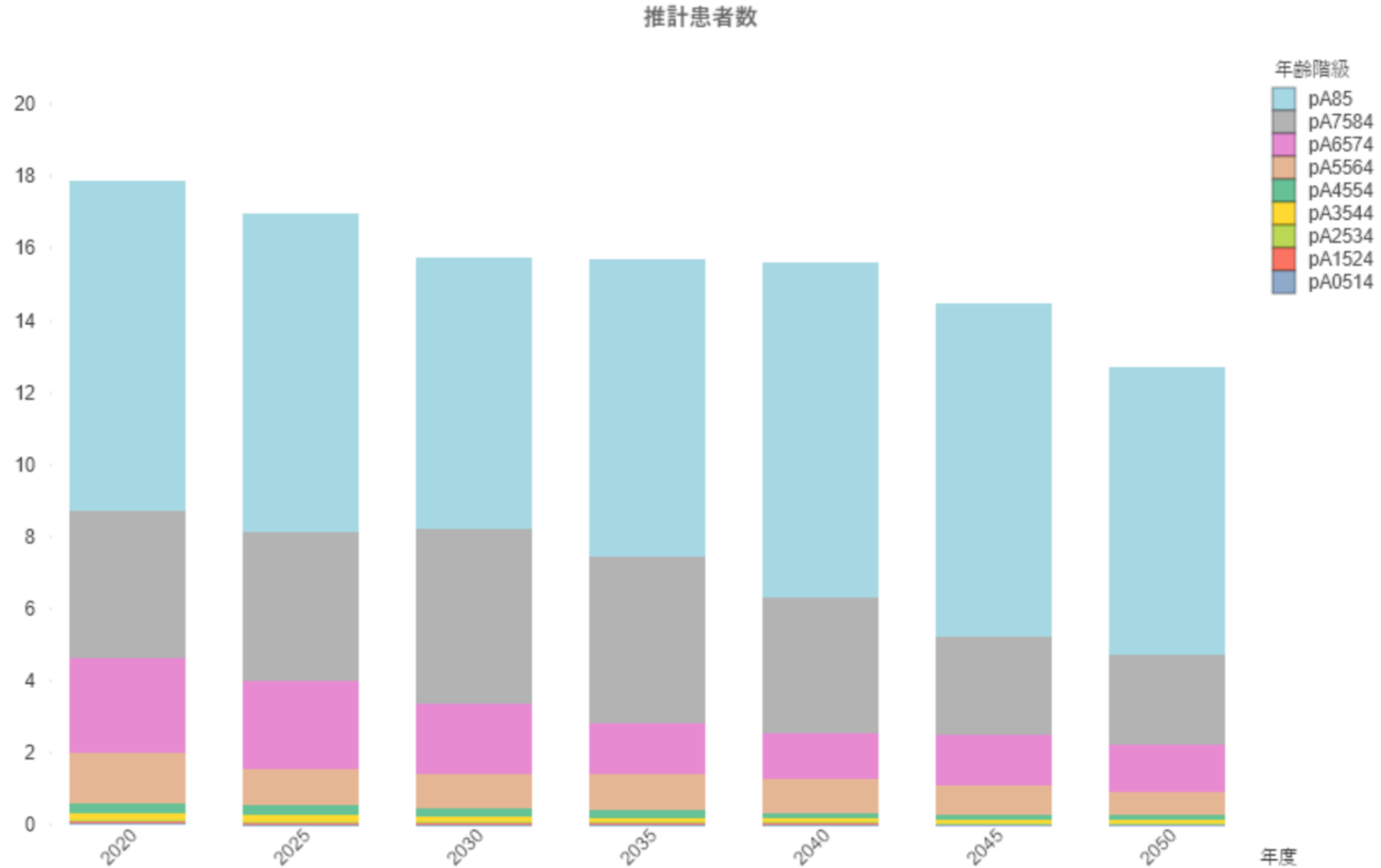
高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（虚血性心疾患）



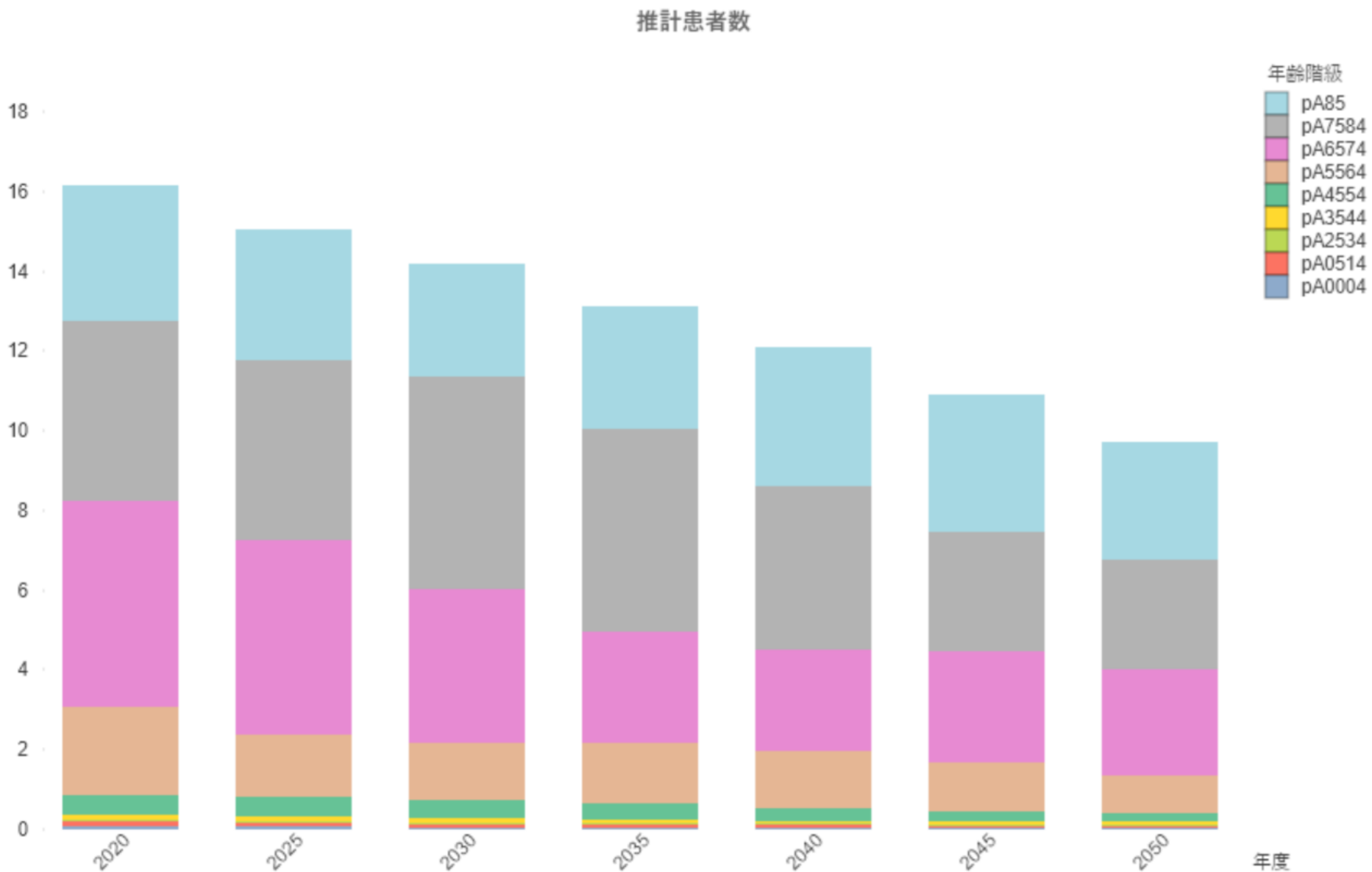
高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移 (腎不全)



高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（骨折）



高千穂病院 30分圏域内入院患者数の推移（悪性新生物）



Huffモデルによる救急車搬送による入院の推計

- Huffモデルを用いることにより、各病院と各メッシュの距離に魅力度を乗じて、各病院の推計患者数を求めることができる。魅力度としては以下の2つを本分析では考えた。

- ① DPC公開データから得られる各病院の「救急車による入院患者数」
- ② 病床機能報告から得られる各病院の「救急車受入件数」

上記2つの魅力度を用いて求めた救急車による入院の推計値を実際の数と比較することで、各医療圏における救急医療の現状と課題を明らかにすることを試みた

- 用いたデータ

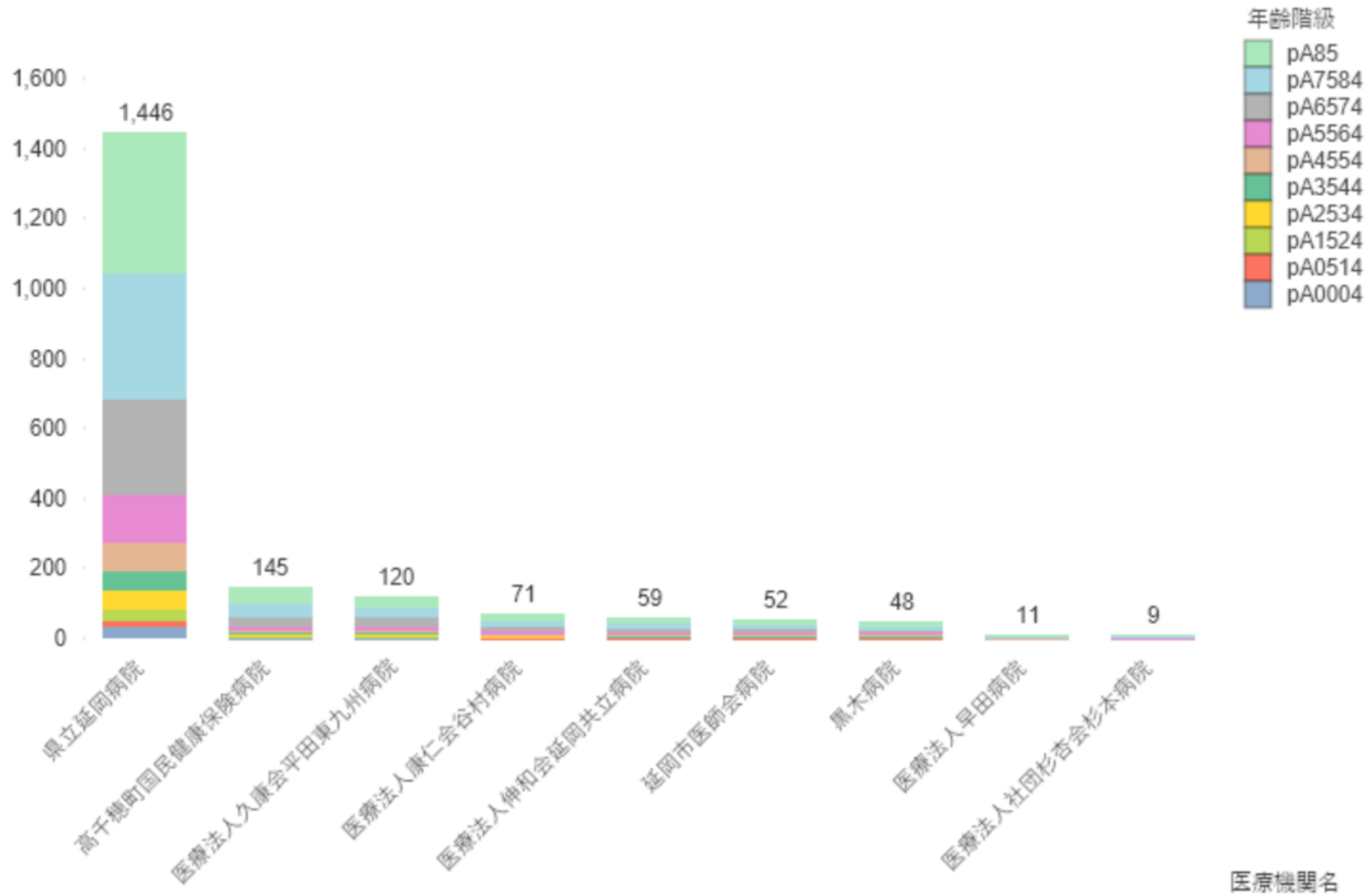
- DPC研究班 都道府県別・年齢階級別救急車による入院数のデータ (1)
- 総務省 都道府県別年齢階級別人口 (2)
- 厚生労働省 施設別救急車による入院数のデータ (3)

- 分析方法

- $(1) / (2) =$ 年齢階級別救急車による入院率 (4)
- 補正係数 $= \Sigma (1) / \Sigma (3)$ (5)
- $(4) \times (5) =$ 補正後年齢階級別救急車による入院率 (6)
- 総務省 都道府県別 1 kmメッシュにおける年齢階級別人口 (7)
- $(6) \times (7)$ メッシュ別推計救急車による入院患者数
- なお、メッシュ間の距離は緯度経度から求めた。

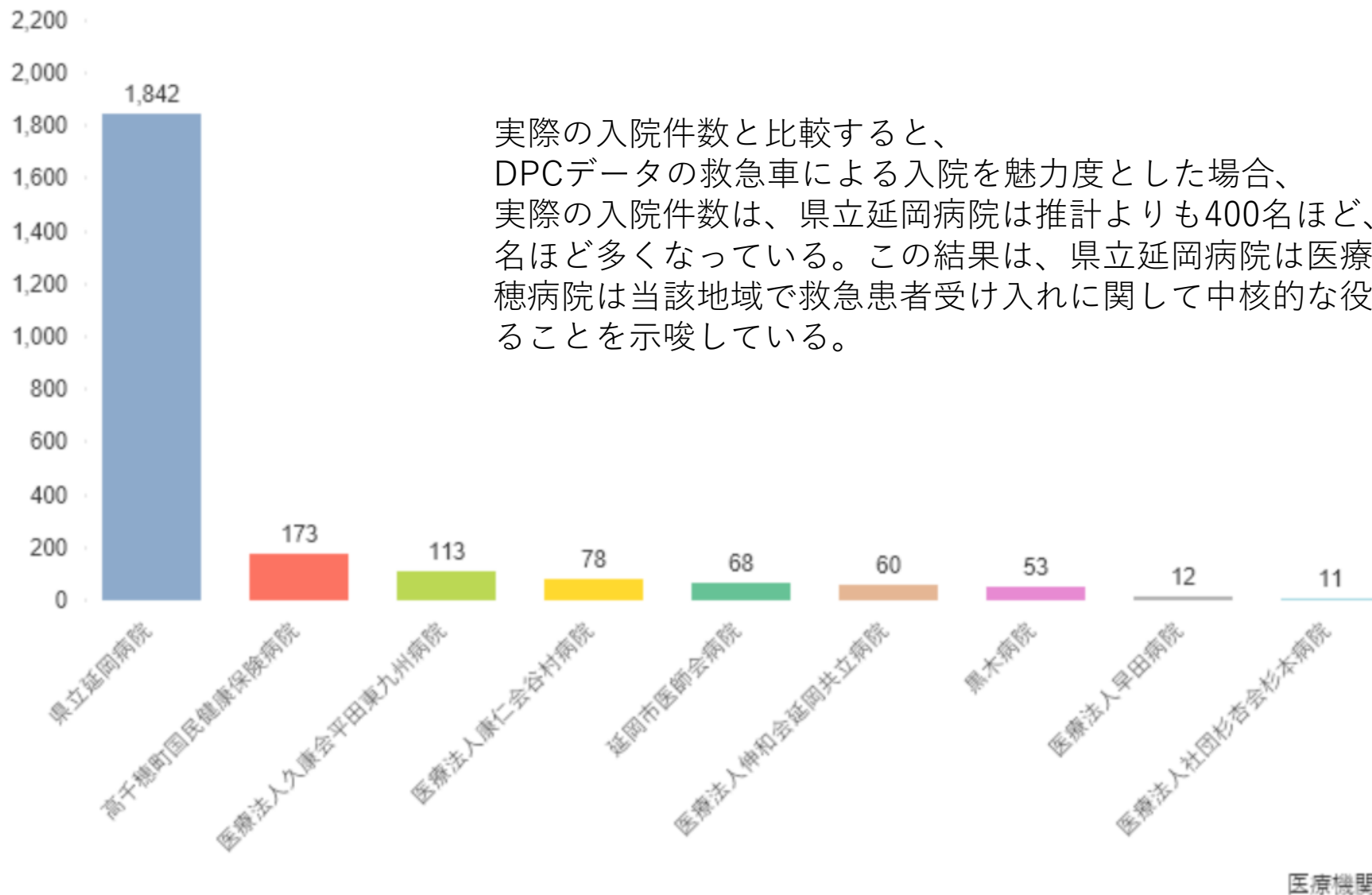
Huffモデル 魅力度 DPC救急車による搬送 延岡西臼杵医療圏

推計救急患者数



DPC救急車による搬送 延岡西臼杵医療圏

DPC救急患者数



実際の入院件数と比較すると、DPCデータの救急車による入院を魅力度とした場合、実際の入院件数は、県立延岡病院は推計よりも400名ほど、高千穂病院は30名ほど多くなっている。この結果は、県立延岡病院は医療圏全体で、高千穂病院は当該地域で救急患者受け入れに関して中核的な役割を果たしていることを示唆している。

延岡西臼杵医療圏の地区診断（1）

- 2015年以降人口は減少、少子高齢化の進行により外来需要はすでに減少している。入院需要も2025年をピークに以後減少する。ただし、肺炎、心不全、脳梗塞は2030年まで高止まりし、以後減少する。
- 地域の中核病院は県立延岡病院。本医療圏の場合、type Aの病院とtype Bの病院が明確に分かれている。
- 慢性期の医療・介護サービスを必要とする後期高齢者の絶対数は延岡市は2035－40年まで維持され、以後減少傾向となる。他方、五ヶ瀬町等は2020年をピークとして、以後減少傾向となる。
- 外来と一般病棟入院の提供量は全国並み
- 有床診療所の入院と回復期リハビリテーション病棟は全国より提供量が多い
- 訪問診療、訪問看護（医療）、療養病床は全国より提供量が少ない。
- 施設介護と通所サービス、訪問介護は全国より提供量が多い。ショートステイ、訪問看護（介護）、サ高住の提供量が全国より少ない。
- 介護に関しては、相対的に施設介護のニーズが高い。

延岡西臼杵医療圏の地区診断（2）

【課題】

- 地域医療の安定化のために、県立延岡病院の機能を維持することが重要。また、地理的に高千穂町国保病院のtype Bとしての総合的な機能を維持することも重要。県立延岡病院とそれ以外の医療施設との連携体制の充実が重要。→ICTの活用。病院総合医の配置。
- 慢性期のサービス提供体制（療養病床）が弱い。外来機能が維持されていることを踏まえると、在宅ケアの提供量のある程度増やすことが不可欠。その際、ICTを活用したD to P with Nのような仕組みを構築することが、特にこの医療圏では重要ではないか。
- 介護施設 - 診療所 - 一般病棟（含：地域包括ケア病棟）の連携を軸とした在宅医療支援体制、介護施設支援体制の構築がカギになるのでは？
 - 在宅療養支援病院の整備が課題になるのでは？
 - 介護施設の医療を日常的に支援する病院の整備が重要
 - 訪問看護・訪問介護を担う人材の確保が課題
 - 予防可能な急性期イベント（肺炎、尿路感染症、心不全の急性増悪、低栄養など）への対応